

# 2010.10 VOL.29

**FFG** ふくおかフィナンシャルグループ  
M O N T H L Y S U R V E Y

## F|F|G|調|査|月|報

### ■ 寄稿

シンガポールに学ぶ経営戦略①～アジアの時代の新発想～  
シュガーロード

### ■ 地域経済調査

BSI 調査による景況感の変化

# 調査 月報

2010. 10. OCT  
VOL. 29

## CONTENTS[ 目次 ]

- 
- [ 01 ]—— トップに聞く  
中村 裕之 氏 (株式会社アグリス 代表取締役)  
塚田 強男 氏 (株式会社風雅 代表取締役)  
池田 豊 氏 (株式会社ホーセイ 代表取締役社長)
- 
- [ 08 ]—— 寄稿  
シンガポールに学ぶ経営戦略①～アジアの時代の新発想～  
シュガーロード
- 
- [ 18 ]—— 地域経済調査  
BSI 調査による景況感の変化
- 
- [ 24 ]—— 海外レポート  
香港のプロモーション活用(食品関連編)
- 
- [ 27 ]—— 海外進出最前線  
清本鐵工株式会社
- 
- [ 28 ]—— FFG ニュース  
次世代創造プログラム
- 
- [ 30 ]—— 経済動向  
九州、福岡県、熊本県、長崎県
- 
- [ 37 ]—— 経済指標
- 

### 【バックナンバーのお知らせ】

「FFG 調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。  
<http://www.fukuoka-fg.com/>

FFGのお取引先企業をご紹介します。

### 株式会社 アグリス

代表取締役 中村 裕之氏

取引店 福岡銀行 八女支店



### 株式会社 風雅

代表取締役 塚田 強男氏

取引店 熊本ファミリー銀行 花畑支店  
福岡銀行 熊本営業部



### 株式会社 ホーセイ

代表取締役社長 池田 豊氏

取引店 親和銀行 本店営業部





## 株式会社 アグリス

代表取締役

# 中村 裕之氏

- 創 業：1990年 9月
- 設 立：1990年 9月
- 所 在 地：福岡県八女市
- 資 本 金：8,800万円
- 従 業 員：62名
- 事業内容：農業用生産資材の開発、製造、販売および医療用機器・器具・備品の開発、製造、販売
- 事業拠点：福岡県八女市(本社、工場)、東京都千代田区(支店)、大阪市中央区(営業所)

### 専門商社での経験を生かして 自社開発に進出

- 当社は1990年(平成2年)9月に、福岡県八女郡立花町(現在の福岡県八女市立花町)にて創業しました。創業当初は、検査・実験室で使用されるテープを、果樹の栽培等で必要な「接ぎ木」用テープに応用して販売していました。

しかしながら、もともと私は人工透析用機器を扱う専門商社の営業マンだったことから、人工透析に必要な消毒道具(綿棒や綿球、ガーゼ、ピンセット、絆創膏等)をプラスチックトレイに全て揃えて滅菌した、使い捨て方式の「透析ケアセット」を自社商品として販売する為、その開発に着手しました。

トレイの大きさや形状等について、試行錯誤を重ねた結果、93年(平成5年)によりやく商品化することが出来ました。高齢化社会を背景に透析患者が増加する中、折しも人工透析の保険点数引き下げにより、人件費の削減・抑制を検討している医療機関が増えていることや、器具消毒の不便による院内感染の問題が注目されるようになってきたことが更なる追い風となりました。使い捨てセット

を導入することによる医療現場の省力化や院内感染のリスク削減効果についても、医療機関にご理解頂くにつれて、販売数は年々増加していきました。

開発当初は、月間で1万セットにも満たなかった出荷数でしたが、既存の工場の生産能力では、受注増への対応が難しくなったことから、2001年(平成13年)に、現在の本社がある八女市に本社・工場を新設・移転し、増産可能な体制を整えました。現在では、月間約200万セットを出荷するまで増加しています。

### 常に現場で何が求められているかを意識

- 創業以来、常に作業現場で何が求められているかを注視してニーズに合った商品開発を実践するようになっています。

透析ケアセットについても、他社との競争の中で当社が高いシェアを確保出来ているのは、常にお客様のニーズを把握し、それにお応えしているからであると自負しています。

例えば、透析の為の消毒といっても、医療機関ごとに微妙にやり方は異なっていることから、ケアセットについても「綿棒をもう1本増やしてほしい」や「もっと大きなガーゼに替えて欲しい」等といったご要望が出てきます。これらのご要望に対応するには、オーダーメイドで商品を作る必要がありますが、通常は生産効率を考えると、多品種少量生産での対応は

難しいのが一般的です。しかしながら、当社はこれらのご要望に敢えてお応えすることで、お客様からの信頼を頂いてきました。

また、従来の透析ケアセットに1回分の消毒薬液入りカップを付属した、業界初となる消毒処置用キットについても10月に発売の予定です。今までのようにケースに消毒液を注ぐ必要が無くなり、このキット単体で消毒処置が可能となりました。

現在、病院・医療施設では感染対策、医療事故対策等、経営の効率化を図る為に機能評価や手技の統一化等が広く検討されていますので、この新しい処置用キットは透析施設だけでなく、病院の消毒処置全般に利用が広まると予測しています。また、アウトドアや学校・スポーツ団体にも利用可能と思います。

今後は、医療機器製造・販売業としての生産技術や品質管理等、製造技術管理体制の更なるレベルアップを図るべく、有能な人材の確保にも積極的に取り組んで参ります。

### 農業設備だけでなくソフト面もサポート

- 農業資材部門においても、全国有数のいちご生産地である九州の地域性を活かす為、いちご栽培用の資材を自社開発しました。棚状の設備で栽培を行うことによって、地面に直接栽培する時のように腰を曲げることなく立ったままで作業が出来るようになり、大幅な作

業の効率化を実現すると同時に、栽培面積の増加による収穫増も可能とした「アグリス式高設栽培システム」を開発しました。

更に、いちご栽培の支援業務を行う「栽培指導室」を設置したことで、当システムを導入して頂いた農家への技術指導やアフターフォロー等、ソフト面での支援が可能となり、農家の収益力アップと省力化にも貢献しています。

また、地元八女市の大型健康増進施設「べんがら村」に隣接した、当社の子会社が経営するいちご観光農園では、当システムでいちごを栽培している為、お子さんや車椅子の方等多くの方がいちご狩りを楽しんで頂けます。

そのような当社の取り組みが評価され、埼玉県越谷市より、恐らく全国初の事業となる「都市型農業経営者育成支援事業」において、当社が研修指導についての業務委託を請けました。それに伴い研修用施設として、農業技術センター内にいちご観光農園をこの冬開園する予定です。当社のいちご高設栽培システムの評価や宣伝効果も期待出来ることから、関東周辺での営業展開に大きく活用したいと

考えています。

#### 新たなステージに向けて

- 現在、更に利便性・機能性の高い簡易消毒用具の開発にも取り組んでおり、国内だけにとどまらず、海外への営業展開も今後は検討していく予定です。その為にも、医療機器の品質保証の国際基準であるISO13485については2年後を目処に取得したいと考えています。

また、アグリス式高設栽培システムの機能性、利便性を更に追及した新たなシステムを福岡県農業試験場の協力・指導を得て、今秋完成する予定です。

当社は、おかげさまで今年創業20周年を迎えることが出来ました。人間にとって最も身近で大切であり、且つ欠かせない産業である農業と医療において、新たな価値を創造し、社会の進歩、繁栄のお役に立ちたいと思っています。そして、どこにもない商品開発で新たな市場の開拓を実現したいとも考えております。今後5年間で100億円企業を目指していく中期計画も策定致しました。その実現に向かって社員一丸となって成長を続けて参ります。



福岡銀行  
取締役頭取 谷 正明

人間にとって最も身近で欠かせない産業である農業と医療において、常に現場のニーズを満たすような商品やシステムの開発をされてこられましたが、数多くのご苦勞もあったものと拝察致します。

今後も引き続き、当社の高い先見性を活かした商品開発により、新たな市場開拓の実現を期待するとともに、更なる目標やステージに向けてご発展されることを祈念致します。



【新製品】『テアテック』と『ES キット』（処置用キット+外皮消毒液）



ケアセット結込作業



密封されて出てくるケアセット



いちご高設栽培システム



Buddy-Tape  
(接ぎ木テープ：海外40カ国で使用中)



工場見学の様子



左から古城戸支店長、中村社長、  
諫山総務部長、谷頭取

## 株式会社 風雅

代表取締役

## 塚田 強男氏

- 創 業：1990年 9月
- 設 立：1990年 9月
- 所 在 地：熊本県熊本市
- 資 本 金：4,600万円
- 従 業 員：35名
- 事業内容：海苔菓子・加工海苔の製造及び卸小売
- 事業拠点：熊本県熊本市(本社、物流センター、直営小売店)、  
福岡県太宰府市(営業所、直営小売店)、福岡市、  
宮崎県宮崎市、京都市(直営小売店)



## 海苔の製造卸業から分社

- 私は1965年(昭和40年)より、当社の親会社である海苔の製造・卸会社に勤めておりました。ここでは主に量販店向けに海苔を卸していましたが、私は海苔だけでなく、より付加価値の高い商品を販売したいとの思いから、お酒のつまみとして食べられている豆類を自慢の高級海苔でくるんだ商品を開発しました。これが現在当社の看板商品となっている「風雅巻き」です。

85年頃に地元の百貨店で試験的にこの商品を販売しましたが、最初は知名度も無く、なかなか売上には繋がりませんでした。しかしながら、試食による販売を地道に行ったことでお客様にも認知され始め、また海苔でくるんでいる為食べやすいこともあって女性からの支持も頂けるようになると、次第に売上も増加していきました。そして、風雅巻きの販売が事業として軌道に乗り始めたことから、当時の社長に分社化を申し出て、90年(平成2年)に現在の会社を設立。社名は、看板商品名から採用し且つ高級感があるものにしたという考えから「株式会社風雅」としました。

現在、当社の商品は百貨店での

販売に加え、直営店として熊本県内の4店舗のほか、福岡県、宮崎県、京都府に4店舗の計8店舗で販売しています。今日に至る迄で苦労した点は、営業力の強化でした。当社は百貨店に商品を卸している為、百貨店のバイヤー様との交渉力が売上を伸ばす鍵となります。創業当初は、大手百貨店に対する営業ノウハウが乏しく、関東や関西等都市圏での売上が思うように伸びませんでした。しかし、地道に営業を重ねることで、次第に大手百貨店のバイヤー様との親交も深まる一方、ある大手菓子メーカーのOBの方々数名に当社での勤務を勧めたところ、快く引き受けて頂きました。このOBの方々のお陰で大手百貨店に対する営業が強化されただけでなく、その営業ノウハウを学ぶことで他の営業社員への良い刺激にもなっています。

## 海苔にこだわった看板商品

## 「風雅巻き」

- 当社の看板商品である「風雅巻き」は、大豆やピーナッツ、カシューナッツ等の豆に衣を付け、わさびや醤油、梅等、様々なスパイスでバリエーションに富んだ味付けを施し、その豆を有明海で獲れた色、味、艶ともに優れたパリパリの焼海苔で一本一本手巻きしています。この「風雅巻き」は特に素材にこだわりました。使用する海苔は、有明海で10月頃に種付けし若摘みされた海苔、いわゆる一番海苔であり、甘みがあり、色艶が良く、さらに口溶けの良い最高峰のものに限定しています。

豆は、大豆、落花生、ソラマメ等を使用していますが、特に大豆は国産で良質な佐賀県産のものを使用しています。さらに、寒梅粉(寒梅が咲く季節に新米のもち米から精製した良質の粉)で豆をコーティングする等、当社独特の製法により味、香り、食感いずれも楽しめる商品に仕上げています。

また、素材だけでなく製造方法にもこだわりを持っています。豆を焼海苔で巻く作業は機械を使用せず、熟練した職人の手作業で製造しています。機械化により大量生産させた方が効率的ですが、より真心のこもった美味しいものをお客様に食べて頂きたいとの思いから、一本一本丹精を込めて手巻きしております。こうした品質へのこだわりが、「風雅巻き」の評価に繋がっているものと自負しております。

## 役職員全員で経営を考える

- 当社では、「使命感」「機能分担」「成長発展」を経営の基本方針としています。

「使命感」とは、社内では協調と調和を尊重し、お客様やお取引先に対しては謙虚な姿勢で誠意と誠実を基礎としたサービス精神をもって対応することであり、全役職員に徹底しています。

「機能分担」とは、業務を円滑に推進する為に、各人が与えられた職務を忠実に責任をもって果たすとともに、他との協調を図ることを求めています。

「成長発展」とは、事業を発展させ、社員が豊かになり且つ人間

性の成長を遂げ、社会貢献が出来るようになることを指しており、社員、企業の成長とともに社会の発展にも努めています。このような方針の下、私どもは役職員一丸となり、地域とともに成長していきたいと考えています。

具体的には、毎年「経営方針書」を作成し、年度始めに全社員を集めて、役員や幹部社員より今年度の方針として発表しています。この方針書は、1年の短期、5～6年の中期、10年以上の長期と、それぞれの期間でのビジョンや方針を定めていますが、毎月その進捗状況をチェックしています。更に半年毎に進捗状況に応じて事業計画の修正を行い、毎月の決算を予測し、状況によっては方針変更を行う等、きめ細かい経営に努めています。

経営方針書の作成を始めたのは、創業資金の融資を受けた熊本ファミリー銀行の指導によるものでした。当初はどのように作成してよいか勝手がわからずA4用紙1枚程度のものでしたが、今では数十ページに及んでいます。このような取り組みも今年で21年目を迎え、方針書の作成や見直し等を通

じて社員の経営参加に対する意識向上に繋がっています。

### 海苔の美味しさをさらに広めるために

- これからの事業展開としては、2年後に増資を行い、現在の本社機能を拡充させる為に新築移転する予定です。さらに、お客様のご要望等に迅速に対応出来るようにコールセンターの開設も目指しています。また、現在は全体の売上構成比率の3分の1を占める直営小売店や通信販売について、一般個人のお客様のリピーターを5割にまで高めたいと考えています。

今後の目標として、地元熊本県内においては、熊本発の全国区のお菓子となるよう、より一層のブランドの定着を目指すとともに、熊本県外においても直営店を通じて「風雅巻き」のファンを広げ、百貨店の持つ集客力やブランドイメージも最大限に活用しながら、「風雅巻き」の知名度を向上させたいと考えています。

これからも、「風雅巻き」をはじめ、皆様に喜んで頂けるような商品づくりを役職員全員で目指して参ります。



熊本ファミリー銀行  
取締役頭取 林 謙治

「風雅巻き」の厳選された素材に加え職人さんが一本一本海苔で豆を丹念に手巻きされる製造方法等、社長様のこの商品に対する想いに大変感服致しました。これまで当社が成長されてこられたのも、このような商品へのこだわりや堅実な経営姿勢によるものと存じます。既に「風雅巻き」は熊本の銘菓として幅広く親しまれていますが、さらに全国的なブランドとして飛躍されるとともに、当社が益々発展されますよう祈念致します。



風雅巻き



「風雅巻き」の手巻き作業



製造ラインの説明



本社ビル



直営小売店



左より林頭取、塚田社長、米村支店長



## 株式会社 ホーセイ

代表取締役社長

# 池田 豊氏

- 創 業：1974年 8 月
- 設 立：1974年 8 月
- 所 在 地：長崎県佐世保市
- 資 本 金：2,800万円
- 従業員：59名(グループ全体190名)
- 事業内容：艦艇・一般商船修理及びメンテナンス  
(グループ企業)特別養護老人ホーム運営、  
不動産販売・賃貸、農産物販売、技術者派遣
- 事業拠点：長崎県佐世保市(本社、工場、事業所、特老施設、直販所)、  
不動産管理事務所)、長崎県西海市(直販所)

### 艦艇のメンテナンスで 高度な技術力を提供

- 米海軍や海上自衛隊の艦艇は、一般の商船に比べ厳しい環境下での運航が多く船体の損傷も激しくなりがちです。また、緊急時における対応のほか、船体の状況に応じて臨機応変にメンテナンスが必要とされる為、大きな負荷がかかります。とともに高度な技術力が求められます。

例えば、艦艇のエンジンのオーバーホール(分解した上での修理・点検)にしても、艦内の限られたスペースの中での作業は、非常に煩雑です。さらに、あらゆる状況下でもトラブルひとつ無く常時稼動出来る状態に整備しなければなりません。このように、艦艇のメンテナンスを安定して受注出来るのも、長年の経験の積み重ねにより蓄積した技術力と社員一同の研鑽や努力によるものと確信しています。

### 艦艇修理部門において 国内で初めてISO9001を取得

- 当社では基本理念として、「人の和」「実行」「責任」を事業の原点として創業当初から掲げ、その下で業績目標や業務への取り組み姿勢等、毎年行動スローガンを決定し、実行するように努めて参りました。この3つの基本理念は、企業経営において必要なものとして、今日まで私をはじめ社員皆で守り続けてきたものであり、今後も徹底していきたいと考えています。

また、この理念をより具体的に

進める為に2002年(平成14年)国際標準化品質マネジメントシステムであるISO9001を艦艇修理部門において取得しました。この部門でのISOの取得は我が国では当社が初めてです。以前の現場と言えば、工場内には部品が散在し、雑然として油にまみれて見た目も決して良くありませんでした。しかし、同業他社との競争に勝ち残る為には国際的な信用力を高める必要があると考え、社員の意識改革の一環としてISO取得に取り組みました。その際、大手造船メーカーよりアドバイザーを招き入れ、ネジの1本に至るまで番号を振り分けて在庫管理を行う等、現場をはじめ、全ての部署の業務を見直しました。そして受注から修理、検査までの全工程をマニュアル化し、業務や作業品質の不備を厳しくチェックするシステムを構築しました。その結果、作業や部品の発注等様々な面で業務の効率化を実現するとともに、社員の職場環境の整備に対する意識向上にも繋がっています。

さらに、当社は米国のエンジンメーカーであるFDGM社の日本唯一の代理店として認定され、米軍掃海艇エンジンの技術提携が出来たのも、このような取り組みが評価されたものと思います。

### 「社会奉仕の精神」で 事業の多角化に取り組む

- 現在、社会奉仕や地域に対する貢献に注力したいと考え、福祉事

### 米海軍佐世保基地における民間への業務委譲が独立のきっかけ

- 私は、父が経営していた建設会社に就職し、地元の大手造船メーカーの下請けとして船舶の塗装やプラント工事等に携わっていましたが、独立のきっかけは、米海軍佐世保基地の機能縮小に伴い、民間に業務の委譲が進められたことです。1974年(昭和49年)に、私は基地を退職した技術者20名とともに新たに艦艇のメンテナンスを行なう会社を設立しました。社名は、私自身の名前と「事業が繁栄し豊かに成るように」との想いから「株式会社豊成工業」としました。そして、米海軍等から艦艇のメンテナンス業務を安定的に受注出来るようになると、当社の経営も軌道に乗り始めました。

その後、83年(昭和58年)に同業7社により佐世保立神工業協同組合を立ち上げるとともに、国、長崎県、佐世保市の協力により米軍用地の払い下げを受け、翌年には新社屋を建設しました。92年(平成4年)には、社名を現在の「株式会社ホーセイ」に変更し、現在に至ります。

業、農産物直販事業（産地直販所「西彼とれたて処」）、不動産管理事業等、グループ企業において事業の多角化を行っています。

私は、これまでに企業活動を通じて地域の多くの方々との親交を図る中で、友人達と親しく交流することが出来るような老人の集う福祉村を作りたいとの夢を抱きました。その夢の実現に向けて、05年（平成17年）に、社会福祉法人清真会を設立し、特別養護老人ホーム「音羽の浜」を開設しました。この施設は、「私自身が入りたい施設、受けたい介護」をコンセプトに、室内を明るくする為に窓を大きくしガラス張りのスペースを増やしたほか、施設の利用者の方々が少しでも自宅に居る様な環境で過ごして頂けるよう、家具等の持ち込みを可能にしています。また、アメニティに配慮した個室での生活支援「個室ユニットケア」にも取り組み、プライバシーを大切に空間づくりをしています。さらに、一時的な利用のショートステイやデイサービス、小規模多機能ケア等、様々なサービスを提供しています。

また、「常に利用者の方々の立場に立って対応する」という運営理念を掲げ、全社員とともにその理念に沿った行動を心掛けています。特に、接遇に関してはいつも笑顔で接することを実践するよう指導し、利用者の方々によりご満足頂けるサービスのご提供を目指しています。

### 広く社会に貢献できる 企業を目指して

- 今後の事業展開としては、スムーズな世代交代が出来るように、事業内容の充実を図り、経営基盤の強化に努めたいと考えています。

具体的には、主力の艦艇等のメンテナンスに関しては、品質管理を徹底すべく専門部署を設けるとともに、技術継承に向けた人材への投資を行い、更なる技術の向上を目指します。また、そこで培ったノウハウを活用しながら民間施設整備、公共的な事業、さらには高齢化社会を見据えた福祉事業等にも取り組み、これからも「広く社会に貢献できる企業」を目指して、高度な技術の提供と新たな価値の創造に邁進して参ります。



親和銀行  
取締役頭取 鬼木 和夫

当社は長年に渡り米海軍等の艦艇のメンテナンス業務に携われ、また我が国で初めて、艦艇修理部門においてISO9001を取得される等、数々の実績をお持ちです。また、社長様のこれまでの企業経営のご経験等から、福祉事業をはじめ経営の多角化を進めていらっしゃると思いますが、どの事業におかれましても常に利用者の方々やお客様の立場に立って事業に取り組んでおられることに感服致しました。今後も地域に求められる企業として益々ご発展されることを期待しております。



本社工場内



工場内での作業説明



産地直販所「西彼とれたて処」



特別養護老人ホーム「音羽の浜」外観



特別養護老人ホーム「音羽の浜」



前段左より伊福総務部長、鬼木頭取、池田社長、  
後段左より白石本店営業部長、園工場長

## シンガポールに学ぶ経営戦略① ～アジアの時代の新発想～

### はじめに

現在、アジアで最も進んだ国はどこでしょうか。さまざまな指標が指し示すのは残念ながら日本ではなく、赤道直下の小国シンガポール(図1)です。金融危機後もむしろ世界の金融センターとしての地位を固め、ロンドン、ニューヨークと並ぶ世界三極を形成しています。

図1 シンガポールの位置



そこで今回は視点を経営全般に広げ、シンガポールの画期的な社会・経済運営のなかから今日の経営のヒントとなる事例を紹介します。閉塞感に満ちた日本の社会・経済にとって新たな発想を生む刺激となれば幸いです。

### システム設計と厳格なルール

シンガポールは今年で建国45年を迎えます。独立当時、世界銀行から「下水溝に流されつつあるアジアの片隅の貧しい市場」と見放された国が、今日では世界有数の先進国に成長しています。国民1人あたりGDPは約4万USドルと日本を追い越し、政府の発行する国債はアジアで唯一トリプルA格にランクされています。

### 九州大学大学院教授 丹羽 由一



1977年 東京大学経済学部卒、  
日本開発銀行入行。

ハーバード大学客員研究員、大蔵省シニアエコノミスト、  
日本経済研究所総務部長、日本政策投資銀行シンガポール  
事務所長、えひめ地域政策研究センター常務理事を経て2008年より現職。

また産業の競争力は最新のIMD(スイスの経営開発国際研究所)ランキングで、とうとうアメリカを抜いて世界1位(因みに日本は27位)になりました。そのほかIT先進国としても知られ、インターネット普及率は世帯数に対し104%(2009年時点)と日本を大きく凌駕、eガバメント(電子政府)の先進度もアジアでトップの評価を得て、実際に日常的な手続きはほぼすべてネット上で行うことができます。

人口わずか500万、淡路島とほぼ同じ面積で、もともと何の資源も持たず、食料はおろか水さえ自給できない貧しい小国が、どうやってここまで発展したのでしょうか。

この「奇跡」の秘密については、これまでに数多くの本で紹介されています。リー・クアンユーという一人の卓越した指導者の功績、外資の積極的な導入とそのための社会インフラ整備、アジア最高水準の空港と港湾を活かしたヒトとモノの交流、アジアの金融センターとしてのビジネスハブ機能強化、アジアのRHQ(地域統括本部)機能強化など、数え上げればきりがありません。ただそれらの底流にあるのは、徹底した合理主義と効率性に基づいた独自の社会システム設計です。

例えばシンガポールのチャンギ国際空港は、複数の旅行雑誌から10数年にわたって「世界一の空港」に選ばれています。利用したことがあ

る方ならわかりでしょうが、確かに快適さ、わかりやすさ、スピーディーさ、親切さなどすべての面で優れています。そしてこれを実現しているのが優れたシステム設計に他なりません。

社会システムという点では、この国の罰金制度もつとに有名です。地下鉄の駅や車内で飲食・喫煙したり、ゴミ箱以外の場所にゴミやタバコの吸い殻を捨てたり、横断禁止箇所を横断したりするだけで500～5,000ドルの罰金刑が科せられます。このほか道に唾を吐いたり、チューインガムを国内に持ち込んだり、地下鉄の車内では足を投げ出したり、キップを折り曲げただけでも罰金です。さらに立ち小便はいうまでもなく、酒に酔って道で吐いたり、トイレの水を流さなかったり、自宅の植木鉢にポーフラを湧かせたり、公園の池で魚釣りをしても同様です。また麻薬についてはことさら厳しく、持っているだけで死刑です。他人の車にスプレーで落書きした米国人の少年を鞭打ち刑に処し、米国のマスコミから「非民主国家」と攻撃されたことさえあります。

このようにシステムを効率的に運営するためには思い切ったルールを設定するのがこの国のやり方です。その意味で、シンガポールは経済学や経営学、社会学の教科書に書いてある理論が実演されている「生きた実験室」ということもできます。典型的な事例として「自動車の総量規制とピークロードプライシング」を以下にご紹介します。

「シンガポールでは車の値段が恐ろしく高い」ということをお聞きになったことはありませんか。実際にカローラクラスで700万円、ベンツなら2,000万円以上します。この懲罰的ともいえる価格は、つまるところ車の総量規制に由来しています。淡路島程度の面積の島に1人当たりGDP 4万ドルの国民500万人がひしめくこの国では、もし車の保有を自由市場に委ねれば、たちまち国中が車で埋め尽くされることは明白

です。そこでシンガポール政府は、台数を抑制するために車両価格に匹敵するほどの高額な税金(輸入関税、登録税、道路税など)を科す一方、1990年に車両割当て制度を導入して、車を保有するための権利(COE)の取得を義務付けました。

このCOEは毎月政府が認める台数分(廃車台数程度)が競売にかけられ、各人に売却されます。落札価格は毎月の需給により上下しますが、おおむね1台200～300万円程度(10年間有効)です。これらの「厳しい」措置により、国民1人当たりの一般自動車数は0.1台に抑えられ、一応道路交通の快適性が保たれています。

もう一つ道路交通に関しては有名なERP(通過料金自動徴収)システムがあります。これは1998年に中心市街地の朝夕の渋滞を緩和すべく導入されたもので、日本のETCとは異なり開閉バーはなく、一般道をまたぐ形で設置されています(図2)。

図2 ERPゲート



すべての車両はフロントガラス内側に専用の機器を搭載し、そこに挿入された「キャッシュカード」と称される多目的ICプリペイドカードから、ゲートを通過するたびに通行料が引き落とされる仕組みです。ゲートは街の中心部に集中して約50か所設置され、通行料は曜日、時間に応じて小刻みに変動します。当然渋滞が激しい場所や時間ほど料金も高く、まさに交通経済学でいうところの「ピークロードプライシン

グ」そのものが実演されているのです。このほか税金やCOEが安いかわりに、夜間と土日しか走行を許されない「オフピークカー」という赤いナンバーの車や「パーク＆ライド」割引制度などもあり、いわば交通渋滞という外部不経済を、価格メカニズムにより解決しようという様々な試みが続けられています。

いかがですか。ここまで徹底するともはや国家ではなく一つの企業内の話のようですが、実際にこの国は冗談半分に Singapore Inc. と称されることも多く、首相はいわば社長、閣僚は役員です。また首相(Prime Minister)のほかに上級相(Senior Minister)というポストがあり、首相経験者が就くのが通例ですが、これはまさに「会長職」そのものです。

最後に初代首相で建国の父と敬愛されているリー・クアンユーが、その著書「目覚めよ日本」のなかでリーダーシップについて述べている言葉を引用します。経営者の心構えとしても十分に訴求するものがあります。

「良い指導者は必ずしも人気があるとは限らない」「変革のためには決然たる指導陣が不可欠である」「世論に従うのではなく、社会規律に従うべきである」

### 公平で持続可能な年金制度

シンガポールの優れたシステム設計と厳格なルールは、年金や公務員制度にもはっきり表れています。まず年金制度ですが、日本では周知の通り公的年金制度の持続性に懸念が生じています。この先、急速に進行する少子高齢化により、近い将来給付水準の維持が困難となり、最終的には破綻のおそれもあるというものです。企業年金に関しても同様の事情から雇用者掛金の負担に耐えられず年金を解散したり、また終身雇用の崩壊から加入者間の公平性に大きな欠陥が生じています。

しかしシンガポールの年金制度にはそういっ

た問題が起こっていません。最初にお断りしますが、シンガポールの出生率はわずか1.2人で日本以上に少子高齢化が進行しています。

それなのになぜ年金制度が破綻しないのでしょうか。それは年金のシステムが、日本のような賦課方式ではなく、個人別の積立方式であることに由来します。つまり毎年の保険料収入でその年の保険金支払いをするのではなく、ちょうど民間の個人年金保険のように、自分が支払った保険料を老後に受け取るという仕組みです(表1)。

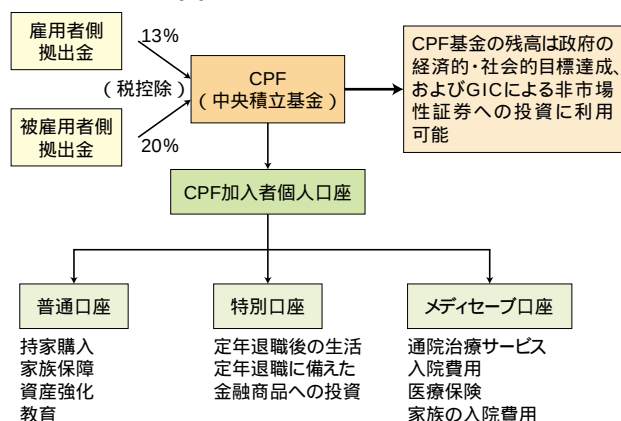
表1 年金制度比較

|     | 賦課方式   | 積立方式   |
|-----|--------|--------|
| 拠出者 | 現在の就業者 | 現在の就業者 |
| 管理  | 年金基金   | 加入者別口座 |
| 受給者 | 現在の退職者 | 拠出者本人  |

この積立方式にはいくつかの利点があります。第一に「自分が支払った金額を将来確実に受給できる」ということで、少子高齢化が進んでも年金受取額が削られることはありません。第二に「保険料不払いが少ない」ことがあげられます。シンガポールの年金はCPF(中央積立基金)と称されていますが、その名の通り加入者に社会保険という意識は薄く、むしろ「強制貯蓄」と認識されています。しかもこれにはほぼ同額の雇用者拠出が付いています。つまり保険料の不払いは自分の貯蓄が増加しないのみならず、会社が上乗せしてくれる分を放棄したことになり、明らかに損なのです。また拠出された年金はGIC(シンガポール政府投資公社)やテマセク(Temasek Holdings)といった巨大な政府系ファンドにより運用されており、運用益は毎年各人の口座に利息として加算されていきます。さらに「年金口座の当座貸越」も可能で、年金口座を担保に政府から教育や住宅取得などのローンを受けることができ、いわば各人の資産形成として機能しているのです(図3)。

またもう一つ注目すべき点として、健康保険

図3 CPFのスキーム



をセットにしていることがあげられます。

シンガポールでは健康保険料も社会保険料に含まれ、医療費はその都度個人別の年金口座（メディセーブ口座）から引き落とされます。つまり自分が医者にかかればそれだけ自分の年金が減るということで、この結果各人は無駄な医療を極力受けないようにするため、医療費の抑制にも大きく寄与しています。

もちろん積立方式の短所もあります。最も大きいのは「低所得者は年金受給額も低い」ということで、あくまで自分で支払った分が受給金額の基礎になるため、各人の受給額に大きな格差が生じています。就業しなかった人は無年金です。しかしあらためて考えてみれば、日本の若年者のように自分が支払う保険料の半分も受給できないのと、はたしてどちらが不公平でしょうか。少なくとも「持続可能なシステム」という点ではシンガポールの制度に軍配があらうと思います。

次に公務員制度をみてみましょう。シンガポールは典型的な官僚国家です。この国の優れた社会システムは優れた官僚によって支えられています。汚職の少なさも自慢の一つで、香港のシンクタンク「Political & Economic Risks」が毎年発表しているランキングでは、調査開始以来アジアで最も汚職の少ない国に位置づけられています（以下香港、日本と続きます）。この背景にあるのが世界一厳しいといわれる汚職防止

法です。どのくらい厳しいか、二、三例をあげてみましょう。

- ① 汚職で告発された者は、自分で潔癖を立証できない限り有罪です（同法第17条）。つまり「疑わしきは罰す」で、立証責任は検事側でなく被告にあります。従って日本でいうところの「灰色高官」は全員有罪です。
- ② 賄賂を提供された者は、受取りを拒否するだけではなく、その場で提供者を逮捕しなければなりません（同第32条）。もし逮捕せず後日発覚すると6カ月以下の禁固刑です。
- ③ 職務権限は立件と一切関係ありません。相手が自分の職務と無関係でも、とにかく公務員が他人から金品を受取れば直ちに有罪です。

何か公務員が虐げられているようにも見えますが、実は必ずしもそうではありません。汚職に厳しいかわりに、この国では公務員の給与がずいぶん高いのです。

具体的には日本の人事院に相当する「National Wage Council」が毎年出す勧告に従って決められますが、その計算方式はこんな具合です。

- ① 閣僚と次官の給与は「アベレージ24」という数値に準拠します。これは民間の人気6業種（銀行家、会計士、弁護士、設計士、国内企業トップ、外国企業トップ）のそれぞれ国内上位4人（計24人）の平均額の3分の2です。
- ② 若手幹部職員の給与は「スーパースケールG」といって、同じく上記6業種の32歳時点（勤続10年目）の国内上位15位（計6人）の平均額に準拠します。

このように民間のトップレベルに準拠するわけですから、給与面は非常に優遇されていると言えます。例えば日本がこの方式で試算すれば、公務員の給与は倍以上になります。従って官僚のステータスが非常に高く、人材不足がちなこの国にあって常に優秀な人材を確保することに

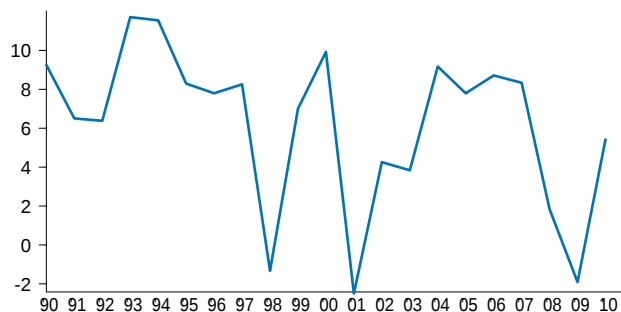
成功しています。全般的なモラルも大変に高く、いわゆる官僚主義と無縁な国としても知られています。また女性の戦力化についても世界最先端で、キャリア官僚のうち局長・部長級の6割、課長・係長級の7割が女性です。

このような年金や人事制度は一見極端にも見えます。しかし企業年金や人材獲得に即してみればそれほど変な話でもありません。グローバル経営の時代においては、その「わかりやすさ」と「公平性」からむしろ説得力を持つのではないのでしょうか。

### 景気刺激策と「国の株式」発行

ユニークなシステムは経済政策にも多く見られます。最も話題を呼んだのは「New Singapore Shares」と称された国が発行する株式です。これは2001年に米国IT不況と9.11テロの影響で、ITと観光に大きく依存する国内経済が深刻なりセッションに陥ったことを受け、景気振興策の目玉として打ち出されたものです。この10数年間でシンガポールは、アジア通貨危機(1998)、IT不況と9.11テロ(2001)、世界金融危機(2009)と三たびマイナス成長に陥りましたが、これはその2番目の谷です(図4)。

図4 シンガポールのGDP実質成長率推移



(注) 2010年は予測値  
(出所) IMF

シンガポール経済はアジアの中でも特に輸出依存度が高く、かつその7割をエレクトロニクス関連が占めているため、IT不況のインパクトは非常に大きいのです。加えて9.11テロで運輸・観光などの主要業種が壊滅的な打撃を受

け、各業種とも生産調整や人員削減が本格化し、ひいては消費者マインドの急速な悪化が最も懸念される状態でした。因みに「New」は「新生シンガポール」への願いを表わしたもので、過去に同様の措置が実施されている訳ではありません。

具体的には政府が総額27億シンガポールドル(約1,800億円)の株式を発行して、これを無償で国民に配り、家計補助と消費刺激に役立たせようとした。以前に日本で実施された「地域振興券」とどこことなく似ていますが、こちらは「株式」と言うだけあって、すぐに使うのではなく、ある期間保有して配当を受取ることを前提にしています。さらにこれが最も株式らしいところですが、配当率が毎年国の経済成長率によって上下するのです。また償還期限(5年半)や最低配当率(3%)が設定されている点は、通常の国債と似通っていますが、譲渡・転売が禁止されている点は私募債の性格を持っていると言えます。これを金融商品と見立てて発行目論見書を書くなれば、次のようになるでしょう。

|                      |                                     |
|----------------------|-------------------------------------|
| 種 別                  | 償還特約付普通株式                           |
| 発行主体                 | シンガポール政府                            |
| 発 行 額                | 27億シンガポールドル                         |
| 額 面                  | 1シンガポールドル                           |
| 発 行 日                | 2001年11月1日                          |
| 償還期限                 | 2007年3月1日                           |
| 発行形式                 | 無償割当                                |
| 割当対象                 | 21歳以上のCPF(国民年金)加入者全員                |
| 割当株数                 | 月収または自宅の部屋数に応じ、一人最低200株から最高1,600株まで |
| 配 当 率                | 最低保証3%プラス毎年のGDP成長率(ただし0以上)          |
| 譲 渡                  | 不可                                  |
| 取引市場                 | 非上場                                 |
| ここで面白いのは、一人ひとりへの配布額が |                                     |

「貧者優遇」の原則により、月収ないし自宅の部屋数で決まる点です。因みに上限株数(1,600株)をもらえる層は、月収1,200ドル(約8万円)以下ないし自宅部屋数3室以下で、かつ高齡(62歳以上)な人です。いわば低所得者への家計補助といった一種の社会政策的側面もあります。では日本の地域振興券や定額給付金とはどこが違うのでしょうか。この点に関してはおよそ次のように考えられます。

- ① 地域振興券や定額給付金は直ちに財政支出が必要ですが、株式ならとりあえず償還までの間、5年半の猶予があります。
- ② 国民からみれば、安全かつ高利回りの貯蓄であり、「将来の不安」を和らげる効果が期待できます。
- ③ あえて「株式」と命名し、配当率を国のGDP成長率と連動させることで、国民に国家経済運営への参加・協調意識を持たせることができます。

日本の地域振興券や定額給付金が、実際に消費刺激に効果があったかどうか、いろいろ議論がなされたことはご記憶でしょうが、はたしてこの「国の株式」はどうでしょうか。消費者マインドの好転に寄与したのでしょうか。

この議論は実は大きな学術論争の対象にもなっています。端的にいえば消費に対しては「所得効果」が有効か「資産効果」が有効かという論争です。

つまり地域振興券や定額給付金は、当年度の可処分所得の増加を通じて消費を増大させ、一方「国の株式」は資産の増加を通じて消費係数を上昇させるという理屈です。卑近な例で言えば、競馬で当てた(所得効果)のと持ち株が増えた(資産効果)のでは、どちらが消費に向かうかという話ですが、少なくともシンガポールのケースではその後予想以上の消費回復がみられました。この事例から企業経営へのインプリケーションを探すとすれば、「固定観念にとら

われない合理的な手段」と「実施時期を逃さない即応性」の二つをあげたいと思います。

またこの「国の株式」は、Singapore Inc.と揶揄されるほどの商人国家シンガポールならではのものですが、その発想はまさに従業員持株制度そのものです。一般にこの制度は、①福利厚生の一環として従業員の資産形成を図ること、②従業員の経営参加意識を高めること、③安定株主を形成することが目的ですが、シンガポールのケースでは、会社を「国」に、従業員を「国民」に読み替えれば、そのまま同じ効果が期待できるというわけです。

実際に償還までの5年半の間、「国の株式」を保有しているすべてのシンガポール国民が高配当、すなわち国の経済成長率が少しでも高まることを望んでいたことは確かですし、シンガポール経済はその後のV字回復により立ち直り、2007年3月に最終償還されるまでの配当率累計はなんと42%にも達したのです(表2)。

表2 New Singapore Shares 配当実績

| 配当日      | 配当率(%) |
|----------|--------|
| 2002/3/1 | 1.0    |
| 2003/3/1 | 5.2    |
| 2004/3/1 | 4.1    |
| 2005/3/1 | 11.4   |
| 2006/3/1 | 9.4    |
| 2007/3/1 | 10.9   |
| 合 計      | 42.0   |

(出所)シンガポール財務省

その意味において企業経営的視点からは「経営目標の設定と従業員一丸となつての達成意識」、「インセンティブ付与と成果の分配」に関する興味深いケーススタディだと言えます。

## シュガーロード

## 1. 砂糖の道「シュガーロード」

## 菓子文化を伝えた長崎街道

福岡県北九州市小倉を起点として長崎市へと至る旧長崎街道。近年、この旧長崎街道を「砂糖の道＝シュガーロード」と呼ぶ動きが広まりつつある。

もともと旧長崎街道は、江戸時代に長崎・出島のオランダ商館長が江戸に上る際の江戸参府ルートであり、鎖国時代に長崎に荷揚げされた砂糖を京都や江戸に運ぶ道であった。この道を通して西洋や長崎在住の中国人の製菓技術が伝わったことで、街道沿いの25の宿場町には砂糖を使った多彩な菓子文化が花開いた。

シュガーロードという名称は、雑誌「佐賀文化」編集長の故・河村健太郎氏が1996年に命名したのが最初であるとされており、その後、旧長崎街道沿いのまちづくり団体などによって使われるようになり広まっていった。

2005年3月には、佐賀市のまちづくり団体であるNPO法人「活気会」が、「第1回シュガーロード検定」を実施し、新聞などでも話題になった。また、06年11月には、同じくまちづくり団体である小倉ロールケーキ研究会の主催により、北九州市で「シュガーロードサミット」が開催された。さらに、08年には街道沿線の飯塚市においてNPO団体「筑前国シュガーロード飯塚宿」が発足した。

このような一連の流れを受けて、自治体側でも積極的にこの動きを産業振興や観光集客に結びつけようとの動きが出始め、08年10月31日には旧長崎街道沿線の行政・民間団体が集まりシュガーロード連絡協議会が発足した(事務局：長崎市)。

## 菓子産業集積と観光・まちづくりの融合

小倉から長崎までの約224km、3県9市に跨る旧長崎街道沿いには、長崎市の「カステラ」

財団法人 九州経済調査協会  
調査研究部 主任研究員

豆本 一茂



## 【略歴】

1992年 富山大学経済学部 卒業  
1997年 九州大学大学院博士課程 単位取得退学  
九州大学経済学部助手  
2000年 財団法人 九州経済調査協会 入社  
2010年 同上 調査研究部 主任研究員

## 【専門分野】

地域経済論、産業論、経済地理学

をはじめ、小城市の「小城羊羹」、佐賀市の「丸ぼうろ」など、全国的知名度を持つ伝統名菓が数多く存在している(図1)。

また、街道沿いの飯塚市には「ひよ子饅頭」で有名な株式会社ひよ子(福岡市、工場は飯塚市ほか)や「チロルチョコ」の松尾製菓株式会社(田川市、企画・販売部門はチロルチョコ株式会社 東京都として分離)など、全国区の製菓ブランドが存在している。さらに、小城市にはアイス菓子の「ブラックモンブラン」を製造する竹下製菓株式会社があり、広義のスイーツとしては、果実を使用したゼリーなどを製造している株式会社たらみ(長崎市)がある。これらの沿線に立地する菓子産業群は、県境や市町村境を越えた広域的な産業集積として捉えることができる。

先述したように、同地域では、これらの菓子

図1 シュガーロード沿線の代表的菓子



出所 九州経済調査協会作成

産業集積を新たな地域資源・観光資源と捉え、まちづくりや観光振興に活かそうとしている。シュガーロードは、既存産業を新たな枠組で捉え直すことによって、まちづくりや観光との融合を図り、街道沿いの企業・自治体間での広域的な連携を生み出す基盤になりつつある。その意味で、シュガーロードをキーワードとした広域連携の広がりは、一種の地域プラットフォームのような機能を果たしつつあるといえるであろう。

### スイーツ・ブームを背景に伸びる菓子市場

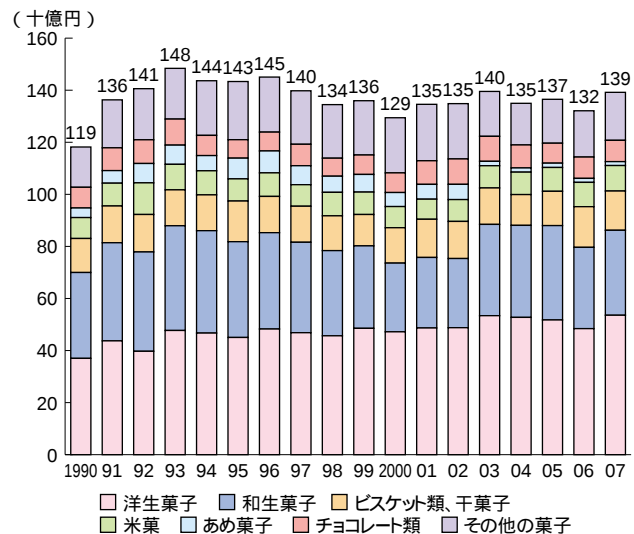
近年、日本は、過去何度目かのスイーツ・ブームにある。2000年代になり、一連のカリスマ・ブームや消費者の本物志向の高まりを受け、菓子職人(パティシエ)ブームが起きた。その際に、有名店のパティシエによる高級洋菓子などを既存の菓子と区別して「スイーツ」と呼ぶようになり、05年頃に女性雑誌を中心に洋・和菓子を問わず菓子一般をスイーツと呼ぶことが普及していった。

経済産業省『工業統計表』により日本の菓子製造業の現状をみると、2007年(従業者4人以上の事業所)で事業所数5,020、従業者数17万7,417人、製造品出荷額等3兆430億円となっている。事業所数については一貫して減少傾向にあるものの、景気拡大やスイーツ・ブームの影響もあり、従業者数では1999年、製造品出荷額等では2002年を底に上昇に転じている。

福岡、佐賀、長崎の3県における菓子製造業の出荷額は2007年で1,392億円(全国シェア4.4%)となっており、全国と同様に00年以降はわずかながら増加傾向にある。全国に比べ九州3県における特徴としては、菓子出荷額に占める洋生菓子と和生菓子の占める割合が高いことが挙げられる(九州3県:洋生菓子38.5%、和生菓子23.4%、全国:洋生菓子22.7%、和生菓子18.7%)(図2)。

これは、九州3県には、全国流通しているようなナショナルブランドの大手菓子メーカーが少なく、小規模な街のケーキ屋や和菓子屋が大半を占めていることが要因となっている。

図2 菓子産業の出荷額の推移  
(福岡県、佐賀県、長崎県)



出所 経済産業省『工業統計表(品目編)』より作成

なお、『工業統計表』では市町村別の産業細分類の統計は非公開であるため、シュガーロード地域における当該産業の規模を正確に把握することはできない。そこで、2006年の総務省『事業所・企業統計調査』と『工業統計表』をもとに当該地域の菓子製造業の規模を推計すると、06年時点で従業者数3,086人、製造品出荷額等370億3,200万円程度であると推測される(表1)。

表1 シュガーロードの従業者数、製造品出荷額の推計

| 事業所統計(2006年) |      |         | 工業統計推計(2006年) |         |              |
|--------------|------|---------|---------------|---------|--------------|
| パン・菓子製造業     |      |         | 菓子製造業         |         |              |
| 地域           | 事業所数 | 従業者数(人) | 地域            | 従業者数(人) | 製造品出荷額等(百万円) |
| 北九州市         | 38   | 956     | 北九州市          | 1,461   | 20,341       |
| 飯塚市          | 19   | 1,103   | 飯塚市           |         |              |
| 直方市          | 5    | 599     | 直方市           |         |              |
| 福岡地区計        | 62   | 2,658   | 福岡地区計         |         |              |
| 佐賀市          | 26   | 524     | 佐賀市           | 653     | 7,799        |
| 武雄市          | 12   | 171     | 武雄市           |         |              |
| 小城市          | 15   | 306     | 小城市           |         |              |
| 嬉野市          | 3    | 7       | 嬉野市           |         |              |
| 佐賀地区計        | 56   | 1,008   | 佐賀地区計         |         |              |
| 長崎市          | 21   | 220     | 長崎市           | 972     | 8,892        |
| 諫早市          | 18   | 1,082   | 諫早市           |         |              |
| 大村市          | 10   | 145     | 大村市           |         |              |
| 長崎地区計        | 49   | 1,447   | 長崎地区計         |         |              |
| シュガーロード計     | 285  | 8,779   | シュガーロード計      | 3,086   | 37,032       |

注1 菓子製造業: 0972生菓子製造業、0973ビスケット類・干菓子製造業、0974米菓製造業、0979その他のパン・菓子製造業。

出所 総務省『事業所・企業統計調査』、経済産業省『工業統計表(産業細分類統計表)』より筆者推計。

## 2. シュガーロードの存立基盤・競争力の源泉 長い歴史を持つ伝統名菓とそれをつなぐ物語

シュガーロードの強みの1つは、長い歴史があるブランド力を持った伝統名菓の存在である。これらの伝統名菓は既に全国的な知名度を持ち

各地の名産品や土産物として定着している。重要なことは、これらの伝統名菓の多くが長崎街道＝シュガーロードにまつわる物語を持っていることにある。

例えば、ポルトガルから伝えられ約450年もの歴史を持つ南蛮菓子の代表カステラ(長崎市)と同じく300年前にポルトガルから伝来した丸ぼうろ(佐賀市)、中国の羊肉スープの煮凝りを源流として17世紀頃に現在の形となり、戦前は炭鉱や軍隊の携帯非常食としても用いられた小城羊羹(小城市)といった具合である。

観光における物語の重要性が指摘されるようになって久しい。風景や建物、食べ物といった観光資源に歴史的な由緒由来といった物語が付加されることで、単に名所を見て回るだけでは得られない意味づけがそこに加わり、各々の資源の魅力が高まる。

旧長崎街道にまつわる歴史的な物語の存在は、各地の観光資源に深みを与えるとともに、街道沿いに点在する名菓を結びつける役割も果たしている。また歴史的物語の存在は広域連携の基盤となるだけでなく、菓子産業と観光・まちづくりとの融合性を高める効能もある。

### 堅実な地域マーケットと菓子消費文化

2つ目の強みは、堅実な地域マーケット、言い換えれば地元住民の菓子消費文化の存在である。数世紀にもわたって老舗店が伝統名菓を作り続けることができたのは、これらを支える強固なローカルマーケットがあったからであり、街道沿いの菓子消費文化が当該産業を下支えしている。

総務省『家計調査』をもとに2006～08年平均の1世帯当りの菓子に対する年間支出金額をみると、羊羹では佐賀市が全国1位で2,025円(全国平均の2.5倍)、カステラでは、長崎市が全国1位で6,619円(全国平均の7.1倍)と他地域を圧倒しており、地元住民によって地域の名菓が支えられていることが分かる。

また、かつて炭鉱で栄えた飯塚市や直方市に名菓が生まれた背景には、石炭景気に加え、労働で疲れた炭鉱労働者に甘いものが好まれたこ

とがある。同様に、高度成長期に日本の四大工業地帯と呼ばれた北九州市も、工場労働者が多く、甘いものが好まれる食文化が根付いたといわれている。

### ネーミングによるイメージ構築

故・河村健太郎氏によって命名された「シュガーロード」は、今では街道各地の多くのイベントで冠されるようになっており、従来の「長崎街道」という名称を越える広がりを持ちつつある。商品や観光地のブランド構築やイメージ戦略におけるネーミングの重要性については、もはや語るまでもないであろう。

第3の強みは、この新しい名前によってイメージ構築を成し遂げたことにある。「長崎街道」は由緒ある名称であるが、そのイメージは、あくまで歴史的・伝統的なものであり、そこから連想される菓子はやはり和菓子・伝統名菓に限定される。しかし、「シュガーロード」であれば、和菓子・伝統名菓だけでなく、洋菓子やゼリーなど様々な菓子・スイーツを取り込むことが可能になる。これは、近年の和洋を問わないスイーツブームにもマッチしている。例えば、地元で新しい名物を作ろうと独自のまちおこし活動を行っていた小倉ロールケーキ研究会が、後にシュガーロード連絡協議会に参加するようになったように、沿線地域の多様な活動を取り込める柔軟性を生み出している。

また、長崎市では、以前から「長崎街道」をキーワードとして街道沿線の市町村との観光などでの連携事業等を提案してきた。しかしながら、自治体間連携という面では、その成果はあまり大きくないという。それは、地方自治体の問題ともいえるが、「長崎」の名前が入る事業には他県の自治体は積極的に関わり難かったためである。しかし、「シュガーロード」であれば、他県の自治体の協力も格段に得やすくなり、冒頭で述べたシュガーロード連絡協議会の設立をはじめ連携体制の構築もスムーズになったという。これも単なる名称の変更にとどまらない新しいネーミングの持つ効果の1つであると考えられる。

### 後継者難により減少する和菓子製造業者

一方で、菓子製造業、特に和菓子などの伝統名菓を作る事業者では、他の地場中小企業と同じく、後継者難によって事業所数の減少が続いている。もともとナショナルブランドなど一部の大手企業を除き、菓子製造業者の多くは中小零細事業者であり、2005年の工業統計によれば、全国では当該産業の全事業所のうち67.3%が従業者数10人以下の事業所となっており、さらにその半分に当たる全体の35.6%を従業者3人以下の零細事業者が占めている。

シュガーロード沿線地域においても、後継者難による事業者の減少は深刻であり、従業者数4人以上の事業所に限ってみても福岡、佐賀、長崎の3県における菓子製造業の事業所数は、1990～2007年で約3割減少している。

和菓子を中心とする伝統名菓の多くは、地元固定客を対象とした地域密着型の経営スタイルを取っており、その土地の生活文化に深く根付き一般家庭における需要は底堅い。しかしながら近年では消費者の嗜好性の多様化が進んだことや、土産・贈答需要といった部分で和生菓子市場はやや停滞している感は否めない。

福岡、佐賀、長崎3県の和生菓子の出荷額(従業者数4人以上)をみると、2007年と1990年では出荷額はほとんど伸びておらず、菓子出荷額全体に占める割合では90年の27.8%から、2007年には23.4%に低下している。これは、一連のパティシエ・ブームやスイーツ・ブームなどを受けて新規参入が増加している洋生菓子が出荷額で43.3%増となり、菓子出荷額全体に占めるシェアも31.5%から38.5%に拡大したのに比べると対照的である。

## 3. 菓子・観光クラスターの形成に向けて

### 菓子製造業における地域性の再構築

観光やまちづくりとの結びつきを強く指向するシュガーロード沿線地域の活動は、結果として、菓子の地域性や歴史的結びつきを再確認し、再発見することに繋がっている。

各地の菓子を観光資源やまちづくり資源として見直すことは、単なる菓子産業の振興にとど

まらず、地元食材の積極的活用など地域資源の再発見、いわゆる「地産地消」にも繋がる可能性を持っている。これは、近年の消費者の食の安全・安心に対する関心の高まりや本物志向、ご当地グルメブームなどに代表される近年の消費トレンドにも沿うものであり、今後のさらなる展開・発展可能性が見込められると思われる。

多くの歴史ある地場産業がそうであったように、当初は「砂糖」という地域資源を活用しつつ発展してきたシュガーロードの菓子産業も、時代とともに原材料の入手先が多様化し、地域資源の活用という意味での地域との紐帯を失ってしまった。まちづくりや観光に活かすために地元の菓子産業の歴史を再認識することは、歴史という地域資源を通じて菓子産業が再び地域との結びつきを取り戻し、産業の地域性を再構築することに繋がっている。

### さらなるPRが課題

今後、シュガーロードが真の菓子・観光クラスターへと発展していくためには、観光振興の常道ではあるが、全国的な知名度の向上が課題になると思われる。新聞や雑誌などのメディアで目にする機会が以前より増えたとはいえ、「シュガーロード」の名前は地元住民においても十分に浸透しているとは言い難い。また、菓子製造業者自体にも十分に名前が浸透しているとはいえない状況にある。

シュガーロード連絡協議会ができたことで今後は対応窓口が一本化され、PR活動などもやりやすくなる。そのため、徐々にではあるが、名前の浸透が図られていくものと思われる。また、シュガーロードの名前が広く浸透すれば菓子製造業者の側でもこれに関連した取り組みが増えるものと期待される。

菓子製造業と観光・まちづくりが真に連携・融合し、地域の自立的発展に資するような地域産業となるよう、シュガーロードの今後の発展に期待したい。

## BSI調査による景況感の変化

福岡県、熊本県、長崎県の企業を対象に行いました「企業動向調査アンケート(2010年7月実施)」を基に、3県企業の景況感の他、企業における経営課題やその対応策、業界における新しい動きなどについてレポートします。

なお、詳細資料についてはHP( <http://www.fukuoka-fg.com/tyosa/index.htm> )にてご覧いただけます。

### 1. 3県企業の景況感

#### 4～6月期は、福岡県、熊本県で「改善」

内閣府が公表した2010年4～6月期のGDP(2次速報値)では、物価変動を除いた実質成長率で前期比0.4%増(年率換算1.5%増)となりました。2009年10～12月期(年率換算3.4%増)から3期連続でプラス成長は維持されていますが、伸び率は鈍化しています。

前回調査(10年4月)時の実績値である、1～3月期の3県(福岡県、熊本県、長崎県)の企業景況感の動きは、3県ともに改善の動きがみられたことに対し、10年7月に実施した調査では、福岡、熊本両県で「改善」、長崎県で「横ばい」となりました。

本調査では、3県(福岡、熊本、長崎)の企業約1,100社を対象に実施した、景況感アンケートの結果についてレポートします。

#### ■ 実績

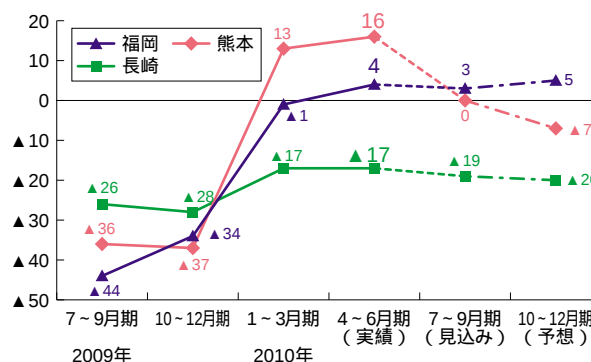
まず、3県全体(福岡、熊本、長崎)の業況BSI「2010年4～6月期実績」をみると(図1)、福岡県で+4(前期比+5)、熊本県で+16(同+3)、長崎県で▲17(同±0)と、福岡県、熊本県でそれぞれ改善し、長崎県は横ばいとなりました。

表1 回答企業の業種別構成

| 業 種       | 企業数 | 構成比(%) | 業 種     | 企業数 | 構成比(%) |
|-----------|-----|--------|---------|-----|--------|
| 食料品       | 28  | 5.7    | 漁業      | 5   | 1.0    |
| 繊維製品      | 6   | 1.2    | 建設業     | 68  | 13.8   |
| 化学・石油製品   | 14  | 2.8    | 卸売業     | 53  | 10.8   |
| 生コン・窯業・土石 | 33  | 6.7    | 小売業     | 57  | 11.6   |
| 鉄鋼・非鉄     | 16  | 3.2    | 不動産業    | 17  | 3.4    |
| 金属製品      | 28  | 5.7    | 運輸・倉庫業  | 32  | 6.5    |
| 一般機械      | 25  | 5.1    | ホテル・旅館業 | 19  | 3.9    |
| 電子部品・電気機械 | 21  | 4.3    | サービス業   | 41  | 8.3    |
| 輸送用機械     | 22  | 4.5    | その他     | 0   | 0.0    |
| その他製造業    | 8   | 1.6    | 合 計     | 493 | 100.0  |

繊維製品、漁業、窯業については長崎県のみ。  
鉄鋼・非鉄については福岡県・長崎県のみ。

図1 業況BSIの推移(全産業)



福岡県では製造業のうち海外向け需要の伸びから生産が好調だった鉄鋼・非鉄や電子部品・電気機械で、非製造業ではホテル・旅館や不動産、サービス等で業況判断が好転しています。熊本県については、製造業のうち半導体製造装置等の生産が伸びた一般機械や金属製品で改善の動きが見られました。また、長崎県については横ばいながらも、ゴールデンウィーク中観光客で賑わったホテル・旅館のほか、漁業や運輸・倉庫等非製造業を中心に回復の動きが見られました。

#### ■ 見込み・予想

続く7～9月期(見込み)では、福岡県は+3(前期比▲1)、続く10～12月期(予想)は+5(同+2)とほぼ横ばいで推移しています。熊本県は7～9月期(見込み)は±0(同▲16)、10～12月期(予想)も▲7(同▲7)と、大幅な落ち込みが見られました。これは、1～3月期に大幅な改善が見られた電子部品・電気機械、輸送用機械等において生産調整の可能性のあること等が要因として考えられます。また、長崎県は7～9月期(見込み)で▲19(同▲2)、10～12月期(予想)では▲20(同▲1)と、ほぼ横ばいながらも先行きはやや低下傾向を見込んでいます。

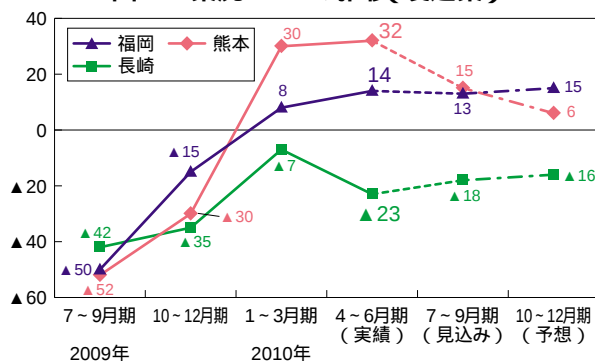
今後の見通しは、プラス圏内で横ばいを維持する福岡県、下振れ傾向の熊本県、横ばい圏ながらやや先行き低下を見込む長崎県と、それぞれ異なる予想となっています。

業種別でみると、福岡県については、製造業で化学・石油製品、生コン、鉄鋼・非鉄等多くの業種で一進一退の動きを示しており、業況の改善にばらつきが見られますが、非製造業では建設、小売、ホテル・旅館で業況の改善を予想しています。熊本県は、1～3月期にBSIがプラスに転じた製造業において、生コンや化学・石油製品、一般機械、輸送用機械で今後の国内需要低下の見込み等から先行き悪化の業況判断です。また、非製造業でも建設、卸売、小売、不動産、サービスでBSIがマイナス圏で推移するなど、業況の下振れが予想されています。長崎県については、7～9月期(見込み)と10～12月期(予想)において、多くの業種でBSIが上下しており、前回調査に引き続き企業の業況見通しが不安定であることが窺えます。

3県の業況BSIについては、福岡県および長崎県はそれぞれ横ばいで推移する見込みとなっています。一方、熊本県は小売や不動産等、前回調査で回復の幅が大きかった業種だけでなく、その他の業種でも業況の悪化が見込まれており、先行きは大幅に下振れする見込みです。

## ■ 製造業

図2 業況BSIの推移(製造業)



次に、製造業と非製造業に分けてみると、4～6月期の製造業は、福岡県で+14(前期比+6)、熊本県で+32(同+2)と改善していますが、長崎県は金属製品、窯業、土石の悪化から

▲23(同▲16)とBSIは大幅に低下しています(図2)。

7～9月期(見込み)及び10～12月期(予想)について見ると、福岡県は7～9月期(見込み)に+13(同▲1)となった後、10～12月期(予想)では+15(同+2)とやや改善していますが、熊本県は、7～9月期(見込み)は+15(同▲17)、10～12月期(予想)では+6(同▲9)と、今後の業況の下振れを予想する見方が多かったことから、プラス水準は維持しながらも先行きの業況判断は悪化しています。一方、長崎県は7～9月期(見込み)に▲18(同+5)、10～12月期(予想)には▲16(同+2)とやや改善の動きとなる見込みです(図2)。

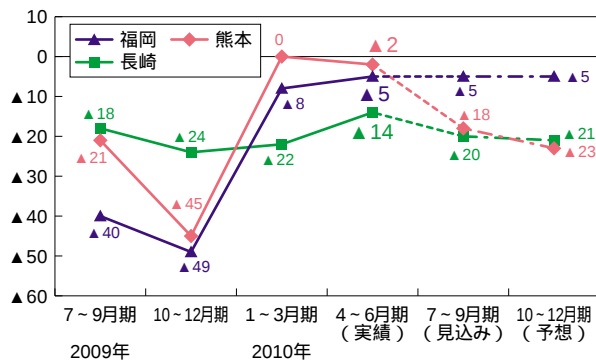
業種別での動きをみると、福岡県は7～9月期(見込み)と10～12月期(予想)では、改善の動きにばらつきが見られます。熊本県では、4～6月期は輸送用機械、化学・石油製品、一般機械でプラスを維持したほか、金属製品でも大幅に改善し、BSIはプラスに転じました。しかし7～9月期(見込み)以降、生コンで7～9月期(見込み)、10～12月期(予想)ともに▲100と大幅に悪化したほか、受注低下の見込み等から化学・石油製品、一般機械、輸送用機械でもマイナス幅が拡大しています。長崎県も4～6月期では大半の業種が悪化しましたが、7～9月期(見込み)では鉄鋼・非鉄や輸送用機械等一部大幅な悪化を予想する業種を除き、需給の回復等により、大半の業種で業況は改善する見込みです。また10～12月期(予想)でも引き続き受注等の回復が見込まれており、改善が予想されています。

## ■ 非製造業

非製造業については、福岡県が横ばいで推移している一方で、熊本、長崎両県は悪化しています(図3)。4～6月期は、福岡県で▲5(前期比+3)、長崎県で▲14(同+8)と改善が見られましたが、熊本県で▲2(同▲2)と悪化しています。

要因としては、ゴールデン・ウィーク期間中天候に恵まれたことや高速道路のETC利用時

図3 業況BSIの推移(非製造業)



の休日特別割引制度(上限1,000円)の実施等もあって、福岡県ではホテル・旅館等が好調に推移したほか、長崎県についても観光客の増加により、ホテル・旅館や卸売、小売等で改善が見られました。熊本県については、年度明け等の季節的要因もあり、建設や卸売、小売等が落ち込みました。

7～9月期(見込み)については、福岡県は▲5(同±0)と横ばいとなりましたが、熊本県では前期好調だった小売のほか、ホテル・旅館等での悪化見込みにより▲18(同▲16)に低下、同様に長崎県でも漁業やホテル・旅館等の先行き懸念等から▲20(同▲6)とBSIは前期比マイナスとなっています。

10～12月期(予想)については、福岡県が▲5(同±0)、長崎県は▲21(同▲1)と横ばいで推移していますが、熊本県は、建設や小売で7～9月期(見込み)に引き続いて、受注減少の見込み等から▲23(同▲5)へ低下しています。

業種別で見ると、建設については、国等からの大型公共工事が相次いだ福岡県では回復傾向が見られるのに対し、熊本県、長崎県は公共工事削減の動きの中で回復材料に乏しく、今後も厳しい状況が見込まれています。運輸・倉庫は、景気の先行き懸念に伴う荷動きの鈍化が見込まれる中、熊本県では横ばい、福岡県、長崎県では悪化を見込んでいます。また、ホテル・旅館では、坂本龍馬関連のイベント効果により観光業が活況となった長崎県で、今後は観光需要も落ち着く見込みであること等から先行き悪化、福岡県は改善の見通し、熊本県では年末に向けて今後一進一退を見込むというように、三県そ

れぞれ異なる状況となっています。

## ■ 総括

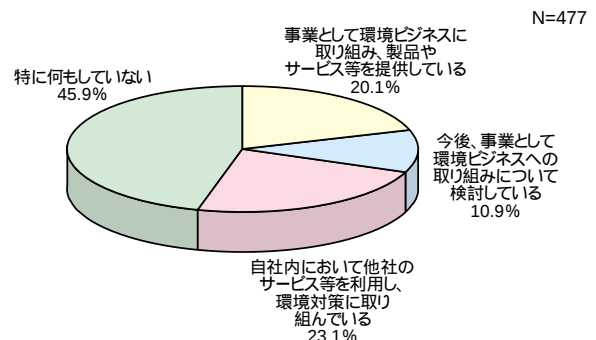
全産業(製造業+非製造業)ベースの県別での景況感の動きをまとめると、09年以降3県とも徐々に回復傾向にあった景況感は、1～3月期に急回復しました。4～6月期以降は、福岡県ではプラス水準、長崎県ではマイナス水準と水準は異なるもののそれぞれ横ばいを見込んでおり、業況に大きな変化がない見通しとなっています。一方、熊本県は4～6月期こそ福岡県、長崎県と同様に横ばいで推移したものの、7～9月期以降BSIは低下しており、先行きの厳しさが窺えます。

## 2. 環境ビジネスや環境への取り組み

### ● 環境ビジネス等への取り組み内容

取り組んでいる企業の多くは他社のサービス等を利用

図4 環境ビジネスや環境への取り組み



環境ビジネスや環境への取り組みについて尋ねたアンケート結果の中で、「特に何もしていない(45.9%)」以外で最も回答率が高かったのは、「自社内において他社のサービス等を利用し、環境対策に取り組んでいる(23.1%)」で、業種では小売や建設で多くなっています(図4)。また、「事業として環境ビジネスに取り組み、製品やサービス等を提供している(20.1%)」が建設や卸売、小売、生コン・窯業・土石で多く、「今後、事業として環境ビジネスへの取り組みについて検討している(10.9%)」でも建設業が多くなっています。

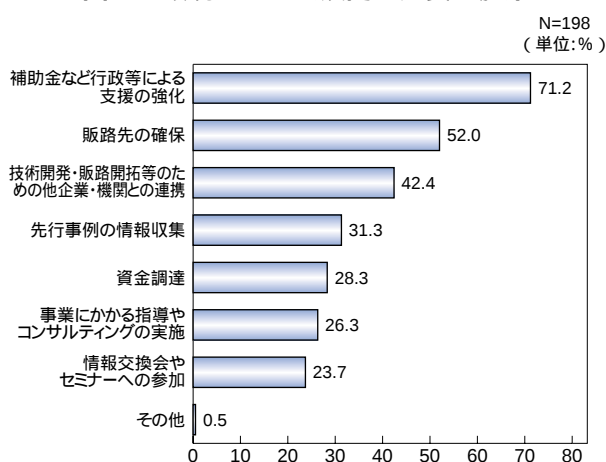
環境ビジネスや環境への取り組みについては、

特に何もしていない企業がおよそ半数を占めていますが、何かしらの取り組みをしている企業においては、環境関連の製品やサービスを利用している企業の割合が多くなっています。また、今後事業として環境ビジネスへの参入を検討している企業もあり、事業としての環境分野への取り組みもこれから拡大すると思われます。

### ●環境ビジネス展開のために必要な施策(複数回答)

#### 求められる行政等による支援の強化

図5 環境ビジネス展開に必要な施策



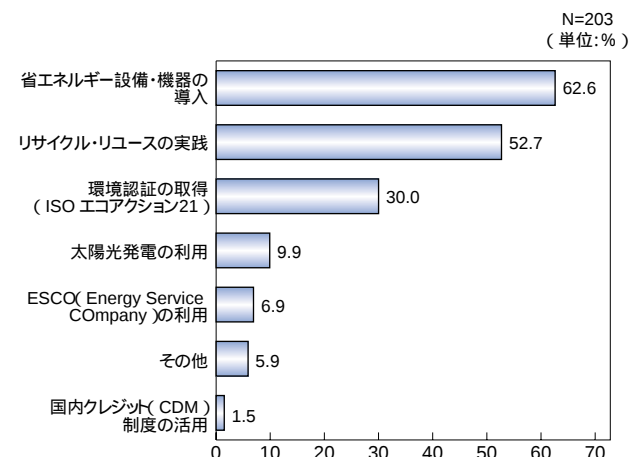
前問で「事業として環境ビジネスに取り組み、製品やサービス等を提供している」、もしくは「今後、事業として環境ビジネスへの取り組みについて検討している」と回答された企業に対し、今後環境ビジネスを展開するにあたり必要な施策について尋ねました。その際、最も回答率が高かったのは、「補助金など行政等による支援の強化(71.2%)」で、業種別でみると、製造業では繊維製品、鉄鋼・非鉄、輸送用機械、電子部品・電気機械、非製造業では、漁業やホテル・旅館、小売や運輸・倉庫等で多くなっています。以下「販路先の確保(52.0%)」、「技術開発・販路開拓等のための他企業・機関との連携(42.4%)」の順となっています(図5)。

このように環境ビジネスを展開するためには、補助金などの公的なサポートのほか、他企業等との連携や協力が求められています。

### ●環境対策として自社内で取り組んでいるもの(複数回答)

#### 省エネルギー設備・機器の導入等取り組みやすい手法を活用

図6 環境対策として自社内で取り組んでいるもの



「自社内において他社のサービス等を利用し、環境対策に取り組んでいる」と回答した企業に対し、その内容について尋ねたアンケートによると、上位項目は「省エネルギー設備・機器の導入(62.6%)」、「リサイクル・リユースの実践(52.7%)」、「環境認証の取得(ISO、エコアクション21)(30.0%)」となっています。

このように自社での取り組みについては、環境対策として比較的取り組みやすい手法を活用していることが窺えます。

また「太陽光発電の利用(9.9%)」は全体の1割程度となっていますが、調査月報2010年9月号でも紹介したとおり、太陽光発電に関しては、政府による支援策が拡充される方針が示されていることから、今後取り組み企業も増えていくものと思われます。

(池田 晋介)

## 3. 各種BSIの動向(3県)

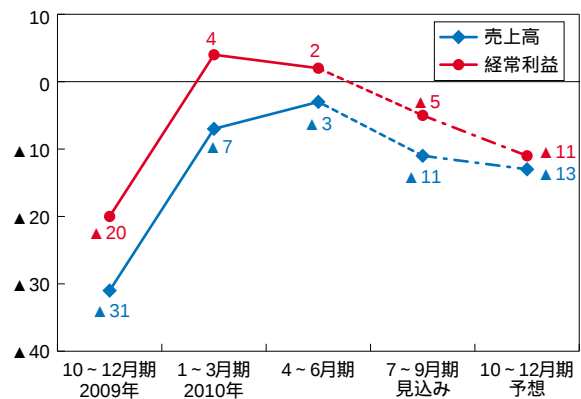
### ●売上高と経常利益

全産業：売上高、経常利益ともに、7～9月期(見込み) 10～12月期(予想)に減少を予想しています。

製造業：4～6月期以降、悪化を見込んでいるのは、売上高は化学・石油製品、一般機械輸送用機械、経常利益では金属製品、電子部品・電気機械、輸送用機械となっています。

非製造業：4～6月期以降、悪化を見込んでいるのは、売上高では建設、小売、運輸・倉庫、経常利益は、小売、運輸・倉庫、サービスとなっています。

図7 売上高と経常利益



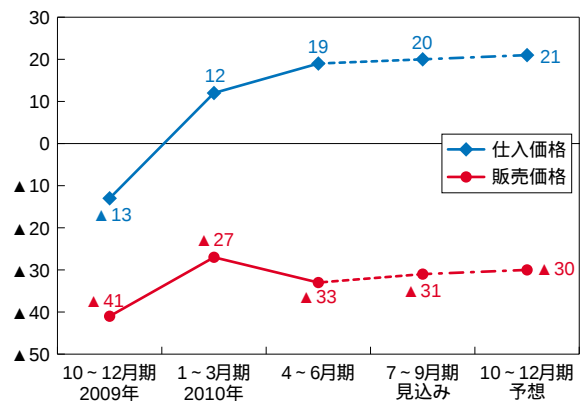
### ●仕入価格と販売価格

全産業：仕入価格は前年を上回る水準で、販売価格は前年を下回る水準ながら、それぞれ横ばいで推移することを予想しています。

製造業：仕入価格は、食料品、繊維製品、一般機械が先行き上昇を予想、販売価格は食料品、繊維製品、鉄鋼・非鉄で上昇を見込んでいます。

非製造業：仕入価格はほとんどの業種で先行き上昇、販売価格は小売が先行き低下を予想しています。

図8 仕入価格、販売価格



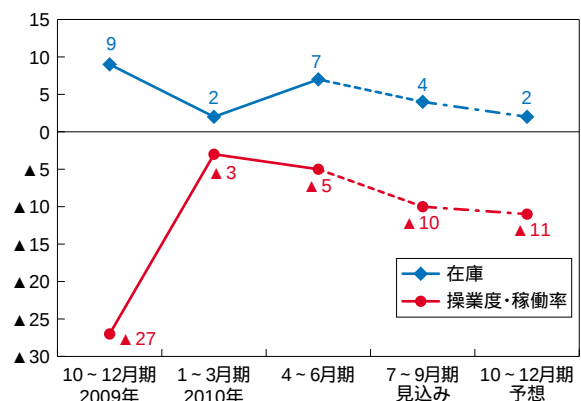
### ●在庫と操業度・稼働率

全産業：在庫は4～6月期に一旦増加したものの適正水準近くまで減少しており、操業度・稼働率は1～3月期に改善した一方で4～6月期以降は再び低下が予想されています。

製造業：在庫は約9割が適正で推移すると回答しています。操業度・稼働率は化学・石油製品、電子部品・電気機械、輸送用機械で低下を見込んでいます。

非製造業：4～6月期以降、低下が見込まれているのは、操業度・稼働率では小売、不動産、運輸・倉庫となっています。

図9 在庫、操業度・稼働率



### 【調査の概要】

- 調査対象
  - 福岡県、熊本県、長崎県の3県に所在する企業。
  - 3県の業種別構成比を基に無作為抽出。  
福岡県423社(回答企業153社 回収率36.2%)  
熊本県234社(回答企業89社 回収率38.0%)  
長崎県461社(回答企業251社 回収率54.4%)
- 調査時点：2010年7月下旬～8月上旬

### 3. 調査方法

- 調査対象期間  
2010年4～6月期：実績、10年7～9月期：見込み、10年10～12月期：予想
- 分析方法  
各期について、前年同期と比較して業況が「良い」と答えた企業割合から「悪い」と答えた企業割合を差し引いた指数(BSI)を基に経済動向を予測

## 業況BSIの詳細

(単位：％、ポイント)

| 福岡県       | 2010年1～3期(実績) |      |       |        | 2010年4～6期(実績) |      |      |       | 差異    | 2010年7～9期(見込み) |      |      |       | 2010年10～12期(予想) |      |      |       |
|-----------|---------------|------|-------|--------|---------------|------|------|-------|-------|----------------|------|------|-------|-----------------|------|------|-------|
|           | 改善            | 不変   | 悪化    | BSI    | 改善            | 不変   | 悪化   | BSI   |       | 改善             | 不変   | 悪化   | BSI   | 改善              | 不変   | 悪化   | BSI   |
| 全産業       | 34.2          | 31.1 | 34.8  | ▲0.6   | 37.3          | 29.3 | 33.3 | 4.0   | 4.6   | 32.0           | 39.3 | 28.7 | 3.3   | 32.0            | 40.7 | 27.3 | 4.7   |
| 製造業       | 41.0          | 25.6 | 33.3  | 7.7    | 42.3          | 29.6 | 28.2 | 14.1  | 6.4   | 39.4           | 33.8 | 26.8 | 12.7  | 38.0            | 39.4 | 22.5 | 15.5  |
| 食料品       | 25.0          | 41.7 | 33.3  | ▲8.3   | 37.5          | 50.0 | 12.5 | 25.0  | 33.3  | 50.0           | 25.0 | 25.0 | 25.0  | 50.0            | 25.0 | 25.0 | 25.0  |
| 化学・石油製品   | 63.6          | 18.2 | 18.2  | 45.5   | 50.0          | 12.5 | 37.5 | 12.5  | ▲33.0 | 75.0           | 12.5 | 12.5 | 62.5  | 37.5            | 50.0 | 12.5 | 25.0  |
| 生コン       | 20.0          | 30.0 | 50.0  | ▲30.0  | 0.0           | 28.6 | 71.4 | ▲71.4 | ▲41.4 | 14.3           | 42.9 | 42.9 | ▲28.6 | 0.0             | 57.1 | 42.9 | ▲42.9 |
| 鉄鋼・非鉄     | 42.9          | 14.3 | 42.9  | 0.0    | 80.0          | 10.0 | 10.0 | 70.0  | 70.0  | 50.0           | 20.0 | 30.0 | 20.0  | 70.0            | 30.0 | 0.0  | 70.0  |
| 金属製品      | 50.0          | 20.0 | 30.0  | 20.0   | 50.0          | 20.0 | 30.0 | 20.0  | 0.0   | 30.0           | 30.0 | 40.0 | ▲10.0 | 30.0            | 30.0 | 40.0 | ▲10.0 |
| 一般機械      | 25.0          | 25.0 | 50.0  | ▲25.0  | 10.0          | 40.0 | 50.0 | ▲40.0 | ▲15.0 | 10.0           | 30.0 | 60.0 | ▲50.0 | 30.0            | 40.0 | 30.0 | 0.0   |
| 電子部品・電気機械 | 33.3          | 33.3 | 33.3  | 0.0    | 45.5          | 45.5 | 9.1  | 36.4  | 36.4  | 45.5           | 54.5 | 0.0  | 45.5  | 36.4            | 45.5 | 18.2 | 18.2  |
| 輸送用機械     | 85.7          | 14.3 | 0.0   | 85.7   | 57.1          | 28.6 | 14.3 | 42.9  | ▲42.9 | 42.9           | 57.1 | 0.0  | 42.9  | 42.9            | 42.9 | 14.3 | 28.6  |
| 非製造業      | 27.7          | 36.1 | 36.1  | ▲8.4   | 32.9          | 29.1 | 38.0 | ▲5.1  | 3.4   | 25.3           | 44.3 | 30.4 | ▲5.1  | 26.6            | 41.8 | 31.6 | ▲5.1  |
| 建設業       | 14.8          | 33.3 | 51.9  | ▲37.0  | 14.3          | 38.1 | 47.6 | ▲33.3 | 3.7   | 19.0           | 42.9 | 38.1 | ▲19.0 | 23.8            | 38.1 | 38.1 | ▲14.3 |
| 卸売業       | 45.0          | 40.0 | 15.0  | 30.0   | 35.7          | 57.1 | 7.1  | 28.6  | ▲1.4  | 35.7           | 50.0 | 14.3 | 21.4  | 50.0            | 35.7 | 14.3 | 35.7  |
| 小売業       | 38.5          | 38.5 | 23.1  | 15.4   | 43.8          | 6.3  | 50.0 | ▲6.3  | ▲21.6 | 31.3           | 43.8 | 25.0 | 6.3   | 37.5            | 37.5 | 25.0 | 12.5  |
| 不動産業      | 12.5          | 25.0 | 62.5  | ▲50.0  | 25.0          | 25.0 | 50.0 | ▲25.0 | 25.0  | 12.5           | 50.0 | 37.5 | ▲25.0 | 12.5            | 50.0 | 37.5 | ▲25.0 |
| 運輸・倉庫業    | 50.0          | 33.3 | 16.7  | 33.3   | 57.1          | 28.6 | 14.3 | 42.9  | 9.5   | 42.9           | 42.9 | 14.3 | 28.6  | 14.3            | 57.1 | 28.6 | ▲14.3 |
| ホテル・旅館業   | 0.0           | 0.0  | 100.0 | ▲100.0 | 25.0          | 0.0  | 75.0 | ▲50.0 | 50.0  | 25.0           | 25.0 | 50.0 | ▲25.0 | 25.0            | 25.0 | 50.0 | ▲25.0 |
| サービス業     | 12.5          | 50.0 | 37.5  | ▲25.0  | 44.4          | 22.2 | 33.3 | 11.1  | 36.1  | 11.1           | 44.4 | 44.4 | ▲33.3 | 0.0             | 55.6 | 44.4 | ▲44.4 |

(単位：％、ポイント)

| 熊本県       | 2010年1～3期(実績) |      |      |       | 2010年4～6期(実績) |      |      |       | 差異    | 2010年7～9期(見込み) |      |       |        | 2010年10～12期(予想) |      |       |        |
|-----------|---------------|------|------|-------|---------------|------|------|-------|-------|----------------|------|-------|--------|-----------------|------|-------|--------|
|           | 改善            | 不変   | 悪化   | BSI   | 改善            | 不変   | 悪化   | BSI   |       | 改善             | 不変   | 悪化    | BSI    | 改善              | 不変   | 悪化    | BSI    |
| 全産業       | 39.5          | 34.2 | 26.3 | 13.2  | 42.7          | 30.3 | 27.0 | 15.7  | 2.6   | 28.7           | 42.5 | 28.7  | 0.0    | 20.9            | 51.2 | 27.9  | ▲7.0   |
| 製造業       | 48.5          | 33.3 | 18.2 | 30.3  | 53.2          | 25.5 | 21.3 | 31.9  | 1.6   | 40.4           | 34.0 | 25.5  | 14.9   | 29.8            | 46.8 | 23.4  | 6.4    |
| 食料品       | 33.3          | 44.4 | 22.2 | 11.1  | 9.1           | 54.5 | 36.4 | ▲27.3 | ▲38.4 | 9.1            | 54.5 | 36.4  | ▲27.3  | 27.3            | 54.5 | 18.2  | 9.1    |
| 化学・石油製品   | 66.7          | 33.3 | 0.0  | 66.7  | 83.3          | 0.0  | 16.7 | 66.7  | 0.0   | 66.7           | 0.0  | 33.3  | 33.3   | 33.3            | 33.3 | 33.3  | 0.0    |
| 生コン       | 33.3          | 0.0  | 66.7 | ▲33.3 | 0.0           | 33.3 | 66.7 | ▲66.7 | ▲33.3 | 0.0            | 0.0  | 100.0 | ▲100.0 | 0.0             | 0.0  | 100.0 | ▲100.0 |
| 金属製品      | 20.0          | 40.0 | 40.0 | ▲20.0 | 66.7          | 22.2 | 11.1 | 55.6  | 75.6  | 44.4           | 44.4 | 11.1  | 33.3   | 33.3            | 55.6 | 11.1  | 22.2   |
| 一般機械      | 40.0          | 60.0 | 0.0  | 40.0  | 75.0          | 12.5 | 12.5 | 62.5  | 22.5  | 50.0           | 50.0 | 0.0   | 50.0   | 37.5            | 50.0 | 12.5  | 25.0   |
| 電子部品・電気機械 | 66.7          | 33.3 | 0.0  | 66.7  | 40.0          | 40.0 | 20.0 | 20.0  | ▲46.7 | 40.0           | 20.0 | 40.0  | 0.0    | 20.0            | 60.0 | 20.0  | 0.0    |
| 輸送用機械     | 100.0         | 0.0  | 0.0  | 100.0 | 100.0         | 0.0  | 0.0  | 100.0 | 0.0   | 80.0           | 20.0 | 0.0   | 80.0   | 40.0            | 40.0 | 20.0  | 20.0   |
| 非製造業      | 32.6          | 34.9 | 32.6 | 0.0   | 31.0          | 35.7 | 33.3 | ▲2.4  | ▲2.4  | 15.0           | 52.5 | 32.5  | ▲17.5  | 10.3            | 56.4 | 33.3  | ▲23.1  |
| 建設業       | 18.2          | 63.6 | 18.2 | 0.0   | 25.0          | 41.7 | 33.3 | ▲8.3  | ▲8.3  | 0.0            | 63.6 | 36.4  | ▲36.4  | 0.0             | 54.5 | 45.5  | ▲45.5  |
| 卸売業       | 25.0          | 12.5 | 62.5 | ▲37.5 | 12.5          | 25.0 | 62.5 | ▲50.0 | ▲12.5 | 28.6           | 28.6 | 42.9  | ▲14.3  | 14.3            | 57.1 | 28.6  | ▲14.3  |
| 小売業       | 100.0         | 0.0  | 0.0  | 100.0 | 57.1          | 42.9 | 0.0  | 57.1  | ▲42.9 | 14.3           | 71.4 | 14.3  | 0.0    | 14.3            | 42.9 | 42.9  | ▲28.6  |
| 不動産業      | 20.0          | 80.0 | 0.0  | 20.0  | 0.0           | 75.0 | 25.0 | ▲25.0 | ▲45.0 | 0.0            | 50.0 | 50.0  | ▲50.0  | 0.0             | 50.0 | 50.0  | ▲50.0  |
| 運輸・倉庫業    | 33.3          | 16.7 | 50.0 | ▲16.7 | 40.0          | 40.0 | 20.0 | 20.0  | 36.7  | 40.0           | 40.0 | 20.0  | 20.0   | 20.0            | 80.0 | 0.0   | 20.0   |
| ホテル・旅館業   | 25.0          | 25.0 | 50.0 | ▲25.0 | 66.7          | 0.0  | 33.3 | 33.3  | 58.3  | 33.3           | 33.3 | 33.3  | 0.0    | 50.0            | 50.0 | 0.0   | 50.0   |
| サービス業     | 40.0          | 20.0 | 40.0 | 0.0   | 33.3          | 0.0  | 66.7 | ▲33.3 | ▲33.3 | 0.0            | 66.7 | 33.3  | ▲33.3  | 0.0             | 66.7 | 33.3  | ▲33.3  |

(単位：％、ポイント)

| 長崎県       | 2010年1～3期(実績) |      |      |       | 2010年4～6期(実績) |      |      |       | 差異    | 2010年7～9期(見込み) |      |      |       | 2010年10～12期(予想) |      |      |       |
|-----------|---------------|------|------|-------|---------------|------|------|-------|-------|----------------|------|------|-------|-----------------|------|------|-------|
|           | 改善            | 不変   | 悪化   | BSI   | 改善            | 不変   | 悪化   | BSI   |       | 改善             | 不変   | 悪化   | BSI   | 改善              | 不変   | 悪化   | BSI   |
| 全産業       | 21.5          | 39.8 | 38.6 | ▲17.1 | 20.2          | 43.1 | 36.7 | ▲16.5 | 0.6   | 14.6           | 51.8 | 33.6 | ▲19.0 | 11.3            | 57.5 | 31.2 | ▲19.8 |
| 製造業       | 25.9          | 41.2 | 32.9 | ▲7.1  | 17.7          | 41.8 | 40.5 | ▲22.8 | ▲15.7 | 15.2           | 51.9 | 32.9 | ▲17.7 | 13.9            | 55.7 | 30.4 | ▲16.5 |
| 食料品       | 7.7           | 61.5 | 30.8 | ▲23.1 | 25.0          | 50.0 | 25.0 | 0.0   | 23.1  | 12.5           | 75.0 | 12.5 | 0.0   | 12.5            | 75.0 | 12.5 | 0.0   |
| 繊維製品      | 33.3          | 50.0 | 16.7 | 16.7  | 33.3          | 50.0 | 16.7 | 16.7  | 0.0   | 33.3           | 66.7 | 0.0  | 33.3  | 0.0             | 66.7 | 33.3 | ▲33.3 |
| 窯業        | 33.3          | 33.3 | 33.3 | 0.0   | 25.0          | 25.0 | 50.0 | ▲25.0 | ▲25.0 | 50.0           | 25.0 | 25.0 | 25.0  | 0.0             | 50.0 | 50.0 | ▲50.0 |
| 土石        | 29.4          | 35.3 | 35.3 | ▲5.9  | 5.3           | 36.8 | 57.9 | ▲52.6 | ▲46.7 | 0.0            | 47.4 | 52.6 | ▲52.6 | 10.5            | 52.6 | 36.8 | ▲26.3 |
| 鉄鋼・非鉄     | 16.7          | 0.0  | 83.3 | ▲66.7 | 16.7          | 16.7 | 66.7 | ▲50.0 | 16.7  | 0.0            | 33.3 | 66.7 | ▲66.7 | 16.7            | 33.3 | 50.0 | ▲33.3 |
| 金属製品      | 33.3          | 16.7 | 50.0 | ▲16.7 | 0.0           | 50.0 | 50.0 | ▲50.0 | ▲33.3 | 0.0            | 75.0 | 25.0 | ▲25.0 | 25.0            | 62.5 | 12.5 | 12.5  |
| 一般機械      | 28.6          | 28.6 | 42.9 | ▲14.3 | 33.3          | 16.7 | 50.0 | ▲16.7 | ▲2.4  | 50.0           | 0.0  | 50.0 | 0.0   | 16.7            | 33.3 | 50.0 | ▲33.3 |
| 電子部品・電気機械 | 60.0          | 20.0 | 20.0 | 40.0  | 50.0          | 0.0  | 50.0 | 0.0   | ▲40.0 | 100.0          | 0.0  | 0.0  | 100.0 | 50.0            | 50.0 | 0.0  | 50.0  |
| 輸送用機械     | 7.7           | 69.2 | 23.1 | ▲15.4 | 30.0          | 60.0 | 10.0 | 20.0  | 35.4  | 0.0            | 80.0 | 20.0 | ▲20.0 | 10.0            | 60.0 | 30.0 | ▲20.0 |
| その他製造業    | 44.4          | 44.4 | 11.1 | 33.3  | 0.0           | 75.0 | 25.0 | ▲25.0 | ▲58.3 | 0.0            | 62.5 | 37.5 | ▲37.5 | 12.5            | 62.5 | 25.0 | ▲12.5 |
| 非製造業      | 19.3          | 39.2 | 41.6 | ▲22.3 | 21.3          | 43.8 | 34.9 | ▲13.6 | 8.7   | 14.3           | 51.8 | 33.9 | ▲19.6 | 10.1            | 58.3 | 31.5 | ▲21.4 |
| 漁業        | 16.7          | 33.3 | 50.0 | ▲33.3 | 40.0          | 40.0 | 20.0 | 20.0  | 53.3  | 0.0            | 80.0 | 20.0 | ▲20.0 | 20.0            | 80.0 | 0.0  | 20.0  |
| 建設業       | 25.0          | 33.3 | 41.7 | ▲16.7 | 17.1          | 45.7 | 37.1 | ▲20.0 | ▲3.3  | 14.3           | 37.1 | 48.6 | ▲34.3 | 14.3            | 22.9 | 62.9 | ▲48.6 |
| 卸売業       | 13.3          | 40.0 | 46.7 | ▲33.3 | 23.3          | 33.3 | 43.3 | ▲20.0 | 13.3  | 19.4           | 45.2 | 35.5 | ▲16.1 | 12.9            | 64.5 | 22.6 | ▲9.7  |
| 小売業       | 23.1          | 30.8 | 46.2 | ▲23.1 | 21.2          | 45.5 | 33.3 | ▲12.1 | 11.0  | 18.8           | 56.3 | 25.0 | ▲6.3  | 9.4             | 65.6 | 25.0 | ▲15.6 |
| 不動産業      | 0.0           | 80.0 | 20.0 | ▲20.0 | 0.0           | 80.0 | 20.0 | ▲20.0 | 0.0   | 0.0            | 80.0 | 20.0 | ▲20.0 | 20.0            | 60.0 | 20.0 | 0.0   |
| 運輸・倉庫業    | 13.6          | 36.4 | 50.0 | ▲36.4 | 20.0          | 50.0 | 30.0 | ▲10.0 | 26.4  | 15.0           | 50.0 | 35.0 | ▲20.0 | 5.0             | 65.0 | 30.0 | ▲25.0 |
| ホテル・旅館業   | 7.7           | 38.5 | 53.8 | ▲46.2 | 33.3          | 25.0 | 41.7 | ▲8.3  | 37.8  | 9.1            | 45.5 | 45.5 | ▲36.4 | 9.1             | 45.5 | 45.5 | ▲36.4 |
| サービス業     | 28.6          | 50.0 | 21.4 | 7.1   | 20.7          | 48.3 | 31.0 | ▲10.3 | ▲17.5 | 10.3           | 65.5 | 24.1 | ▲13.8 | 3.4             | 82.8 | 13.8 | ▲10.3 |

## REPORT

## 香港のプロモーション活用(食品関連編)

### 1. はじめに

香港は、日本の農林水産物等の最大輸出先であり、昨年(2009年)の我が国の農林水産物等輸出額のうち香港向けが22%を占めています。

また今年についても年初からの5ヵ月間で、日本から香港へ輸出された食料品や飲料品は、昨年同時期と比べて40%以上も増加しており、香港の日本食品関連市場が着実に成長していることが窺えます。このような状況下、去る8月12日より5日間、アジア最大級の食品フェアと言われる「香港フードエキスポ2010(美食博覧)」が開催され、日本からも過去最多となる100社近い企業・団体が出展されました。

今回はこのフードエキスポの模様と、香港の地場スーパーで同時期に開催されていた日本食フェアの模様をご紹介します、香港における食品関連販売プロモーションの手法や在り方などについてレポート致します。

### 2. 香港フードエキスポについて

「香港フードエキスポ」は香港貿易発展局(以下、HKTD C)主催による、香港では毎年恒例のイベントで、今年で21回目を迎えました。当会場では商談等を目的とするバイヤーや業界関係者が入場可能なトレード・ホールと、商品購入が目的の一般来場者が入場可能なパブリック・ホールの2つのエリアに分けられています。

トレード・ホールには有力なバイヤーが来場することもあって、今年は22ヵ国・地域から約740社あまりの企業や団体が出展参加しました。(昨年実績：出展社数607社・団体)

日本からも、昨年の2倍以上の企業・団体が参加され、サンプル等を手に、バイヤーへ積極的に自社商品をアピールされていました。



バイヤーとの商談風景



パビリオンでのPR風景

トレード・ホール内には九州パビリオンが設けられ、福岡・大分・鹿児島・沖縄の10企業・団体が参加されていたほか、熊本・宮崎は例年参加の常連ということで、別途パビリオンが設置されていました。

日本からの出展社数が増加している要因をHKTD Cの東京事務所マーケティング部担当者に尋ねたところ、①HKTD Cが本展示会の日本での広報活動に注力したこと ②自治体やジェトロならびに地域金融機関等が、海外展開を検討する企業への支援体制を強化していること ③日本国内の需要が低迷する中、中国市場をはじめとする海外市場進出を睨み、アジア地区のゲートウェイである香港を活用する意識が

高まっていること 等の回答がありました。

2009年の中国本土から香港への旅行者数は年間約1,800万人にも達していることから、香港で日本の食材や料理に触れた旅行者によって、中国本土に早いスピードで広まるチャンスが期待出来るのも、香港を活用する大きな魅力のひとつになっていると思われます。本会場でも多数の中国人を目にしましたが、聞くところでは、中国本土からこの時期、香港へのツアー日程には、本エキスポ見学が組み込まれており、多くの中国人旅行者が、パブリックホールで販売されている各国の食料品をお土産というよりは、むしろスーパーで食材を買い込んでいるかのように購入する姿が見られました。

### 3. 香港地場スーパーでの日本食フェア

次に香港地場スーパーマーケットで開催されていた日本食フェアの様態をご紹介します。ご承知のとおり、香港では日本食関連食材の品揃えは非常に充実しており、当地で生活する日本人は不自由なく日本の食材を手に入れることが可能です。値段は日本で購入するよりも当然割高(日本の1.5倍程度)ですが、最近は特に円高の影響もあり、更に割高に感じられます。しかしながら日本食は香港人にも人気が高く、定期的にこのような日本食フェアが開催されてい



日本の酒類も販売

ます。前述のフードエキスポ等を活用する日本食のプロモーション手法もありますが、近年ではスーパーの催事等を活用した販売の機会も増加しています。この場合、直接スーパー側と交渉を行う場合と、スーパーとサプライヤーとの間に存在する卸売業者を通じて催事を行うケースがあり、商品在庫についても委託販売形式やバイヤー買取形式等様々な方法があるようです。通常、スーパーの店舗内で写真等の撮影を行うことは店側より禁止されていますが、今回は店側立会いのもとで撮影許可を頂き、日本の食材が販売されている模様を取材することが出来ました。

取材当日、ちょうど日本の製菓会社が自社商品の実演販売を行っていました。機材を日本か



地場スーパーでの日本食コーナー



日本食フェアにおける実演販売風景

ら持ち込み、煎餅を顧客の面前で焼いて試食をさせる手法です。

香港人は試食を好み、気に入った場合は、その商品が多少高くても購入するという傾向もあることから、香港で食品の販売を行う場合はこの試食販売がかなり有効なようです。

実演販売を行っていた日本企業の社長様にお話を伺うことが出来ました。その社長によると、「当社の商品は主に米粉を使用した煎餅やおかき類で、品質を落とすことなくこの市場で勝負したいのですが、100%日本国産米を使用すると、販売価格はどうしても高くなってしまい、中国産等の米粉を主原料とする同様の商品と比較すると、価格競争で負けてしまうのは当然です。価格面で対抗する為、主原料を安いものに替えても、海外で販売する意味がありません。とにかく品質に拘って、付加価値をつけることで、海外のお客様にも受け入れて頂く努力をしたいのです。但し、味については日本で受け入れられている味が海外でそのまま受け入れられるとは限りません。やはりその国や地域の人々が好む味を見出すことが重要な課題であり、今後も試行錯誤を重ねながらじっくり取り組んでいこうと考えています。」とのことでした。日本で売れるのだから、海外でも売れるはずだといった考え方では、なかなか海外で成功するのは難しいと、改めて感じさせられました。

## 4．スーパーの食品売り場で感じたこと

スーパーの食品売り場で最近よく目にするのが、商品パッケージに日本語で表記されたものが増えていることです。日本で製造されたものであれば当然ですが、その日本語表記された食品を手にとって見てみると、驚くことに中国製やタイ製の商品だったりします。ある食品メーカーの人に聞いたところ、日本語表記を加えた

方が売れ行きは良くなるとの回答でした。裏を返せば、それだけ日本の食品に対する信頼度・人気度が高いと言えるでしょう。

また香港の人が食品を購入する際の特徴として、パッケージの裏面をよく見えています。何を見ているかということと消費期限・添加物の表記です。近年では健康志向も高まっており、また今年7月からは食品栄養表示法も施行されたことで、原材料だけでなく栄養成分や食品添加物に対する関心も高まっています。

## 5．最後に

今回の取材を通じて感じたことは、日本企業の海外販路拡大への関心が非常に高いということです。とはいえ、ここ香港では食料品関連の販路拡大を行うことは決して容易ではありません。なぜならば、香港には世界各国から様々な食料品等が入ってくることから、ある意味飽和状態となっています。その為、経常的な取引に結びつけるには、付加価値を高めることや、香港人受けするような工夫が必要となります。香港のバイヤーからも、最近「日本の食材への人気は間違いなが、香港で商品売り込む為には、まずは催事等を活用したマーケティングを地道に行ってもらって、顧客の嗜好や反応を見るのが一番である。ただし、昨今の円高で、サプライヤーとバイヤーとの間で価格交渉が難航するケースも増えてきており、価格設定も大事な要素。」とよく耳にします。よって、労力は要しますが、今回ご紹介した国際的な展示商談会やフェアでの催事販売等を活用しながら自社商品をアピールすることが、成功への近道であると考えられます。

(香港駐在員事務所 末松 尚樹)

## 大連編

### 清本鐵工株式会社 ～大連清本鐵工有限公司～

大連清本鐵工有限公司は、宮崎県延岡市に本社、佐賀県武雄市に支社を構える清本鐵工株式会社の100%子会社として1997年4月に設立されました。主要製品は、アンカー(錨)、船尾部品等の船舶用部品、風力発電用部品等の鑄鋼製品です。月間生産能力950トン、敷地面積51,000㎡、建物面積16,531㎡の工場を備えており、従業員数は235名です。

大連進出のきっかけは、重工業が盛んで鋼材の品質が高い割に、日本より人件費は安いというメリットから、華北地区への進出を検討していたところ、外注先の現地企業から会社の売却話があり、M & Aによって進出しました。

但し進出当初は、従業員や機械設備が足りないうえ、電気や水道といったインフラの整備も不十分だった為、停電等のトラブルが頻発し生産上のネックとなっていました。地元政府との話し合いを重ねた結果、環境も改善されて増産が可能となり、工場も増築しています。

受注面でも、当初は親会社からの受注が殆どでしたが、製品の品質が高いことから中国企業からの受注も増え、09年度は受注総額の40%を中国企業が占めています。03年12月には、ISO9001の認証も取得し、当社が強みとする品質面での一層の差別化も図られています。

また、鑄鋼技術、日本語、仕事への取組姿勢等の習得を目的に、98年より毎年10名の研修生を日本へ派遣しており、従業員の約半数が日本での勤務経験を有しています。

現在、特に注力していることは、従業員の労務管理です。日本語が話せる従業員が多いとはいえ、習慣が異なる為、日本での管理手法が通用しないことがあります。例えば「同僚に仕事を教える」ことは、「自分の仕事が奪われる」と考える文化の為、指導することを「仕事」として指示する必要があります。また、日本人が一方的に中国人従業員を管理する体制では、従業



当社外観

員のモチベーションが低下する可能性も高いことから、中国人同士が管理する体制を採用しています。他にも、社員旅行やバドミントン大会、納涼会等のイベントを実施し、従業員の相互親睦を図っています。

当社の主要顧客である造船業界は、今後需要が減少する等の見方もあって、先行きに不透明感が漂っていることから、造船以外の分野を強化すべく、風力発電用部品にも進出しました。環境に対する意識の高まりもあって、風力発電用部品の成長は著しく、業績も順調に推移しています。

今後は、鑄鋼品の中でも高い品質が要求される特殊鋼分野での地位を確立することで、「日本と中国の友好と発展に貢献する」という当社の目標を実現するとともに、更なる成長が期待されます。

(大連駐在員事務所 宮城 正志)

## PROFILE

■現地法人名 / **大連清本鐵工有限公司**

■住所 / 大連市金州区二十里堡街道

■TEL / +86-411-8738-1305

■FAX / +86-411-8738-1306

■親会社名 / **清本鐵工株式会社**

■住所 / 宮崎県延岡市土々呂町 6-1633

■TEL / 0982-24-1111

■FAX / 0982-24-1155

事業資金の調達をお考えの皆さまへ

地元企業の明るい未来のために  
私たちがサポートします。

# FFG次世代 創造プログラムの ご案内



ふくおかフィナンシャルグループは、日本銀行の資金供給の枠組みを活用し、地域経済の成長基盤強化に向け、地元企業への融資に積極的に取り組めます。

ご融資  
金額

**1億円以上**（福岡銀行）  
**3千万円以上**（熊本ファミリー銀行  
親和銀行）

なお、各県信用保証協会保証を活用した1千万円以上のプログラムを三行ともに別途ご用意しております。

ご融資  
期間

**1年以上**  
**10年以内（原則）**

ご利用いただける方

事業者（法人および個人事業主）の方で、以下の成長分野において成長基盤強化に資する事業を行う方

資金使途

日本銀行が定める成長基盤強化に資するもの

成長分野※

研究開発・起業・社会インフラ整備・高度化・環境・エネルギー事業、医療・介護・健康関連産業、高齢者向け事業、観光事業、地域再生・都市再生事業、農林水産業・農商工連携事業、保育・育児事業、その他成長基盤強化に資する事業

ご融資金利

審査結果に応じた各銀行の所定金利

ご返済方法

原則元金均等返済

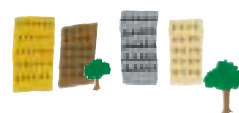
※対象となる成長分野の詳細は右記をご参照ください。

あなたのいちばんに。



ふくおかフィナンシャルグループ

## FFG次世代創造プログラムの概要



| 成長分野          | 資金使途（事例）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 研究開発          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●環境・エネルギー分野、自動車、ロボット、半導体、バイオテクノロジー、新素材、新食品・食材、農業法人等の研究開発に関する事業</li> <li>●産・学・官連携による上記事業のリサーチ、開発に関する事業</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 起業            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●環境・エネルギー分野、自動車、ロボット、半導体等の科学・技術力を核とするベンチャー創設および農業法人、地域再生・社会的企業化（ソーシャルビジネス）の起業、黎明期の事業</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 社会インフラ整備・高度化  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●道路・鉄道・空港・港湾・物流施設、通信網の拡大に資する事業</li> <li>●インフラシステム（原子力・上下水道・鉄道他）の輸出に関する事業</li> <li>●ゼロエネルギー・ビルディング等環境に配慮した建物の供給促進に関する事業</li> <li>●長期優良住宅（いわゆる100年住宅）に関する事業</li> </ul>                                                                                                                                                                                                             |
| 環境・エネルギー事業    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●蓄電池や次世代自動車、火力発電所の効率化に関する事業</li> <li>●情報通信システムの低消費電力化に関する事業</li> <li>●省エネ機器の製造事業</li> <li>●太陽光・風力・水力・バイオマス（生物由来の有機性資源）・地熱等の普及に資する事業</li> <li>●排出権関連ビジネス等、低炭素化に資する事業</li> <li>●LED（発光ダイオード）、有機EL（有機発光ダイオード）などの次世代照明に関する事業</li> <li>●リサイクルの推進による国内資源の循環に関する事業</li> <li>●グリーンイノベーション（環境エネルギー分野革新）に関する事業</li> <li>●スマートグリッド（人工知能を搭載した計測機器等を設置して電力供給を自動的に調整可能とする電力網）に関する事業</li> </ul> |
| 医療・介護・健康関連産業  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●病院、診療所、介護施設の増改築（アメニティ向上・耐震など）・新設に関する事業</li> <li>●医療機器、介護機器の新設・導入に関する事業</li> <li>●検診事業（定期健康診断・人間ドック）の新設、設備の導入に関する事業</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 高齢者向け事業       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●有料老人ホームの増改築・新設に関する事業</li> <li>●バリアフリー住宅の供給促進に関する事業</li> <li>●高齢者向けサービス（配食、生存確認・見守サービス&gt;など）に関する事業</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 観光事業          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ホテル・旅館・テーマパークの改修、新設・観光名所の整備などに関する事業</li> <li>●観光事業・観光資源に関する事業</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 地域再生・都市再生事業   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●特区制度、PFI（民間資金を活用した公共施設・サービス提供）、PPP（官民協調）の活用に関する事業</li> <li>●駅前再開発、商業施設、商店街の再生事業及び区画整理事業、観光地事業再生</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 農林水産業・農商工連携事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●農林水産業（生産者・加工業者・流通業者）および農商工連携に関する事業</li> <li>●異業種からの農業参入に関する事業</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 保育・育児事業       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●幼保一体化（保育所と幼稚園の両方の機能を備える「認定こども園」を整備する取組）に関する事業</li> <li>●育児休業取得先進企業の設備対応（事業所内保育施設など）に関する事業</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                            |

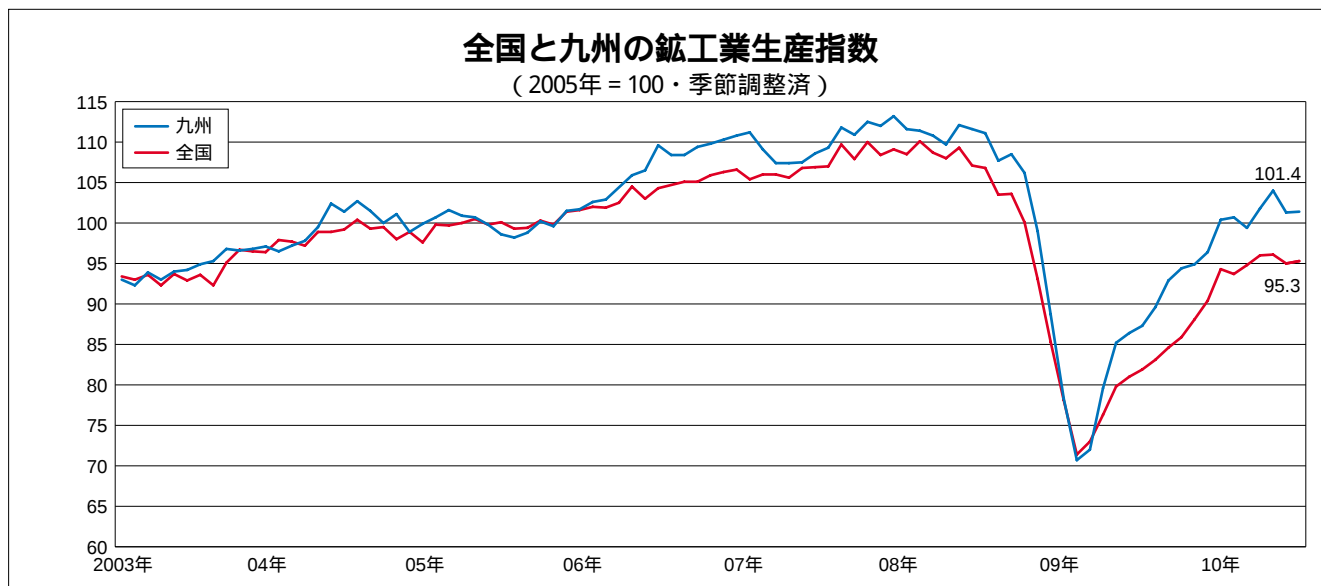
平成22年9月6日現在

詳しくは各銀行までご相談ください。

## 九州の鉱工業生産動向

### [ 基調判断 ].....持ち直しの動きが続いている

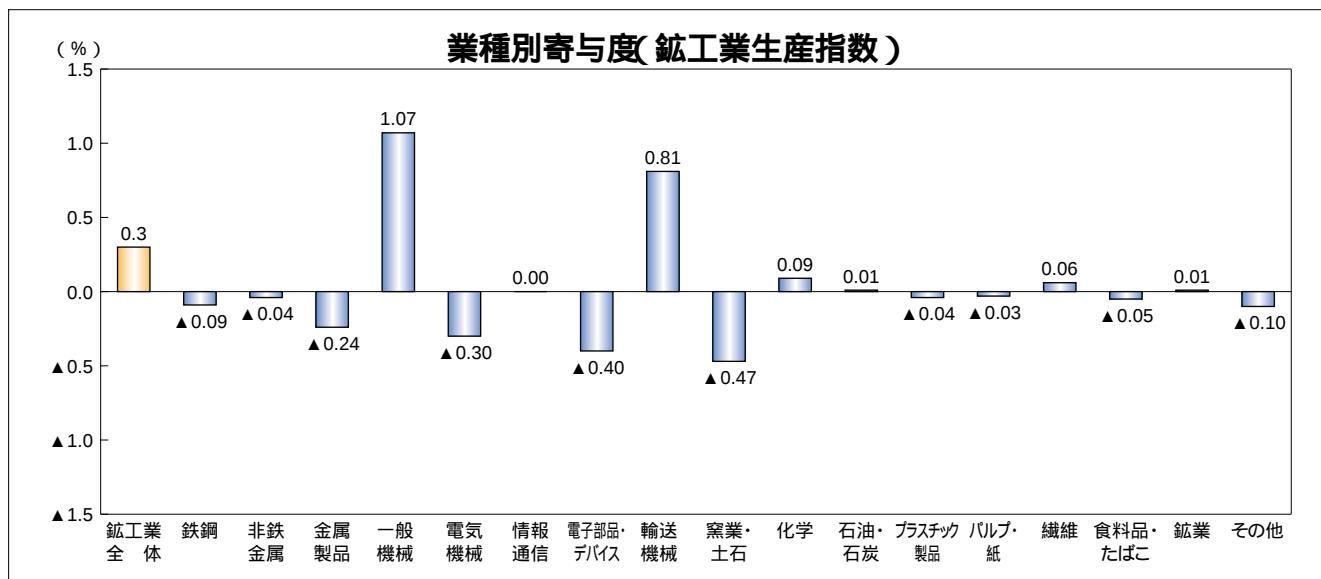
2010年7月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、一般機械や輸送機械、化学工業の生産の伸びから、前月比0.3%上昇の101.4と2ヵ月ぶりで前月を上回りました。購入補助金や減税によるエコカー需要により乗用車の生産は堅調に推移しているほか、自動車向け素材等も高水準を維持しており、生産活動は持ち直しの動きが続いています。



(出所)九州経済産業局

### [ 業種別動向 ].....一般機械や輸送機械、化学等で上昇

業種別にみると、プラント関連機器やフラットパネルディスプレイ製造装置の生産が伸びた一般機械のほか、輸送機械や化学等がプラスに寄与しました。一方、半導体基盤の材料となるファインセラミックス等の生産が伸び悩んだことから窯業・土石製品が落ち込みました。このほか、電子部品・デバイスや電気機械等もマイナスに寄与しています。



(出所)九州経済産業局

## 福岡県の最近の経済動向

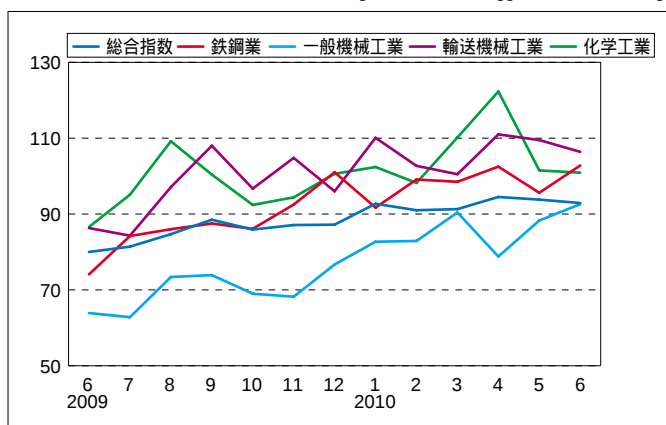
### [ 福岡県の景気 ].....持ち直しの動きが続いている

生産活動では、フラットパネルディスプレイ製造装置等の生産が好調だった一般機械や鉄鋼は上昇した一方、自動車等の輸送機械や化学の生産は弱含み、全体でほぼ横ばいとなりましたが、持ち直しの動きは続いています。

大型小売店販売額は前年割れとなりましたが、その幅は縮小しています。また、企業倒産は小口倒産が増加したこともあり負債総額は2ヵ月連続で前年を上回りました。住宅建設は、新築社宅やマンションの新規着工件数の増加等により、5ヵ月連続で前年実績を上回りました。

### [ 生産活動 ].....総合指数はほぼ横ばい

福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



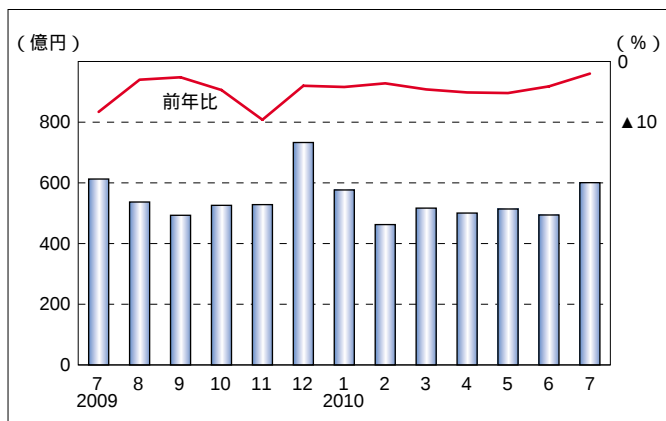
(出所) 福岡県

6月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きをみると、総合指数は前月比1.0%低下の92.9と、ほぼ横ばいとなりました。

主要業種をみると、フラットパネルディスプレイ製造装置等の生産が好調な一般機械(同4.9%上昇)や鉄鋼は上昇したものの、自動車等の輸送機械は同2.8%低下し、化学も横ばいながら同0.6%低下しました。

### [ 大型小売店 ].....前年割れながら、減少幅は縮小

福岡県の大型小売店販売額



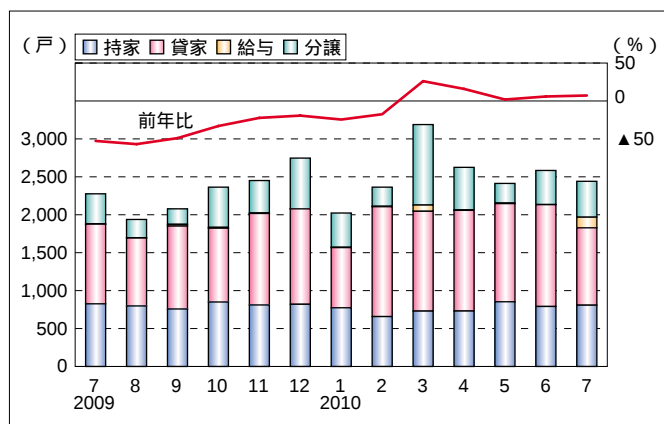
(出所) 九州経済産業局

7月の大型小売店販売額は、大型小売店全体での販売額は前年同月比2.0%減の601億円と24ヵ月連続で前年比マイナスとなりましたが、減少幅は縮小しています。

業態別でみると、百貨店は同2.8%減の280億円、スーパーについても同1.2%減の320億円と百貨店、スーパーともに前年割れとなりました。

### [ 住宅建設 ]..... 5 ヶ月連続で前年を上回る

福岡県の新設住宅着工戸数

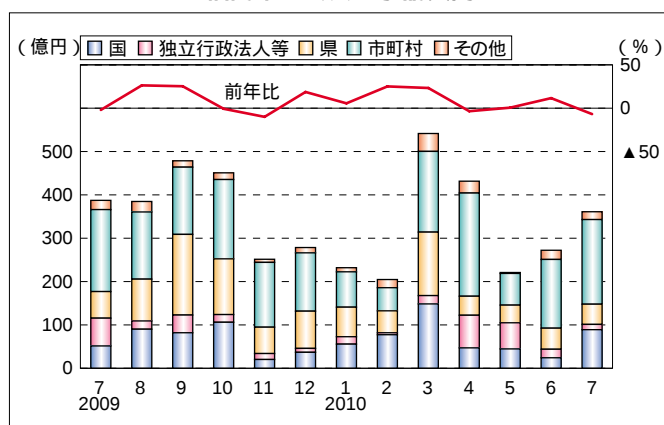


( 出所 ) 国土交通省

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比7.2%増の2,441戸と5ヵ月連続で前年を上回りました。用途別をみると、持家は同2.2%減の808戸、貸家で同2.9%減の1,020戸となったものの、分譲ではマンションの新規着工等から同19.1%増の473戸となったほか、大規模な社宅の新築等により給与は同47倍増となる等、大幅な伸びを示しました。

### [ 公共工事 ]..... 請負金額は3ヵ月ぶりに減少

福岡県の公共工事請負高



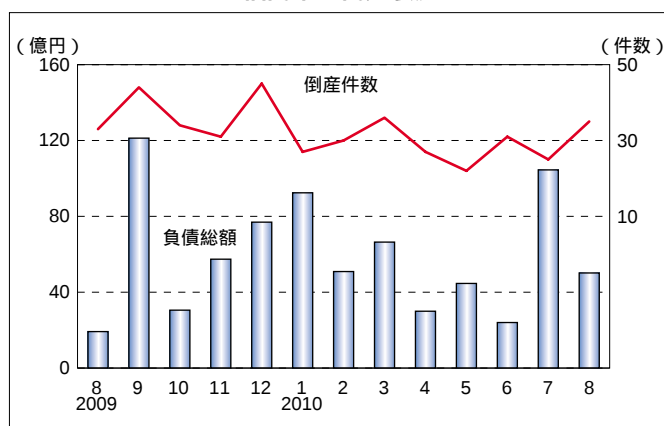
( 出所 ) 西日本建設業保証

7月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比8.7%減の817件、金額は同6.8%減の361億円と、請負金額は3ヵ月ぶりに前年同月比で減少しました。

発注者別にみると、自衛隊関連施設の工事発注等から「国」が同72.8%増となったほか、「市町村」でも同3.2%増となったものの、「独立行政法人等」では昨年大型工事の発注があった反動から、同81.0%減となるなど、全体を押し下げました。

### [ 企業倒産 ]..... 負債総額は2ヵ月連続で前年を上回る

福岡県の倒産状況



( 出所 ) 東京商工リサーチ

8月の福岡県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比6.1%増の35件、負債総額は同160.7%増の50億円と大幅に増加しました。

負債金額30億円を超える大型倒産はなかったものの、建設業を中心に受注不振等による小口の倒産が増加したことから負債総額は2ヵ月連続で前年を上回りました。

## 熊本県の最近の経済動向

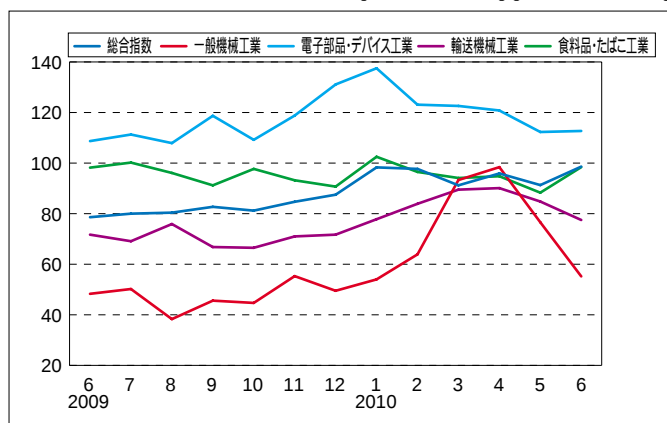
### [ 熊本県の景気 ].....持ち直しの動きが続いている

生産活動では、一般機械では落ち込みは見られたものの、電子部品・デバイスでは引き続き高水準を維持しており、総合指数も2ヵ月ぶりに上昇するなど、持ち直しの動きは続いています。

住宅建設は貸家が大幅に減少したことから前年割れとなったものの、持家、分譲は増加しています。公共工事は件数、請負金額ともに前年を下回りました。企業倒産については、負債総額は低水準で推移しています。

### [ 生産活動 ].....総合指数は2ヵ月ぶりに上昇

熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



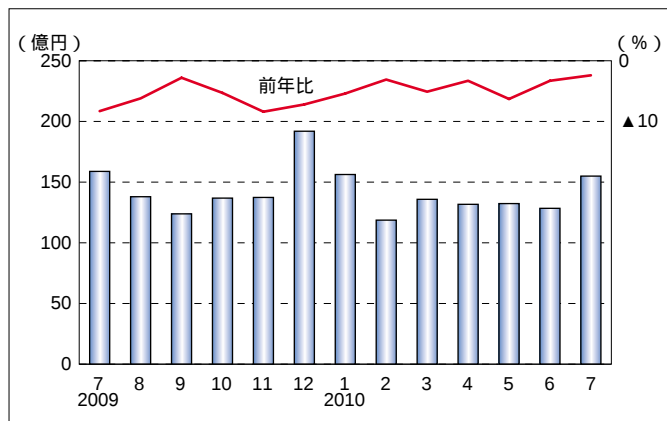
(出所)熊本県

6月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、総合指数は前月比8.0%上昇の98.6と2ヵ月ぶりに上昇しました。

主要業種別にみると、電子部品・デバイスは同0.4%増と前月並みながら、依然として高水準を維持しています。一方一般機械は、半導体製造装置等で生産調整が行われた影響等から、同27.9%減と大幅に低下しました。

### [ 大型小売店 ].....主力の衣料品が伸びず前年割れ

熊本県の大型小売店販売額



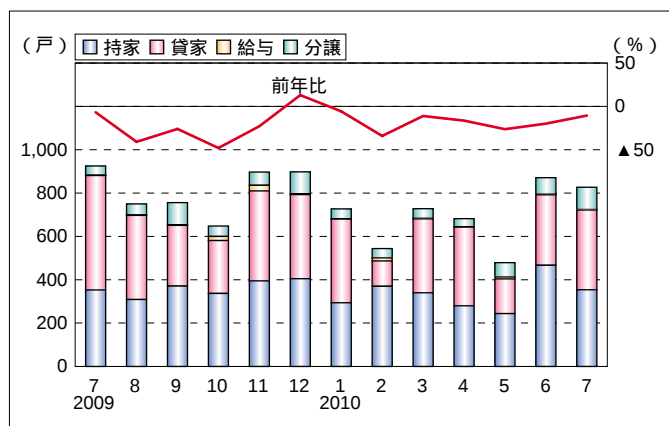
(出所)九州経済産業局

7月の大型小売店販売額は、前年同月比2.4%減の155億円で、前年を下回りました。

商品別でみると、主力の衣料品では売上構成比率の高い婦人服等の販売が低調だったこともあり同7.2%減となったのをはじめ、概ね前年割れとなりました。

### [ 住宅建設 ]..... 7 ヲ月連続で前年を下回る

熊本県の新設住宅着工戸数



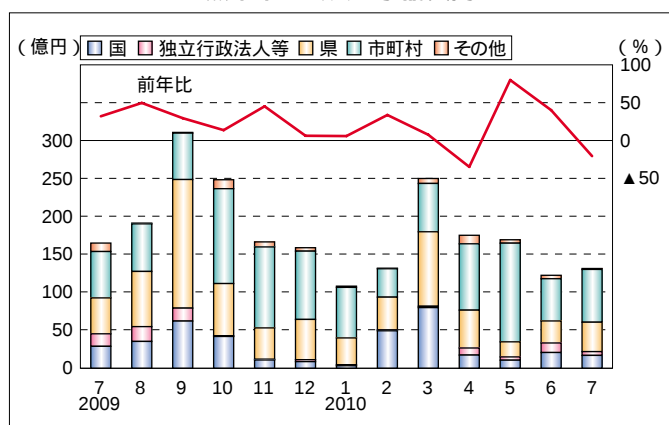
(出所)国土交通省

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比10.6%減の827戸と7ヶ月連続で前年を下回りました。

用途別にみると、持家は同0.3%増の354戸、貸家は同30.3%減の368戸、分譲が同139.5%増の103戸と大幅に増加しました。

### [ 公共工事 ]..... 件数、請負金額ともに前年を下回る

熊本県の公共工事請負高



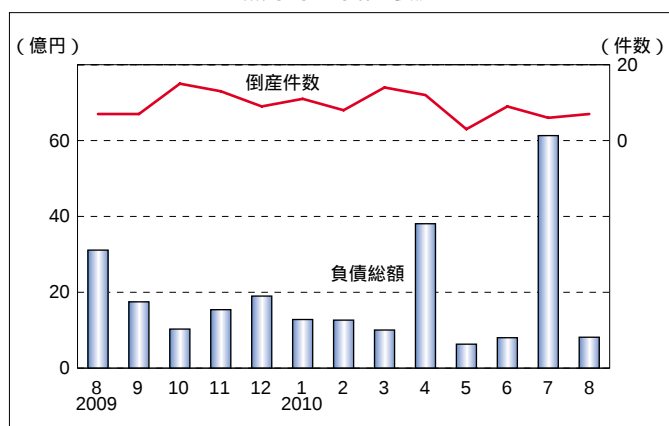
(出所)西日本建設業保証

7月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比8.1%減の542件、金額が同20.3%減の132億円となり、請負金額は前年を大幅に下回りました。

発注者別の請負金額をみると、小学校校舎改築により「市町村」が同13.8%増と伸びたものの、昨年大型工事が相次いだ「国」で半減するなど、前年割れとなりました。

### [ 企業倒産 ]..... 負債総額は低水準で推移

熊本県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

8月の熊本県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比変わらずの7件、負債総額が同73.8%減の8億円となりました。

「中小企業金融円滑化法」による効果等から負債総額は低水準で推移しています。

## 長崎県の最近の経済動向

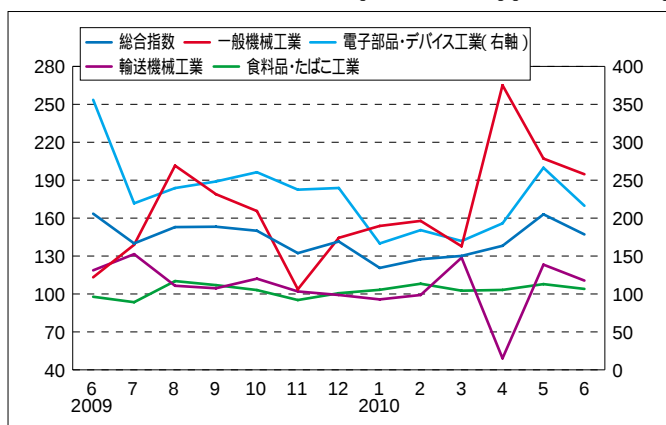
### [ 長崎県の景気 ].....持ち直しの動きが続いている

生産活動では、輸送機械や電子部品・デバイスが前月生産が大幅に伸びた反動等もあって前月比マイナスとなり、総合指数は低下しました。しかし生産自体はいずれも高水準を維持しており、持ち直しの動きが続いています。

大型小売店販売額は、夏物商品等の売上が好調だったこと等から2006年9月以来46ヵ月ぶりに前年実績を上回りました。また住宅建設も、貸家が増加したこと等により4ヵ月ぶりに前年を上回っています。

### [ 生産活動 ].....指数は前月比マイナスながら、高水準を維持

長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



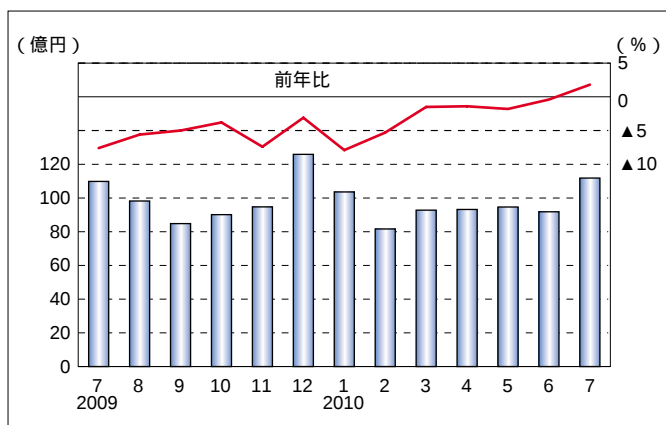
(出所)長崎県

6月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きをみると、総合指数は前月比9.8%低下し147.1となりました。

業種別でみると、前月半導体集積回路の生産が伸びた電子部品・デバイスはその反動もあり同18.8%低下、同様に輸送機械も同10.2%低下と、前月比でマイナスとなっていますが、生産は高水準を維持しています。

### [ 大型小売店 ].....2006年9月以来、46ヵ月ぶりに前年を上回る

長崎県の大型小売店販売額

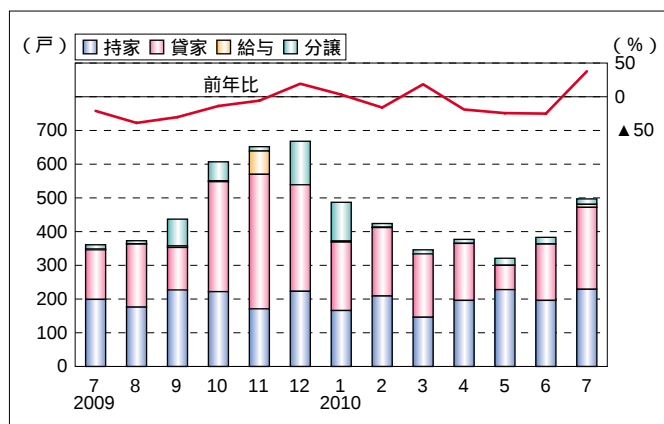


(出所)九州経済産業局

7月の大型小売店販売額は、前年同月比1.8%増の112億円と、2006年9月以来46ヵ月ぶりに前年を上回りました。商品別では、主力の衣料品は、婦人服の販売が伸びず同5.4%減と前年を下回りましたが、新エコポイントが好調な電気機械器具や夏物商品等の売上が好調に推移したことで、前年実績を上回りました。

### [ 住宅建設 ]..... 4 ヶ月ぶりに前年を上回る

長崎県の新設住宅着工戸数



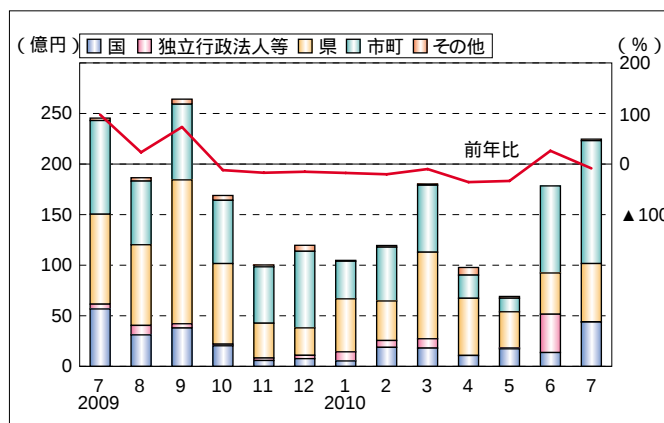
(出所)国土交通省

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比37.7%増の497戸と4ヶ月ぶりに前年を上回りました。

用途別にみると、持家は同15.1%増の229戸、昨年少水準だった貸家はその反動から同65.3%増の243戸、分譲は同23.1%増の16戸と軒並み前年を上回りました。なお、分譲のうちマンションについては、4ヶ月連続で着工実績がありませんでした。

### [ 公共工事 ]..... 昨年の反動から請負金額は前年比マイナス

長崎県の公共工事請負高



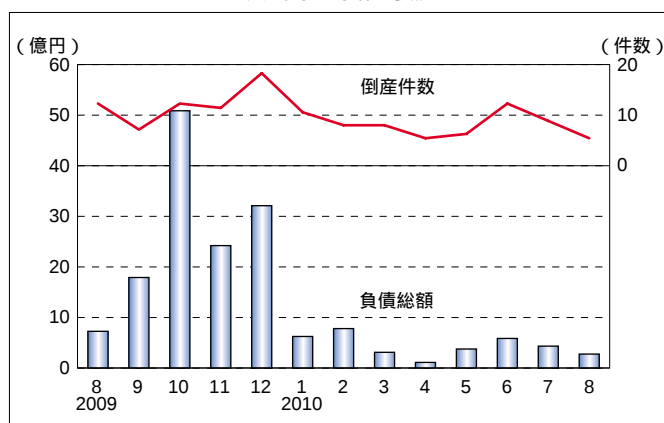
(出所)西日本建設業保証

7月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比17.0%減の484件、金額が同8.5%減の225億円と、請負金額は2ヶ月ぶりに前年を下回りました。

公営住宅の新築工事や污水处理施設工事等により「市町」は同31.1%増と前年を上回ったものの、昨年大口案件が発生した反動から「国」「独立行政法人等」「県」「その他」いずれも前年を下回りました。

### [ 企業倒産 ]..... 件数、負債総額ともに大幅に減少

長崎県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

8月の長崎県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比72.7%減の3件、負債総額が同62.1%減の3億円と、件数、負債総額ともに大幅に減少しました。

「中小企業金融円滑化法」施行による企業支援の効果により、負債総額は引き続き低水準で推移しています。

# 経済指標 | 全国のデータ

| 項目<br>年月 | 鉱工業指数<br>(2005年 = 100) |        |       |        |       |        | 機械受注金額<br>(船舶・電力<br>を除く民需) | 貿易             |                | 公共工事<br>保証請負金額 |              | 建築着工統計<br>工事費予定額<br>(非居住用) |       |
|----------|------------------------|--------|-------|--------|-------|--------|----------------------------|----------------|----------------|----------------|--------------|----------------------------|-------|
|          | 生産指数                   |        | 出荷指数  |        | 在庫指数  |        |                            | 輸出金額<br>前年比(%) | 輸入金額<br>前年比(%) | 億円<br>前年比(%)   | 億円<br>前年比(%) |                            |       |
|          | 季調値                    | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) |                            |                |                |                |              |                            |       |
| 2007年    | 107.4                  | 1.3    | 107.8 | 3.1    | 103.9 | 1.7    | ▲4.0                       | 11.5           | 8.6            | 119,268        | ▲1.3         | 89,722                     | ▲10.3 |
| 2008年    | 103.8                  | ▲3.3   | 104.3 | ▲3.2   | 106.7 | 2.7    | ▲6.0                       | ▲3.5           | 8.0            | 115,901        | ▲2.8         | 99,741                     | 11.2  |
| 2009年    | 81.1                   | ▲21.9  | 82.1  | ▲21.3  | 97.2  | ▲8.9   | ▲26.9                      | ▲33.1          | ▲34.8          | 127,120        | 9.7          | 77,836                     | ▲22.0 |
| 2009.6   | 81.0                   | ▲22.5  | 81.8  | ▲21.9  | 96.1  | ▲10.3  | 9.7                        | ▲35.8          | ▲41.7          | 10,977         | 12.7         | 6,709                      | ▲20.4 |
| 7        | 81.9                   | ▲22.3  | 82.9  | ▲21.6  | 95.5  | ▲10.6  | ▲9.3                       | ▲36.5          | ▲40.6          | 12,511         | 2.5          | 7,547                      | ▲36.4 |
| 8        | 83.1                   | ▲18.3  | 83.8  | ▲18.4  | 95.0  | ▲10.3  | 0.5                        | ▲36.0          | ▲41.0          | 10,063         | 8.7          | 6,234                      | ▲31.7 |
| 9        | 84.6                   | ▲17.5  | 85.6  | ▲16.2  | 94.4  | ▲12.1  | 10.5                       | ▲30.6          | ▲36.8          | 14,314         | 22.1         | 5,054                      | ▲32.8 |
| 10       | 85.9                   | ▲14.4  | 87.5  | ▲12.4  | 93.1  | ▲14.3  | ▲4.5                       | ▲23.2          | ▲35.5          | 12,665         | 8.3          | 5,932                      | ▲29.9 |
| 11       | 88.1                   | ▲2.9   | 88.8  | ▲2.2   | 93.2  | ▲14.2  | ▲11.3                      | ▲6.3           | ▲16.7          | 8,441          | ▲0.0         | 6,733                      | ▲7.8  |
| 12       | 90.4                   | 6.4    | 90.9  | 6.3    | 93.0  | ▲14.6  | 20.1                       | 12.0           | ▲5.5           | 8,658          | 10.3         | 6,102                      | ▲30.8 |
| 2010.1   | 94.3                   | 18.9   | 95.0  | 20.1   | 94.0  | ▲12.3  | ▲3.7                       | 40.9           | 8.8            | 5,791          | ▲3.8         | 5,965                      | ▲22.0 |
| 2        | 93.7                   | 31.3   | 94.8  | 29.0   | 95.5  | ▲7.5   | ▲5.4                       | 45.3           | 29.5           | 5,790          | ▲8.8         | 6,743                      | ▲14.7 |
| 3        | 94.8                   | 31.8   | 96.7  | 29.9   | 94.0  | ▲6.0   | 7.0                        | 43.5           | 20.6           | 13,411         | ▲16.0        | 7,808                      | 18.8  |
| 4        | 96.0                   | 25.9   | 98.1  | 27.1   | 94.6  | ▲3.4   | 4.0                        | 40.4           | 24.2           | 13,278         | ▲0.1         | 5,850                      | ▲4.2  |
| 5        | 96.1                   | 20.4   | 96.4  | 21.0   | 96.5  | ▲0.8   | ▲9.1                       | 32.1           | 33.4           | 7,402          | ▲5.9         | 5,719                      | 8.1   |
| 6        | 95.0                   | 17.3   | 96.6  | 18.1   | 97.2  | 1.2    | 1.6                        | 27.7           | 26.1           | 10,338         | ▲5.8         | 6,283                      | ▲6.4  |
| 7        | 94.8                   | 14.2   | 96.5  | 14.7   | 96.7  | 1.3    | 8.8                        | 23.5           | 15.7           | 11,410         | ▲8.8         | 6,951                      | ▲7.9  |
| 出所       | 経済産業省                  |        |       |        |       |        | 内閣府                        | 財務省            |                | 西日本建設業保証       |              | 国土交通省                      |       |

| 項目<br>年月 | 新設住宅着工戸数  |        |        |        |        | 企業物価指数<br>(2005年 = 100) |        | 消費者物価指数<br>(2005年 = 100) |        | 大型小売店<br>販売額 |        | 乗用車          |        |
|----------|-----------|--------|--------|--------|--------|-------------------------|--------|--------------------------|--------|--------------|--------|--------------|--------|
|          | 合計        |        | 持家     | 貸家     | 分譲     | 指数                      | 前年比(%) | 指数                       | 前年比(%) | 億円           | 前年比(%) | 乗用車新規登録台数    |        |
|          | 戸         | 前年比(%) | 前年比(%) | 前年比(%) | 前年比(%) |                         |        |                          |        |              |        | 台            | 前年比(%) |
| 2007年    | 1,060,741 | ▲17.8  | ▲12.2  | ▲18.7  | ▲22.3  | 104.0                   | 1.8    | 100.3                    | 0.1    | 211,988      | 0.3    | 2,945,668    | ▲5.8   |
| 2008年    | 1,093,485 | 3.1    | 1.2    | 5.2    | 1.8    | 108.8                   | 4.6    | 101.7                    | 1.4    | 209,511      | ▲1.2   | 2,793,626    | ▲5.2   |
| 2009年    | 788,410   | ▲27.9  | ▲10.6  | ▲30.8  | ▲43.7  | 103.0                   | ▲5.3   | 100.3                    | ▲1.4   | 197,758      | ▲5.6   | 2,634,048    | ▲5.7   |
| 2009.6   | 68,268    | ▲32.4  | ▲10.5  | ▲38.4  | ▲50.0  | 102.4                   | ▲6.8   | 100.4                    | ▲1.8   | 16,022       | ▲5.2   | 219,506      | ▲9.4   |
| 7        | 65,974    | ▲32.1  | ▲12.2  | ▲36.0  | ▲50.1  | 102.9                   | ▲8.5   | 100.1                    | ▲2.2   | 17,356       | ▲7.0   | 265,811      | ▲0.5   |
| 8        | 59,749    | ▲38.3  | ▲20.0  | ▲42.2  | ▲53.5  | 102.8                   | ▲8.5   | 100.4                    | ▲2.2   | 15,704       | ▲5.0   | 179,581      | 8.4    |
| 9        | 61,181    | ▲37.0  | ▲19.7  | ▲39.0  | ▲52.5  | 102.9                   | ▲8.0   | 100.4                    | ▲2.2   | 14,939       | ▲4.2   | 293,705      | 9.2    |
| 10       | 67,120    | ▲27.1  | ▲4.9   | ▲35.6  | ▲40.6  | 102.1                   | ▲6.8   | 100.0                    | ▲2.5   | 15,609       | ▲6.4   | 240,169      | 18.8   |
| 11       | 68,198    | ▲19.1  | 8.3    | ▲25.3  | ▲38.2  | 102.1                   | ▲5.0   | 99.8                     | ▲1.9   | 16,215       | ▲9.0   | 267,706      | 44.0   |
| 12       | 69,298    | ▲15.7  | 3.0    | ▲22.7  | ▲27.4  | 102.2                   | ▲3.9   | 99.6                     | ▲1.7   | 20,691       | ▲4.2   | 229,620      | 45.4   |
| 2010.1   | 64,951    | ▲8.1   | 5.4    | ▲14.5  | ▲11.7  | 102.3                   | ▲2.2   | 99.4                     | ▲1.3   | 17,147       | ▲5.1   | 218,775      | 42.7   |
| 2        | 56,527    | ▲9.3   | 2.9    | ▲8.4   | ▲25.6  | 102.4                   | ▲1.6   | 99.3                     | ▲1.1   | 14,023       | ▲3.4   | 268,720      | 38.9   |
| 3        | 65,008    | ▲2.4   | 3.2    | ▲12.5  | 8.8    | 102.6                   | ▲1.3   | 99.6                     | ▲1.1   | 15,831       | ▲4.1   | 401,525      | 40.6   |
| 4        | 66,568    | 0.6    | 2.3    | ▲7.0   | 27.4   | 103.1                   | ▲0.1   | 99.6                     | ▲1.2   | 15,463       | ▲3.1   | 200,252      | 36.9   |
| 5        | 59,911    | ▲4.6   | 4.8    | ▲13.5  | 0.8    | 103.3                   | 0.5    | 99.7                     | ▲0.9   | 15,656       | ▲3.2   | 206,933      | 29.8   |
| 6        | 68,688    | 0.6    | 4.4    | ▲10.9  | 24.6   | 102.9                   | 0.5    | 99.7                     | ▲0.7   | 15,634       | ▲2.4   | 265,372      | 20.9   |
| 7        | 68,785    | 4.3    | 4.4    | ▲5.9   | 27.2   | 102.7                   | ▲0.2   | 99.2                     | ▲0.9   | 17,193       | ▲0.9   | 307,015      | 15.5   |
| 出所       | 国土交通省     |        |        |        |        | 日本銀行                    |        | 総務省                      |        | 経済産業省        |        | 日本自動車販売協会連合会 |        |

| 項目<br>年月 | 乗用車         |        | 家計消費支出(勤労者世帯) |        |         |        | 有効求人<br>倍率 | 完全<br>失業率 | 倒産件数   |          | 預金残高   |        | 貸金残高   |        |
|----------|-------------|--------|---------------|--------|---------|--------|------------|-----------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|
|          |             |        | 可処分所得         |        | 消費支出    |        |            |           |        |          |        |        |        |        |
|          | 軽乗用車販売台数    |        |               |        |         |        |            |           |        |          |        |        |        |        |
|          | 台           | 前年比(%) | 円             | 前年比(%) | 円       | 前年比(%) | 倍          | %         | 件      | 前年比(%)   | 百億円    | 前年比(%) | 百億円    | 前年比(%) |
| 2007年    | 1 447 106   | ▲4.0   | 442 505       | 0.2    | 323 459 | 1.0    | 1.04       | 3.9       | 14 091 | 6.4      | 54 251 | 3.0    | 40 440 | 1.0    |
| 2008年    | 1 426 979   | ▲1.4   | 442 749       | 0.1    | 324 929 | 0.5    | 0.88       | 4.0       | 15 646 | 11.0     | 55 369 | 2.1    | 42 147 | 4.2    |
| 2009年    | 1 283 429   | ▲10.1  | 427 912       | ▲3.4   | 319 060 | ▲1.8   | 0.48       | 5.1       | 15 480 | ▲1.1     | 56 720 | 2.4    | 41 662 | ▲1.2   |
| 2009.6   | 99 549      | ▲17.8  | 563 050       | ▲5.3   | 299 439 | ▲2.8   | 0.45       | 5.4       | 1 422  | 7.4      | 56 832 | 2.5    | 41 594 | 2.9    |
| 7        | 106 255     | ▲8.0   | 469 571       | ▲3.0   | 316 623 | ▲4.2   | 0.43       | 5.7       | 1 386  | 1.0      | 56 268 | 2.5    | 41 527 | 2.8    |
| 8        | 83 757      | ▲6.0   | 389 498       | ▲5.5   | 318 067 | ▲1.4   | 0.42       | 5.5       | 1 241  | ▲1.0     | 56 111 | 2.6    | 41 378 | 2.4    |
| 9        | 119 743     | ▲6.3   | 348 785       | ▲2.9   | 301 796 | ▲1.9   | 0.43       | 5.3       | 1 155  | ▲18.0    | 56 425 | 2.7    | 41 669 | 2.6    |
| 10       | 98 606      | ▲12.2  | 387 048       | ▲4.7   | 306 399 | ▲2.3   | 0.43       | 5.1       | 1 261  | ▲11.8    | 55 974 | 2.7    | 41 445 | 1.3    |
| 11       | 100 271     | ▲8.2   | 354 753       | ▲3.2   | 303 564 | ▲2.1   | 0.43       | 5.2       | 1 132  | ▲11.4    | 56 505 | 2.4    | 41 361 | ▲0.0   |
| 12       | 91 199      | ▲2.7   | 768 386       | ▲6.4   | 359 254 | ▲1.7   | 0.43       | 5.1       | 1 136  | ▲16.6    | 56 720 | 2.4    | 41 662 | ▲1.2   |
| 2010.1   | 99 906      | ▲2.2   | 362 227       | ▲1.9   | 321 633 | ▲0.0   | 0.46       | 4.9       | 1 063  | ▲21.8    | 56 591 | 2.7    | 41 404 | ▲1.1   |
| 2        | 125 212     | ▲3.9   | 391 042       | 0.2    | 285 211 | ▲3.5   | 0.47       | 4.9       | 1 090  | ▲17.3    | 56 837 | 2.3    | 41 383 | ▲1.3   |
| 3        | 177 511     | 0.2    | 362 466       | ▲1.0   | 352 552 | 2.3    | 0.49       | 5.0       | 1 314  | ▲14.5    | 57 961 | 2.6    | 41 617 | ▲1.4   |
| 4        | 97 968      | 9.4    | 383 980       | ▲0.6   | 331 621 | ▲3.7   | 0.48       | 5.1       | 1 154  | ▲13.2    | 57 765 | 2.4    | 41 043 | ▲1.8   |
| 5        | 93 488      | 10.0   | 320 542       | ▲6.2   | 303 326 | ▲4.4   | 0.50       | 5.2       | 1 021  | ▲15.1    | 57 978 | 3.0    | 40 892 | ▲1.9   |
| 6        | 111 237     | 11.7   | 599 669       | 6.5    | 297 809 | ▲0.5   | 0.52       | 5.3       | 1 148  | ▲19.3    | 57 996 | 2.0    | 40 944 | ▲1.6   |
| 7        | 113 196     | 6.5    | 463 447       | ▲1.3   | 316 659 | 0.0    | 0.53       | 5.2       | 1 066  | ▲23.1    | 57 354 | 1.9    | 40 858 | ▲1.6   |
| 出所       | 全国軽自動車協会連合会 |        |               |        | 総務省     |        |            | 厚生労働省     | 総務省    | 東京商工リサーチ |        | 日本銀行   |        |        |

(注) pは速報値、rは修正値。鉱工業指数は、前年同期比の値と年間の指数は原数値、月間の指数は季節調整値。機械受注金額は、年間前年比、月間は前月比。大型小売店販売額は、店舗調整前の値。家計消費支出の前年比は、名目値の前年比。可処分所得・消費支出は、2人以上の世帯のうち勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)。有効求人倍率は、年間実数値、月間は季節調整値。新規学卒を除きパートタイムを含む。完全失業率は季節調整値。預金残高は年末、月末残高。都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信託銀行、長期信用銀行の合計、ただし、特別国際金融取引勘定を含まない。

# 経済指標 | 福岡県のデータ

| 項目<br>年月 | 鉱工業生産指数<br>(2005年 = 100) |        |       |        |       |        |       |        |       |        | 鉱工業出荷指数<br>(2005年 = 100) |        | 鉱工業在庫指数<br>(2005年 = 100) |        |
|----------|--------------------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|--------------------------|--------|--------------------------|--------|
|          | 総合                       |        | 鉄鋼    |        | 電気機械  |        | 一般機械  |        | 輸送機械  |        | 季調値                      | 前年比(%) | 季調値                      | 前年比(%) |
|          | 季調値                      | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) |                          |        |                          |        |
| 2007年    | 102.4                    | ▲0.2   | 105.9 | 3.3    | 113.6 | 3.9    | 101.2 | 2.9    | 112.3 | 4.6    | 102.7                    | ▲0.3   | 122.3                    | 7.4    |
| 2008年    | 102.7                    | 0.3    | 100.8 | ▲4.9   | 116.3 | 2.4    | 113.7 | 12.4   | 113.4 | 1.0    | 101.6                    | ▲1.1   | 122.1                    | ▲0.1   |
| 2009年    | 79.6                     | ▲22.5  | 76.0  | ▲24.6  | 71.8  | ▲38.3  | 72.7  | ▲36.1  | 79.6  | ▲29.8  | 78.4                     | ▲22.8  | 113.3                    | ▲7.3   |
| 2009.6   | 79.7                     | ▲24.5  | 74.0  | ▲29.4  | 64.0  | ▲47.6  | 65.5  | ▲39.7  | 83.7  | ▲31.1  | 78.9                     | ▲24.3  | 117.2                    | ▲5.7   |
| 7        | 82.2                     | ▲25.1  | 81.2  | ▲18.7  | 64.9  | ▲44.7  | 66.0  | ▲43.4  | 88.7  | ▲35.4  | 82.4                     | ▲26.2  | 126.1                    | 7.4    |
| 8        | 83.4                     | ▲17.7  | 82.4  | ▲14.4  | 67.6  | ▲40.5  | 71.7  | ▲35.8  | 91.6  | ▲15.6  | 82.7                     | ▲16.7  | 110.8                    | ▲11.0  |
| 9        | 85.3                     | ▲14.2  | 84.5  | ▲13.2  | 72.6  | ▲36.7  | 70.7  | ▲37.2  | 96.3  | ▲8.7   | 85.4                     | ▲12.7  | 105.6                    | ▲9.4   |
| 10       | 83.6                     | ▲11.9  | 86.7  | ▲14.4  | 69.2  | ▲36.2  | 67.7  | ▲39.6  | 92.0  | ▲2.0   | 83.4                     | ▲10.2  | 103.0                    | ▲13.2  |
| 11       | 84.8                     | ▲4.2   | 91.1  | 0.8    | 75.5  | ▲29.1  | 67.5  | ▲35.8  | 99.8  | 31.7   | 85.3                     | 1.8    | 100.6                    | ▲19.0  |
| 12       | 87.3                     | 2.5    | 99.5  | 30.2   | 81.2  | ▲22.3  | 73.4  | ▲22.9  | 98.3  | 39.7   | 87.8                     | 9.0    | 98.6                     | ▲22.5  |
| 2010.1   | 93.4                     | 21.5   | 92.9  | 58.8   | 79.9  | ▲9.3   | 84.8  | ▲3.0   | 111.5 | 70.7   | 93.3                     | 26.7   | 98.6                     | ▲19.4  |
| 2        | 91.3                     | 39.1   | 100.9 | 74.1   | 89.0  | 21.8   | 84.6  | 8.9    | 105.7 | 165.0  | 91.0                     | 48.6   | 91.9                     | ▲25.6  |
| 3        | 93.9                     | 31.0   | 103.4 | 70.1   | 98.9  | 35.8   | 89.2  | 2.0    | 105.2 | 133.3  | 93.7                     | 41.2   | 91.7                     | ▲22.8  |
| 4        | 94.5                     | 27.8   | 102.5 | 68.2   | 90.3  | 38.3   | 78.8  | 26.1   | 111.0 | 59.8   | 92.7                     | 25.1   | 96.3                     | ▲18.0  |
| 5        | 93.8                     | 17.9   | 95.6  | 34.0   | 93.1  | 45.3   | 88.3  | 26.7   | 109.5 | 30.5   | 93.2                     | 20.9   | 122.8                    | 7.6    |
| 6        | 92.9                     | 17.3   | 102.8 | 39.5   | 91.5  | 42.9   | 92.6  | 41.6   | 106.4 | 28.1   | 91.8                     | 17.0   | 159.6                    | 37.1   |
| 7        |                          |        |       |        |       |        |       |        |       |        |                          |        |                          |        |
| 出所       | 福岡県調査統計課                 |        |       |        |       |        |       |        |       |        |                          |        |                          |        |

| 項目<br>年月 | 貿易     |        | 公共工事<br>保証請負金額 |        | 建築着工統計<br>工事費予定額<br>（非居住用） |        | 新設住宅着工戸数 |        |        |        |        | 消費者物価指数<br>（2005年 = 100） |        | 大型小売店<br>販売額 |         |  |
|----------|--------|--------|----------------|--------|----------------------------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|--------------------------|--------|--------------|---------|--|
|          | 輸出金額   | 輸入金額   | 億円             | 前年比（％） | 億円                         | 前年比（％） | 合計       |        | 持家     | 貸家     | 分譲     | 福岡市                      |        | 百万円          | 前年比（％）  |  |
|          | 前年比（％） | 前年比（％） |                |        |                            |        | 戸        | 前年比（％） | 前年比（％） | 前年比（％） | 前年比（％） | 指数                       | 前年比（％） |              |         |  |
| 2007年    | 17.0   | 11.6   | 4,673          | 9.9    | 3,661                      | 2.1    | 45,066   | ▲23.6  | ▲9.8   | ▲21.1  | ▲40.2  | 100.0                    | ▲0.1   | 716,699      | 1.0     |  |
| 2008年    | 8.4    | 2.2    | 4,262          | ▲8.8   | 3,680                      | 0.5    | 47,139   | 4.6    | 0.3    | ▲3.0   | 30.3   | 101.0                    | 1.0    | 700,451      | ▲2.3    |  |
| 2009年    | ▲33.2  | ▲35.0  | 3,965          | ▲7.0   | 2,310                      | ▲37.2  | 28,997   | ▲38.5  | ▲10.5  | ▲46.6  | ▲45.5  | 99.6                     | ▲1.3   | 663,772      | ▲5.2    |  |
| 2009.6   | ▲27.4  | ▲37.0  | 244            | ▲19.2  | 190                        | ▲57.6  | 2,439    | ▲42.5  | 2.9    | ▲58.8  | ▲48.7  | 99.7                     | ▲1.8   | 51,505       | ▲4.0    |  |
| 7        | ▲38.9  | ▲39.0  | 387            | ▲2.0   | 124                        | ▲69.4  | 2,276    | ▲52.7  | ▲12.0  | ▲63.9  | ▲57.1  | 99.5                     | ▲2.3   | 61,265       | ▲8.3    |  |
| 8        | ▲38.1  | ▲41.7  | 385            | 26.3   | 182                        | ▲58.6  | 1,938    | ▲56.9  | ▲19.2  | ▲60.6  | ▲80.4  | 99.7                     | ▲2.3   | 53,692       | ▲3.0    |  |
| 9        | ▲36.9  | ▲35.7  | 479            | 25.3   | 283                        | ▲7.1   | 2,078    | ▲49.0  | ▲17.7  | ▲48.3  | ▲80.4  | 99.8                     | ▲2.0   | 49,315       | ▲2.6    |  |
| 10       | ▲27.7  | ▲34.5  | 451            | ▲0.7   | 259                        | ▲33.3  | 2,364    | ▲33.0  | ▲1.6   | ▲45.2  | ▲33.3  | 99.4                     | ▲2.3   | 52,594       | ▲4.7    |  |
| 11       | ▲19.1  | ▲22.6  | 252            | ▲10.0  | 198                        | 3.2    | 2,451    | ▲22.3  | 10.8   | ▲33.8  | ▲24.2  | 98.9                     | ▲2.1   | 52,832       | ▲9.6    |  |
| 12       | 23.1   | ▲12.9  | 279            | 18.7   | 213                        | ▲18.2  | 2,747    | ▲19.3  | ▲2.0   | ▲30.4  | ▲11.4  | 98.7                     | ▲1.9   | 73,302       | ▲4.0    |  |
| 2010.1   | 50.9   | 6.5    | 232            | 5.6    | 140                        | ▲15.5  | 2,023    | ▲24.5  | 18.9   | ▲52.3  | 32.2   | 98.5                     | ▲1.6   | 57,663       | ▲4.2    |  |
| 2        | 69.1   | 25.4   | 205            | 25.1   | 57                         | ▲59.0  | 2,364    | ▲17.5  | 6.5    | 26.5   | ▲76.5  | 98.5                     | ▲1.1   | 46,251       | ▲3.6    |  |
| 3        | 69.7   | 21.3   | 542            | 23.3   | 456                        | 115.2  | 3,189    | 26.1   | 6.4    | ▲3.9   | 146.7  | 99.2                     | ▲0.6   | 51,681       | ▲4.6    |  |
| 4        | 30.4   | 21.4   | 432            | ▲3.5   | 139                        | ▲3.4   | 2,625    | 15.9   | 11.3   | 18.3   | 17.3   | 98.6                     | ▲1.6   | 50,051       | ▲5.1    |  |
| 5        | 42.1   | 18.2   | 221            | 0.6    | 238                        | 19.1   | 2,413    | 1.9    | 19.3   | 54.2   | ▲68.1  | 98.9                     | ▲1.1   | 51,391       | ▲5.2    |  |
| 6        | 21.7   | 19.7   | 272            | 11.6   | 193                        | 1.4    | 2,584    | 5.9    | ▲2.0   | 17.4   | 30.9   | 98.9                     | ▲0.8   | 49,414       | ▲4.1    |  |
| 7        | 30.7   | 14.6   | 361            | ▲6.8   | 378                        | 206.0  | 2,441    | 7.2    | ▲2.2   | ▲2.9   | 19.1   | 98.6                     | ▲0.9   | 60,066       | ▲2.0    |  |
| 出所       | 門司税関   |        | 西日本建設業保証       |        | 国土交通省                      |        |          |        |        |        |        |                          | 総務省    |              | 九州経済産業局 |  |

| 項目<br>年月 | 乗用車          |       |             |       | 家計消費支出(勤労者世帯) |       |            |       | 有効求人<br>倍率 | 倒産件数     |       | 預金残高    |     | 貸金残高    |      |
|----------|--------------|-------|-------------|-------|---------------|-------|------------|-------|------------|----------|-------|---------|-----|---------|------|
|          |              |       |             |       | 可処分所得         |       | 消費支出       |       |            |          |       |         |     |         |      |
|          | 乗用車新規登録台数    |       | 軽乗用車販売台数    |       | 北九州・福岡大都市圏    |       | 北九州・福岡大都市圏 |       |            | 倍        | 件     | 前年比(%)  | 億円  | 前年比(%)  | 億円   |
| 台        | 前年比(%)       | 台     | 前年比(%)      | 円     | 前年比(%)        | 円     | 前年比(%)     |       |            |          |       |         |     |         |      |
| 2007年    | 110,632      | ▲5.0  | 57,556      | ▲4.1  | 389,439       | ▲4.5  | 307,328    | ▲3.7  | 0.85       | 504      | 0.4   | 170,787 | 1.8 | 134,357 | 2.0  |
| 2008年    | 105,889      | ▲4.3  | 56,454      | ▲1.9  | 396,303       | 1.8   | 312,775    | 1.8   | 0.63       | 545      | 8.1   | 174,098 | 1.9 | 137,598 | 2.4  |
| 2009年    | 99,616       | ▲5.9  | 51,812      | ▲8.2  | 391,029       | ▲1.3  | 305,554    | ▲2.3  | 0.42       | 480      | ▲11.9 | 179,050 | 2.8 | 138,767 | 0.8  |
| 2009.6   | 8,068        | ▲12.5 | 4,109       | ▲15.1 | 512,642       | 1.8   | 265,019    | ▲1.6  | 0.39       | 48       | ▲2.0  | 177,869 | 2.4 | 136,965 | 1.8  |
| 7        | 10,237       | 0.7   | 4,330       | ▲11.9 | 452,800       | 7.6   | 302,536    | ▲0.0  | 0.38       | 45       | 28.6  | 176,098 | 2.5 | 137,635 | 2.2  |
| 8        | 7,454        | 11.0  | 3,473       | ▲4.7  | 349,799       | ▲10.4 | 306,421    | ▲7.7  | 0.39       | 33       | ▲25.0 | 176,063 | 2.1 | 137,549 | 1.9  |
| 9        | 11,449       | 12.8  | 4,919       | ▲1.8  | 322,387       | ▲0.9  | 311,945    | 9.8   | 0.39       | 44       | ▲22.8 | 175,654 | 2.9 | 138,182 | 3.3  |
| 10       | 9,097        | 17.7  | 3,891       | ▲4.3  | 353,629       | ▲1.6  | 308,239    | 5.8   | 0.40       | 34       | ▲32.0 | 176,567 | 3.2 | 138,818 | 3.6  |
| 11       | 10,222       | 39.9  | 4,055       | ▲7.7  | 331,263       | 0.7   | 268,630    | ▲0.2  | 0.40       | 31       | ▲36.7 | 177,067 | 2.9 | 138,363 | 2.3  |
| 12       | 8,486        | 46.6  | 3,556       | 2.3   | 649,891       | ▲9.6  | 365,667    | 13.9  | 0.39       | 45       | ▲2.2  | 179,050 | 2.8 | 138,767 | 0.8  |
| 2010.1   | 8,783        | 54.9  | 4,405       | 2.0   | 346,312       | 4.6   | 338,411    | 20.5  | 0.41       | 27       | ▲42.6 | 178,408 | 2.5 | 138,416 | 0.4  |
| 2        | 10,840       | 46.3  | 5,184       | ▲4.9  | 371,985       | 9.3   | 264,704    | ▲17.5 | 0.42       | 30       | ▲3.2  | 179,162 | 2.5 | 138,534 | ▲0.7 |
| 3        | 14,857       | 47.6  | 6,872       | ▲4.7  | 327,194       | ▲10.0 | 308,069    | 1.8   | 0.43       | 36       | ▲18.2 | 179,118 | 3.5 | 137,933 | ▲0.6 |
| 4        | 7,927        | 40.9  | 3,989       | 15.9  | 350,028       | ▲3.6  | 360,546    | 4.4   | 0.44       | 27       | ▲25.0 | 181,214 | 2.4 | 137,660 | ▲1.0 |
| 5        | 8,219        | 41.0  | 3,948       | 29.1  | 313,200       | ▲2.7  | 285,758    | ▲1.0  | 0.45       | 22       | ▲47.6 | 181,283 | 1.8 | 137,707 | ▲1.4 |
| 6        | 10,367       | 28.5  | 4,743       | 15.4  | 513,232       | 0.1   | 283,388    | 6.9   | 0.46       | 31       | ▲35.4 | 181,560 | 2.1 | 136,721 | ▲0.2 |
| 7        | 11,730       | 14.6  | 5,093       | 17.6  | 426,170       | ▲5.9  | 299,089    | ▲1.1  | 0.46       | 25       | ▲44.4 | 181,630 | 3.1 | 137,879 | 0.2  |
| 出所       | 日本自動車販売協会連合会 |       | 全国軽自動車協会連合会 |       | 総務省           |       |            |       | 厚生労働省      | 東京商工リサーチ |       | 日本銀行    |     |         |      |

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

# 経済指標 | 熊本県のデータ

| 項目<br>年月 | 鉱工業生産指数<br>(2005年 = 100) |        |       |        |       |        |       |        |      |        | 鉱工業出荷指数<br>(2005年 = 100) |        | 鉱工業在庫指数<br>(2005年 = 100) |        |
|----------|--------------------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|------|--------|--------------------------|--------|--------------------------|--------|
|          | 総合                       |        | 食料品   |        | 電子部品  |        | 一般機械  |        | 輸送機械 |        | 季調値                      | 前年比(%) | 季調値                      | 前年比(%) |
|          | 季調値                      | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) | 季調値  | 前年比(%) |                          |        |                          |        |
| 2007年    | 109.3                    | ▲0.3   | 99.3  | ▲1.2   | 137.8 | 12.5   | 118.0 | 6.3    | 91.9 | ▲7.4   | 108.3                    | ▲0.3   | 113.2                    | 1.1    |
| 2008年    | 103.6                    | ▲5.3   | 97.9  | ▲1.4   | 138.6 | 0.6    | 78.2  | ▲33.8  | 94.4 | 2.7    | 101.0                    | ▲6.8   | 124.5                    | 10.0   |
| 2009年    | 80.3                     | ▲22.5  | 95.7  | ▲2.2   | 103.7 | ▲25.2  | 49.0  | ▲37.3  | 71.2 | ▲24.6  | 79.2                     | ▲21.6  | 112.2                    | ▲9.9   |
| 2009.6   | 78.6                     | ▲24.0  | 97.8  | 1.7    | 107.5 | ▲19.2  | 45.4  | ▲32.7  | 70.7 | ▲28.8  | 78.5                     | ▲21.2  | 112.3                    | ▲9.2   |
| 7        | 80.0                     | ▲21.6  | 97.5  | ▲1.1   | 109.4 | ▲19.0  | 48.0  | ▲24.8  | 68.4 | ▲30.2  | 78.2                     | ▲22.5  | 109.6                    | ▲13.5  |
| 8        | 80.4                     | ▲20.4  | 94.7  | ▲8.3   | 107.8 | ▲18.3  | 40.1  | ▲44.5  | 75.3 | ▲21.5  | 78.6                     | ▲20.4  | 106.9                    | ▲13.9  |
| 9        | 82.7                     | ▲18.6  | 93.3  | 3.6    | 114.3 | ▲13.9  | 49.0  | ▲24.9  | 65.9 | ▲36.0  | 80.4                     | ▲18.5  | 102.5                    | ▲14.3  |
| 10       | 81.2                     | ▲18.9  | 98.0  | 0.6    | 109.3 | ▲17.0  | 46.0  | ▲29.4  | 65.7 | ▲35.0  | 78.8                     | ▲19.5  | 96.6                     | ▲25.8  |
| 11       | 84.7                     | ▲10.0  | 95.0  | 0.3    | 117.4 | 0.9    | 54.7  | ▲0.5   | 67.9 | ▲29.1  | 81.7                     | ▲10.8  | 93.4                     | ▲30.4  |
| 12       | 87.5                     | ▲3.8   | 91.6  | ▲3.9   | 126.6 | 17.0   | 47.5  | ▲21.5  | 68.6 | ▲29.4  | 82.7                     | ▲7.2   | 94.2                     | ▲32.8  |
| 2010.1   | 98.3                     | 15.3   | 100.5 | 2.0    | 144.7 | 57.8   | 48.1  | ▲24.9  | 79.5 | 1.5    | 94.6                     | 9.2    | 96.1                     | ▲31.7  |
| 2        | 97.7                     | 26.0   | 94.6  | ▲1.3   | 127.4 | 66.0   | 64.3  | 20.5   | 87.6 | 10.1   | 94.2                     | 19.5   | 97.2                     | ▲27.8  |
| 3        | 91.2                     | 27.6   | 92.4  | ▲3.4   | 121.7 | 57.0   | 97.2  | 53.3   | 94.4 | 25.5   | 91.0                     | 24.0   | 91.9                     | ▲22.2  |
| 4        | 95.9                     | 22.7   | 92.9  | ▲1.3   | 121.9 | 15.4   | 117.8 | 201.5  | 93.3 | 31.2   | 94.8                     | 23.2   | 94.6                     | ▲19.6  |
| 5        | 91.0                     | 17.8   | 90.0  | ▲4.2   | 112.3 | 11.2   | 76.6  | 151.8  | 84.8 | 12.8   | 86.0                     | 12.6   | 90.3                     | ▲23.2  |
| 6        | 98.6                     | 25.4   | 98.4  | 0.6    | 112.7 | 4.8    | 55.2  | 21.6   | 77.5 | 9.5    | 93.2                     | 18.8   | 92.1                     | ▲18.0  |
| 7        |                          |        |       |        |       |        |       |        |      |        |                          |        |                          |        |
| 出所       | 熊本県統計調査課                 |        |       |        |       |        |       |        |      |        |                          |        |                          |        |

| 項目<br>年月 | 貿易     |        | 公共工事<br>保証請負金額 |        | 建築着工統計<br>工事費予定額<br>（非居住用） |        | 新設住宅着工戸数 |        |        |        |        | 消費者物価指数<br>（2005年 = 100） |        | 大型小売店<br>販売額 |        |
|----------|--------|--------|----------------|--------|----------------------------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|--------------------------|--------|--------------|--------|
|          | 輸出金額   | 輸入金額   | 億円             | 前年比（％） | 億円                         | 前年比（％） | 合計       |        | 持家     | 貸家     | 分譲     | 指数                       | 前年比（％） | 百万円          | 前年比（％） |
|          | 前年比（％） | 前年比（％） |                |        |                            |        | 戸        | 前年比（％） | 前年比（％） | 前年比（％） | 前年比（％） |                          |        |              |        |
| 2007年    | 3.9    | 20.8   | 2,071          | ▲0.3   | 1,289                      | 10.6   | 13,286   | ▲10.3  | ▲8.1   | ▲7.2   | ▲27.3  | 99.9                     | ▲0.1   | 187,676      | ▲0.6   |
| 2008年    | 2.6    | 26.7   | 2,021          | ▲2.4   | 1,098                      | ▲14.8  | 12,542   | ▲5.6   | 0.3    | ▲8.7   | ▲10.5  | 101.1                    | 1.2    | 184,134      | ▲1.9   |
| 2009年    | ▲26.8  | ▲36.7  | 2,124          | 5.1    | 701                        | ▲36.1  | 9,842    | ▲21.5  | ▲7.2   | ▲36.7  | ▲1.2   | 100.4                    | ▲0.7   | 172,785      | ▲6.2   |
| 2009.6   | ▲6.3   | ▲22.1  | 87             | ▲7.1   | 54                         | ▲33.1  | 1,087    | 2.3    | ▲4.5   | 19.5   | ▲12.5  | 100.4                    | ▲1.0   | 13,275       | ▲5.6   |
| 7        | ▲47.5  | ▲40.2  | 165            | 32.2   | 60                         | ▲66.2  | 925      | ▲6.8   | ▲7.6   | ▲5.5   | ▲14.0  | 100.2                    | ▲1.3   | 15,883       | ▲8.4   |
| 8        | ▲30.2  | ▲70.8  | 191            | 49.9   | 51                         | ▲45.0  | 750      | ▲40.9  | ▲31.8  | ▲39.0  | ▲68.1  | 100.4                    | ▲1.4   | 13,797       | ▲6.2   |
| 9        | ▲72.6  | ▲42.4  | 311            | 29.7   | 68                         | ▲11.0  | 756      | ▲26.0  | ▲2.4   | ▲51.4  | 63.5   | 100.6                    | ▲1.6   | 12,385       | ▲2.8   |
| 10       | ▲12.2  | ▲51.3  | 249            | 14.1   | 97                         | 28.5   | 648      | ▲48.0  | ▲21.8  | ▲57.6  | ▲69.4  | 100.4                    | ▲1.9   | 13,683       | ▲5.3   |
| 11       | ▲34.8  | ▲29.9  | 167            | 45.3   | 65                         | ▲20.5  | 897      | ▲22.9  | 14.2   | ▲41.9  | ▲27.4  | 100.3                    | ▲1.1   | 13,738       | ▲8.4   |
| 12       | 250.5  | ▲47.6  | 159            | 6.5    | 65                         | ▲20.3  | 898      | 13.0   | 22.0   | 0.0    | 38.4   | 100.1                    | ▲1.0   | 19,193       | ▲7.2   |
| 2010.1   | 24.8   | ▲35.7  | 108            | 6.1    | 36                         | ▲16.2  | 727      | ▲5.7   | 13.5   | 22.2   | ▲76.4  | 99.9                     | ▲0.7   | 15,627       | ▲5.4   |
| 2        | 48.4   | ▲17.7  | 132            | 33.8   | 81                         | 61.9   | 544      | ▲34.1  | 5.4    | ▲67.7  | ▲61.3  | 99.5                     | ▲0.7   | 11,868       | ▲3.1   |
| 3        | 8.4    | ▲26.4  | 250            | 7.8    | 88                         | 142.4  | 728      | ▲11.1  | 7.9    | 36.9   | ▲60.2  | 100.1                    | ▲0.5   | 13,584       | ▲5.1   |
| 4        | 10.9   | ▲13.0  | 175            | ▲34.5  | 64                         | 19.5   | 682      | ▲16.4  | 1.1    | 36.0   | ▲86.3  | 100.1                    | ▲0.7   | 13,171       | ▲3.3   |
| 5        | ▲31.0  | 80.8   | 169            | 80.0   | 70                         | 20.4   | 479      | ▲26.3  | ▲20.8  | ▲44.8  | 37.5   | 99.9                     | ▲0.6   | 13,232       | ▲6.3   |
| 6        | ▲38.8  | 1.6    | 123            | 40.2   | 114                        | 111.2  | 871      | ▲19.9  | 39.0   | ▲30.3  | ▲72.5  | 99.9                     | ▲0.5   | 12,841       | ▲3.3   |
| 7        | 20.0   | ▲6.2   | 132            | ▲20.3  | 76                         | 27.1   | 827      | ▲10.6  | 0.3    | ▲30.3  | 139.5  | 99.8                     | ▲0.4   | 15,496       | ▲2.4   |
| 出所       | 門司税関   |        | 西日本建設業保証       |        | 国土交通省                      |        |          |        |        | 総務省    |        | 九州経済産業局                  |        |              |        |

| 項目<br>年月 | 乗用車          |      |             |       | 家計消費支出(勤労者世帯) |       |         |       | 有効求人<br>倍率 | 倒産件数     |       | 預金残高   |     | 貸金残高   |     |
|----------|--------------|------|-------------|-------|---------------|-------|---------|-------|------------|----------|-------|--------|-----|--------|-----|
|          |              |      |             |       | 可処分所得         |       | 消費支出    |       |            |          |       |        |     |        |     |
|          | 乗用車新規登録台数    |      | 軽乗用車販売台数    |       | 熊本市           |       | 熊本市     |       |            | 倍        | 件     | 前年比(%) | 億円  | 前年比(%) | 億円  |
| 台        | 前年比(%)       | 台    | 前年比(%)      | 円     | 前年比(%)        | 円     | 前年比(%)  |       |            |          |       |        |     |        |     |
| 2007年    | 32,225       | ▲5.7 | 27,998      | ▲0.4  | 431,614       | 10.6  | 297,580 | 4.6   | 0.82       | 139      | 9.4   | 47,976 | 1.7 | 28,666 | 4.0 |
| 2008年    | 31,184       | ▲3.2 | 28,287      | 1.0   | 394,696       | ▲8.6  | 308,050 | 3.5   | 0.63       | 179      | 28.8  | 48,615 | 1.3 | 29,535 | 3.0 |
| 2009年    | 32,853       | 5.4  | 25,999      | ▲8.1  | 394,898       | 0.1   | 312,070 | 1.3   | 0.38       | 127      | ▲29.1 | 49,790 | 2.4 | 29,669 | 0.5 |
| 2009.6   | 2,686        | 7.7  | 2,044       | ▲15.4 | 547,292       | ▲2.7  | 266,577 | ▲5.1  | 0.36       | 20       | 25.0  | 49,668 | 0.9 | 29,144 | 1.8 |
| 7        | 3,203        | 2.1  | 2,117       | ▲8.9  | 391,433       | ▲4.6  | 305,104 | ▲8.7  | 0.35       | 10       | ▲28.6 | 48,858 | 0.7 | 29,258 | 1.8 |
| 8        | 2,295        | 28.9 | 1,811       | ▲6.8  | 318,095       | ▲8.5  | 283,635 | ▲1.2  | 0.36       | 7        | ▲65.0 | 48,978 | 0.6 | 29,193 | 1.2 |
| 9        | 3,779        | 23.1 | 2,301       | ▲2.6  | 341,172       | 0.4   | 330,034 | 14.2  | 0.37       | 7        | ▲56.3 | 48,713 | 1.1 | 29,448 | 1.8 |
| 10       | 3,133        | 43.7 | 1,955       | ▲5.1  | 396,902       | 3.7   | 322,097 | 8.1   | 0.38       | 15       | 15.4  | 49,248 | 2.6 | 29,435 | 2.3 |
| 11       | 3,654        | 66.1 | 1,997       | ▲8.4  | 359,045       | 6.9   | 292,851 | ▲0.7  | 0.39       | 13       | 0.0   | 49,158 | 1.9 | 29,208 | 0.5 |
| 12       | 2,709        | 70.9 | 1,903       | ▲1.4  | 757,618       | 12.5  | 358,763 | 5.5   | 0.39       | 9        | ▲60.9 | 49,790 | 2.4 | 29,669 | 0.5 |
| 2010.1   | 3,019        | 52.4 | 2,143       | ▲3.8  | 382,934       | 17.3  | 361,197 | 5.5   | 0.41       | 11       | ▲26.7 | 49,298 | 2.2 | 29,409 | 0.0 |
| 2        | 3,662        | 56.9 | 2,617       | ▲5.2  | 400,065       | 20.6  | 296,130 | 20.5  | 0.41       | 8        | 14.3  | 49,529 | 2.3 | 29,362 | 0.1 |
| 3        | 5,164        | 47.2 | 3,335       | 0.2   | 362,760       | 11.0  | 338,228 | ▲11.7 | 0.42       | 14       | 27.3  | 49,582 | 3.3 | 29,618 | 0.4 |
| 4        | 2,445        | 40.0 | 1,993       | 12.1  | 373,611       | 12.1  | 340,349 | 4.8   | 0.43       | 12       | 140.0 | 50,377 | 2.3 | 29,189 | 0.1 |
| 5        | 2,734        | 49.9 | 2,021       | 13.7  | 315,019       | 1.9   | 303,005 | 4.7   | 0.45       | 3        | ▲62.5 | 50,432 | 2.1 | 29,300 | 0.2 |
| 6        | 3,321        | 23.6 | 2,197       | 7.5   | 464,148       | ▲15.2 | 294,584 | 10.5  | 0.46       | 9        | ▲55.0 | 50,680 | 2.0 | 29,355 | 0.7 |
| 7        | 4,295        | 34.1 | 2,388       | 12.8  | 415,618       | 6.2   | 295,460 | ▲3.2  | 0.47       | 6        | ▲40.0 | 50,521 | 3.4 | 29,460 | 0.7 |
| 出所       | 日本自動車販売協会連合会 |      | 全国軽自動車協会連合会 |       | 総務省           |       |         |       | 厚生労働省      | 東京商工リサーチ |       | 日本銀行   |     |        |     |

(注) 全国と共通の指標については全国の注釈参照。

# 経済指標 | 長崎県のデータ

| 項目<br>年月 | 鉱工業生産指数<br>(2005年 = 100) |        |       |        |       |        |       |        |       |        | 造船                |        | 機械等   |        | 電子部品<br>生産高 |          |  |
|----------|--------------------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------------------|--------|-------|--------|-------------|----------|--|
|          | 総合                       |        | 一般機械  |        | 食料品   |        | 電子部品  |        | 輸送機械  |        | 生産高               |        |       |        |             |          |  |
|          | 季調値                      | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) | 億円                | 前年比(%) | 億円    | 前年比(%) |             | 前年比(%)   |  |
| 2007年    | 134.0                    | 11.4   | 103.5 | ▲13.8  | 104.9 | 4.4    | 228.6 | 36.3   | 98.7  | ▲2.1   | 2,166             | 15.5   | 3,079 | 11.0   | 3.0         |          |  |
| 2008年    | 152.5                    | 13.8   | 154.2 | 49.0   | 101.8 | ▲3.0   | 255.5 | 11.8   | 119.0 | 20.6   | 2,263             | 4.5    | 3,180 | 3.3    | 0.7         |          |  |
| 2009年    | 125.9                    | ▲17.4  | 123.0 | ▲20.2  | 101.0 | ▲0.7   | 190.3 | ▲25.5  | 110.8 | ▲6.9   | 2,131             | ▲5.8   | 2,484 | ▲21.9  | ▲18.7       |          |  |
| 2009.6   | 164.3                    | 2.5    | 114.0 | ▲29.4  | 103.4 | 10.1   | 355.1 | 23.6   | 117.0 | ▲0.5   | 196               | ▲3.3   | 207   | ▲29.7  | ▲25.0       |          |  |
| 7        | 142.4                    | 3.7    | 129.7 | ▲24.8  | 105.0 | 5.3    | 233.3 | 31.0   | 129.6 | 7.9    | 195               | 11.0   | 201   | ▲26.0  | ▲1.0        |          |  |
| 8        | 145.4                    | ▲8.2   | 176.6 | ▲3.2   | 105.6 | 3.7    | 228.7 | ▲11.8  | 109.2 | ▲13.4  | 171               | ▲4.0   | 172   | ▲31.1  | ▲10.5       |          |  |
| 9        | 148.0                    | 0.4    | 160.2 | ▲4.3   | 105.0 | 0.9    | 244.0 | 11.2   | 104.4 | ▲15.8  | 166               | ▲18.4  | 177   | ▲30.8  | 2.7         |          |  |
| 10       | 144.1                    | ▲6.4   | 159.1 | 1.7    | 103.6 | ▲0.3   | 236.9 | ▲2.2   | 103.6 | ▲18.8  | 190               | ▲12.9  | 275   | ▲0.4   | ▲13.4       |          |  |
| 11       | 129.8                    | ▲2.3   | 105.1 | ▲22.9  | 95.8  | ▲3.5   | 214.5 | 19.1   | 100.7 | ▲17.0  | 162               | ▲4.4   | 186   | ▲41.1  | 2.6         |          |  |
| 12       | 133.9                    | 8.0    | 145.4 | 14.9   | 100.1 | 2.4    | 208.9 | 21.4   | 99.4  | ▲16.7  | 155               | ▲12.9  | 191   | ▲37.1  | 48.6        |          |  |
| 2010.1   | 123.4                    | 32.4   | 150.0 | 39.6   | 103.4 | 4.2    | 174.1 | 203.6  | 99.9  | 0.2    | 136               | ▲13.2  | 174   | ▲33.7  | 82.0        |          |  |
| 2        | 130.9                    | 67.6   | 158.7 | 58.9   | 109.4 | 14.8   | 197.4 | 1038.1 | 101.7 | ▲14.7  | 149               | ▲8.8   | 147   | ▲31.5  | 13.5        |          |  |
| 3        | 135.6                    | 29.4   | 152.7 | 72.8   | 103.5 | 7.7    | 176.6 | 33.5   | 129.8 | 11.4   | 147               | ▲23.3  | 183   | ▲8.8   | 56.8        |          |  |
| 4        | 138.1                    | 47.1   | 265.1 | 233.6  | 103.2 | 0.7    | 193.1 | 177.8  | 49.1  | ▲59.6  | 154               | ▲23.7  | 294   | 46.7   | 49.5        |          |  |
| 5        | 163.0                    | 39.2   | 207.1 | 105.7  | 107.8 | 4.5    | 266.4 | 76.0   | 123.2 | 1.3    | 181               | ▲0.9   | 260   | 31.8   | 8.7         |          |  |
| 6        | 147.1                    | ▲10.5  | 194.7 | 70.8   | 104.0 | 0.6    | 216.3 | ▲39.1  | 110.6 | ▲5.5   | 190               | ▲2.6   | 280   | 35.6   | 22.2        |          |  |
| 7        |                          |        |       |        |       |        |       |        |       |        |                   |        |       |        | 0.6         |          |  |
| 出所       | 長崎県統計課                   |        |       |        |       |        |       |        |       |        | 三菱重工業長崎造船所、佐世保重工業 |        |       |        |             | 日本銀行長崎支店 |  |

| 項目<br>年月 | 貿易     |        | 漁業水揚げ金額  |        | 公共工事<br>保証請負金額 |        | 建築着工統計<br>工事費予定額<br>(非居住用) |        | 新設住宅着工戸数 |        |             |        |        | 観光施設入場者数<br>(主要7施設合計) |        | 消費者物価指数<br>(2005年 = 100) |        |
|----------|--------|--------|----------|--------|----------------|--------|----------------------------|--------|----------|--------|-------------|--------|--------|-----------------------|--------|--------------------------|--------|
|          | 輸出金額   | 輸入金額   |          |        |                |        |                            |        | 合計       |        | 持家          | 貸家     | 分譲     |                       |        | 長崎市                      |        |
|          | 前年比(%) | 前年比(%) | 百万円      | 前年比(%) | 億円             | 前年比(%) | 億円                         | 前年比(%) | 戸        | 前年比(%) | 前年比(%)      | 前年比(%) | 前年比(%) | 千人                    | 前年比(%) | 指数                       | 前年比(%) |
| 2007年    | 6.0    | 20.7   | 70,247   | 8.2    | 1,862          | 5.5    | 644                        | ▲22.5  | 6,901    | ▲22.8  | ▲19.6       | ▲11.9  | ▲56.6  | 5,000                 | 4.7    | 99.7                     | ▲0.1   |
| 2008年    | 5.7    | 57.5   | 73,499   | 4.6    | 1,575          | ▲15.4  | 582                        | ▲9.6   | 6,942    | 0.6    | 1.5         | ▲8.9   | 51.3   | 4,593                 | ▲8.1   | 100.9                    | 1.2    |
| 2009年    | 7.2    | ▲53.4  | 59,901   | ▲18.5  | 1,959          | 24.4   | 596                        | 2.3    | 5,767    | ▲16.9  | ▲13.7       | ▲9.5   | ▲53.9  | 3,850                 | ▲16.2  | 99.9                     | ▲1.0   |
| 2009.6   | 3.2    | ▲49.5  | 4,056    | ▲28.7  | 141            | 22.6   | 79                         | 68.6   | 511      | ▲32.5  | ▲13.0       | ▲49.3  | ▲29.1  | 232                   | ▲15.7  | 99.7                     | ▲1.4   |
| 7        | 23.3   | ▲57.0  | 3,905    | ▲32.7  | 245            | 97.6   | 27                         | ▲72.6  | 361      | ▲21.0  | ▲5.2        | ▲25.0  | ▲73.5  | 243                   | ▲26.9  | 99.6                     | ▲1.9   |
| 8        | 16.6   | ▲51.8  | 4,570    | ▲4.0   | 186            | 23.2   | 14                         | ▲79.2  | 373      | ▲38.8  | ▲29.3       | ▲20.4  | ▲92.6  | 539                   | ▲0.8   | 100.0                    | ▲1.8   |
| 9        | 61.3   | ▲61.1  | 4,246    | ▲25.4  | 264            | 73.1   | 55                         | 33.4   | 437      | ▲30.2  | ▲3.0        | ▲30.0  | ▲62.0  | 371                   | 13.6   | 99.7                     | ▲2.2   |
| 10       | ▲10.0  | ▲48.9  | 5,031    | ▲14.0  | 169            | ▲12.0  | 34                         | ▲32.9  | 607      | ▲13.7  | ▲15.3       | ▲9.9   | ▲18.8  | 344                   | ▲16.5  | 99.3                     | ▲2.6   |
| 11       | 46.6   | ▲12.8  | 5,031    | ▲16.8  | 100            | ▲17.2  | 37                         | 49.3   | 652      | ▲5.8   | ▲19.7       | 85.6   | ▲95.0  | 308                   | ▲21.0  | 99.3                     | ▲1.7   |
| 12       | ▲59.8  | ▲36.5  | 6,257    | ▲16.7  | 120            | ▲15.2  | 36                         | ▲22.0  | 668      | 19.3   | 1.8         | 3.6    | 268.6  | 262                   | ▲16.7  | 99.0                     | ▲1.9   |
| 2010.1   | 47.3   | ▲30.3  | 4,543    | ▲16.4  | 105            | ▲17.6  | 32                         | ▲80.7  | 487      | 3.2    | 1.8         | ▲25.6  | 228.6  | 191                   | 4.2    | 99.2                     | ▲1.3   |
| 2        | ▲11.0  | 1.1    | 4,286    | ▲16.0  | 119            | ▲20.2  | 22                         | ▲36.6  | 424      | ▲16.0  | ▲3.2        | ▲23.4  | ▲50.0  | 250                   | 19.4   | 98.9                     | ▲1.2   |
| 3        | ▲51.2  | 37.4   | 4,775    | ▲13.5  | 180            | ▲9.9   | 46                         | 73.1   | 346      | 18.5   | 4.3         | 40.3   | ▲29.4  | 346                   | ▲15.0  | 99.4                     | ▲1.1   |
| 4        | 121.6  | 0.5    | 5,706    | ▲0.6   | 98             | ▲35.8  | 33                         | ▲18.6  | 377      | ▲18.9  | ▲19.7       | ▲6.1   | ▲36.8  | 264                   | ▲8.2   | 98.9                     | ▲1.7   |
| 5        | ▲0.2   | 102.6  | 4,743    | ▲5.3   | 69             | ▲33.4  | 18                         | ▲59.5  | 321      | ▲24.3  | 6.0         | ▲61.5  | 75.0   | 456                   | ▲1.9   | 99.2                     | ▲1.2   |
| 6        | ▲21.4  | 54.3   | 4,102    | 1.2    | 178            | 26.2   | 100                        | 26.7   | 383      | ▲25.0  | ▲13.7       | ▲10.7  | ▲77.8  | 203                   | ▲12.5  | 99.3                     | ▲0.4   |
| 7        | 14.4   | 39.0   | 4,148    | 6.2    | 225            | ▲8.5   | 35                         | 27.7   | 497      | 37.7   | 15.1        | 65.3   | 23.1   | 269                   | 10.9   | 99.0                     | ▲0.6   |
| 出所       | 門司税関   |        | 県内主要4魚市場 |        | 西日本建設業保証       |        | 国土交通省                      |        |          |        | 長崎県観光振興推進本部 |        |        |                       | 総務省    |                          |        |

| 項目<br>年月 | 大型小売店<br>販売額 |        | 乗用車          |        |             |        | 家計消費支出(勤労者世帯) |        |         |        | 有効求人<br>倍率 | 倒産件数     |        | 預金残高   |        | 貸金残高   |        |
|----------|--------------|--------|--------------|--------|-------------|--------|---------------|--------|---------|--------|------------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
|          |              |        |              |        |             |        | 可処分所得         |        | 消費支出    |        |            |          |        |        |        |        |        |
|          |              |        | 乗用車新規登録台数    |        | 軽乗用車販売台数    |        | 長崎市           |        | 長崎市     |        |            |          |        |        |        |        |        |
|          | 百万円          | 前年比(%) | 台            | 前年比(%) | 台           | 前年比(%) | 円             | 前年比(%) | 円       | 前年比(%) | 倍          | 件        | 前年比(%) | 億円     | 前年比(%) | 億円     | 前年比(%) |
| 2007年    | 130,307      | ▲2.7   | 20,714       | ▲8.6   | 23,506      | ▲5.4   | 364,655       | 4.6    | 315,656 | 13.3   | 0.62       | 148      | 18.4   | 40,923 | 1.5    | 24,456 | ▲2.1   |
| 2008年    | 124,827      | ▲4.2   | 20,245       | ▲2.3   | 23,250      | ▲1.1   | 364,276       | ▲0.1   | 296,622 | ▲6.0   | 0.57       | 178      | 20.3   | 40,931 | 0.0    | 23,693 | ▲3.1   |
| 2009年    | 117,941      | ▲5.5   | 20,921       | 3.3    | 21,725      | ▲6.6   | 388,129       | 6.5    | 308,588 | 4.0    | 0.41       | 122      | ▲31.5  | 41,579 | 1.6    | 22,992 | ▲3.0   |
| 2009.6   | 9,216        | ▲5.3   | 1,756        | 13.4   | 1,778       | ▲8.9   | 545,894       | 3.4    | 292,139 | 12.8   | 0.41       | 12       | ▲29.4  | 42,231 | 2.1    | 23,178 | ▲2.6   |
| 7        | 10,982       | ▲7.6   | 1,979        | 2.5    | 1,876       | ▲1.6   | 379,088       | 2.4    | 306,726 | 7.3    | 0.39       | 7        | ▲58.8  | 41,651 | 1.4    | 23,255 | ▲2.7   |
| 8        | 9,821        | ▲5.6   | 1,432        | 6.2    | 1,490       | 1.3    | 310,644       | ▲9.1   | 273,050 | ▲9.2   | 0.39       | 11       | ▲26.7  | 41,697 | 1.0    | 23,239 | ▲3.1   |
| 9        | 8,480        | ▲5.0   | 2,315        | 11.5   | 1,958       | ▲4.7   | 303,736       | ▲8.2   | 259,708 | ▲6.6   | 0.40       | 5        | ▲66.7  | 41,024 | 1.0    | 22,967 | ▲3.0   |
| 10       | 9,012        | ▲3.8   | 2,003        | 43.8   | 1,661       | ▲5.7   | 362,936       | 9.1    | 265,816 | ▲0.6   | 0.41       | 11       | ▲26.7  | 41,315 | 2.2    | 22,922 | ▲2.5   |
| 11       | 9,471        | ▲7.4   | 2,251        | 62.3   | 1,592       | ▲14.1  | 360,702       | 20.6   | 360,652 | 1.0    | 0.40       | 10       | ▲33.3  | 41,281 | 1.3    | 22,776 | ▲3.3   |
| 12       | 12,588       | ▲3.1   | 1,819        | 49.7   | 1,598       | ▲3.6   | 713,564       | ▲2.3   | 433,507 | 7.7    | 0.40       | 18       | 28.6   | 41,579 | 1.6    | 22,992 | ▲3.0   |
| 2010.1   | 10,358       | ▲7.9   | 1,904        | 54.0   | 1,815       | ▲2.1   | 352,323       | 18.8   | 310,666 | 0.3    | 0.42       | 9        | ▲10.0  | 41,280 | 1.6    | 22,896 | ▲4.5   |
| 2        | 8,161        | ▲5.3   | 2,174        | 53.7   | 1,982       | ▲0.6   | 362,887       | 3.0    | 258,798 | ▲4.4   | 0.42       | 6        | 0.0    | 41,501 | 1.0    | 22,851 | ▲5.2   |
| 3        | 9,295        | ▲1.4   | 3,172        | 39.3   | 2,923       | 0.4    | 339,673       | ▲0.8   | 351,004 | 10.3   | 0.41       | 6        | 0.0    | 41,663 | 2.1    | 23,055 | ▲4.5   |
| 4        | 9,310        | ▲1.5   | 1,599        | 41.4   | 1,548       | 4.2    | 362,238       | ▲2.8   | 302,685 | ▲7.8   | 0.43       | 3        | ▲78.6  | 42,002 | 1.2    | 22,601 | ▲2.8   |
| 5        | 9,470        | ▲1.7   | 1,662        | 27.1   | 1,633       | 7.0    | 321,220       | 1.4    | 278,715 | ▲2.0   | 0.44       | 4        | ▲66.7  | 41,851 | ▲1.5   | 22,908 | ▲3.6   |
| 6        | 9,174        | ▲0.5   | 2,043        | 16.3   | 1,846       | 3.8    | 725,431       | 32.9   | 289,322 | ▲1.0   | 0.47       | 11       | ▲8.3   | 42,333 | 0.2    | 22,784 | ▲1.7   |
| 7        | 11,182       | 1.8    | 2,505        | 26.6   | 1,881       | 0.3    | 487,041       | 28.5   | 288,326 | ▲6.0   | 0.48       | 7        | 0.0    | 42,041 | 0.9    | 22,905 | ▲1.5   |
| 出所       | 九州経済産業局      |        | 日本自動車販売協会連合会 |        | 全国軽自動車協会連合会 |        | 総務省           |        |         |        | 厚生労働省      | 東京商工リサーチ |        | 日本銀行   |        |        |        |

(注) 全国と共通の指標については全国の注釈参照。漁業水揚げ金額は、長崎、佐世保、北松、松浦の4市場の合計。観光施設入場者数は、グラバー園、島原城、雲仙仁田道、西海パールシーリゾート、平戸城、ハウステンボス、堂崎天主堂の合計、ただし、雲仙仁田道は自動車の通行台数。

お申込の際は、下記番号へFAX送信してください。

**FAX送信先 092-721-9258**（株式会社FFGビジネスコンサルティング）

## 『北九州フードチャレンジ商談会2010』セミナーのご案内

### 目的

「北九州フードチャレンジ商談会2010（※）」において、販路拡大に役立つセミナーを開催いたします。福岡大学商学部教授の田村馨氏による基調講演や、百貨店物産展の仕掛人として注目を集める、元東武百貨店エグゼクティブバイヤーの内田勝規氏による特別講演、また「中国ビジネス」「ネットビジネス」「地産地消」など専門講師によるテーマ別セミナーを予定しています。食品関連事業者以外の皆様も是非ご参加ください。

※「北九州フードチャレンジ商談会2010」に関するお問い合わせは、下記事務局へお願いいたします。

【日 時】 2010年10月26日（火）

【会 場】 AIMビル3F（アジア太平洋インポートマート） 北九州市小倉北区浅野3-8-1

【主 催】 福岡銀行、親和銀行、ふくおかフィナンシャルグループ

【共 催】 北九州市、北九州商工会議所、北九州貿易協会、ジェトロ北九州

【参加料】 **無 料**

### セミナー内容（各セミナーとも定員になり次第、締切りとさせていただきます）

| 番号 | タイトル                             | 講師                                                                          | 時間帯         | 定員   |
|----|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|-------------|------|
| ①  | 【基調講演】<br>都市の未来を育む食ビジネス          | 田村 馨 氏<br>福岡大学商学部教授                                                         | 10:30～11:45 | 100名 |
| ②  | 【特別講演】<br>消費者は何を求めているか？          | 内田 勝規 氏<br>株式会社オフィス内田 代表取締役会長                                               | 12:45～13:45 | 100名 |
| ③  | 【中国ビジネス】<br>拡大する中国市場の現状と特徴       | 中井 邦尚 氏<br>ジェトロ 海外調査部中国北アジア課 課長代理                                           | 13:00～13:45 | 50名  |
| ④  | 【中国ビジネス】<br>大連チャレンジショップ紹介        | 田上 裕之 氏<br>北九州市産業経済局貿易振興課長<br>呉 霞 氏<br>大連チャレンジショップ現地管理者                     | 14:00～14:45 | 50名  |
| ⑤  | 【中国ビジネス】<br>中国への販路開拓と貿易実務        | 石原 高陽 氏<br>株式会社ナンカイ プランニングセールスマネージャー<br>（海外ビジネスサポート専門会社）                    | 15:00～15:45 | 50名  |
| ⑥  | 【ネットビジネス】<br>中小企業のネット広報戦略        | 船山 郁乃 氏<br>ネットPRプランナー<br>（ネット活用による販売促進アドバイザー）                               | 13:00～13:45 | 50名  |
| ⑦  | 【ネットビジネス】<br>インターネットショップの仕組みと仕掛け | 小野 由衣 氏<br>株式会社楽天 楽天市場事業 店舗開発部                                              | 14:00～14:45 | 50名  |
| ⑧  | 【ネットビジネス】<br>インターネットを使った海外販路開拓   | 市東 浩一 氏<br>アリババマーケティング株式会社 営業開発部 係長<br>（企業間国際取引サイト「Alibaba.com」の販売・サポート代理店） | 15:00～15:45 | 50名  |
| ⑨  | 【地産地消】<br>販路開拓の基礎知識              | 上原 学 氏<br>NPO法人日本プロ農業総合支援機構 上席コンサルタント<br>（農業の担い手を総合的に支援する民間NPO法人）           | 14:00～14:45 | 50名  |

|      |                  |     |       |       |
|------|------------------|-----|-------|-------|
| ご記入欄 | 貴社名              | TEL |       |       |
|      |                  | FAX |       |       |
|      | 所在地              | 〒   | お取引銀行 | 銀行 支店 |
|      | 参加者名<br>(セミナー番号) | ( ) | ( )   | ( )   |

ご記入いただいた個人情報は、北九州市、北九州商工会議所、北九州貿易協会、ジェトロ北九州、福岡銀行、親和銀行、ふくおかフィナンシャルグループ、及びFFGビジネスコンサルティング(事務局)において、本セミナー(商談会)の円滑な運営のためにのみ利用させていただきます。

お問合せ先  
(事務局) 株式会社FFGビジネスコンサルティング（今泉・稲葉）  
〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1

TEL 092-723-2244  
FAX 092-721-9258

## ふくぎんお客様セミナーのご案内

福岡会場：福岡銀行 本店ビル4階 セミナールーム  
北九州会場：福銀小倉ビル5階 セミナールーム

### 10月のセミナー情報

#### 参加費無料

(ただし、一部有料セミナーもごさいます)

#### 事前予約可

- 各セミナーの所要時間は1時間～1時間30分を予定しております。
- お申込みは、電話または福岡銀行ホームページにて承ります。
- 各セミナーについては定員になり次第、受付を終了させていただきます。

#### セミナーカテゴリー

A・KA 投信報告会

B・KB マネー

C・KC 住宅

D 年金

E・KE 生命保険

F・KF 趣味・その他

## 福岡会場 場所：福岡銀行 本店ビル4階 セミナールーム

| 日付        | 予約コード   | 内 容                                                                            | 時 間                 | 定員  |
|-----------|---------|--------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-----|
| 2<br>(土)  | C<br>41 | 知っておきたい！<br>住まいの税金<br>講師：野田税務会計事務所<br>税理士 山嶋 寿人氏                               | 10：30<br>～<br>12：30 | 50名 |
|           | B<br>37 | 分かりやすい<br>投資信託の基礎<br>～大人のための休日講座・基礎編⑤～<br>講師：三菱UFJ 投信                          | 14：00<br>～<br>15：30 | 80名 |
| 6<br>(水)  | A<br>64 | 投資信託運用報告会<br>『ブルーオーシャン』<br>講師：パインブリッジ・インベストメンツ                                 | 11：00<br>～<br>12：30 | 80名 |
|           | F<br>33 | 終活とエンディングノートの書き方<br>～人生のエンディングを自分らしく<br>生前から考え準備する～<br>講師：飛鳥会館 代表取締役<br>古賀 匡郁氏 | 14：00<br>～<br>15：30 | 80名 |
| 12<br>(火) | C<br>42 | 水周りは住まいのかなめ<br>講師：福岡銀行 建築士                                                     | 11：00<br>～<br>12：30 | 50名 |
|           | A<br>65 | 投資信託運用報告会<br>『LM・グローバル・プラス』<br>講師：レッグ・メイソン・アセット・マネジメント                         | 14：00<br>～<br>15：30 | 80名 |
| 15<br>(金) | B<br>38 | 景気動向と株価・<br>為替のゆくえ<br>講師：パークレイズ・キャピタル証券<br>チーフ・エコノミスト 森田 京平氏                   | 14：00<br>～<br>15：30 | 80名 |
| 21<br>(木) | B<br>39 | 動き出す<br>ブラジル版列島改造論<br>～オリンピック開催に向けて～<br>講師：HSBC 投信                             | 11：00<br>～<br>12：30 | 80名 |
|           | F<br>34 | ～魅力のワークライフバランス～<br>オーストラリアを知ろう<br>講師：在福岡オーストラリア総領事館                            | 14：00<br>～<br>15：30 | 80名 |

| 日付        | 予約コード   | 内 容                                                       | 時 間                 | 定員  |
|-----------|---------|-----------------------------------------------------------|---------------------|-----|
| 28<br>(木) | E<br>11 | お子さまの夢をかなえよう<br>～お子さまの教育資金～<br>講師：アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社) | 11：00<br>～<br>12：30 | 50名 |
|           | A<br>66 | 投資信託運用報告会<br>『ハッピークローバー』<br>講師：DIAMアセットマネジメント             | 14：00<br>～<br>15：30 | 80名 |
| 30<br>(土) | D<br>23 | 年金の仕組み・<br>在職老齢年金等について<br>講師：社会保険労務士                      | 10：30<br>～<br>12：30 | 50名 |
|           | C<br>43 | まるわかり住宅ローン<br>講師：福岡銀行 営業推進部                               | 14：00<br>～<br>15：30 | 30名 |

既に対象商品を保有されている方を対象と致します。

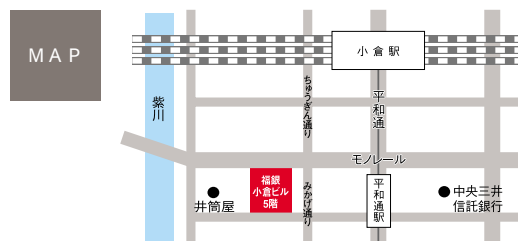
### 福岡会場 場所：福岡銀行本店ビル4階セミナールームのご案内

[住所] 〒810-8727 福岡市中央区天神 2-13-1  
福岡銀行本店ビル4階



### 北九州会場 場所：福銀小倉ビル5階セミナールームのご案内

[住所] 〒802-0007 北九州市小倉北区船場町 2-1  
福銀小倉ビル5階



# 北九州会場

場所：福銀小倉ビル5階 セミナールーム

| 日付        | 予約コード     | 内 容                                                                                                                                                                      | 時 間            | 定員      |
|-----------|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------|
| 5<br>(火)  | K C<br>28 | 水周りは住まいのかなめ<br>講師：福岡銀行 建築士                                                                                                                                               | 11:00<br>12:30 | 50<br>名 |
|           | K A<br>18 | 投資信託運用報告会<br>『ブルーオーシャン』<br>講師：パインブリッジ・インベストメンツ                                                                                                                           | 14:00<br>15:30 | 80<br>名 |
| 13<br>(水) | K A<br>19 | 投資信託運用報告会<br>『LM・グローバル・プラス』<br>講師：レグ・メイソン・アセット・マネジメント                                                                                                                    | 11:00<br>12:30 | 80<br>名 |
|           | K F<br>9  | アロマでリフレッシュ<br>～生活の中にアロマを～<br>講師：BREATH～ブレス～<br>日本アロマ環境協会認定<br>アロマセラピーアドバイザー 横山 弘美氏<br><small>材料費として、お一人様500円(税込)<br/>オリジナルのアロマオイルをお持ち帰り<br/>いただけます。</small><br><b>実費</b> | 14:00<br>15:30 | 50<br>名 |
| 16<br>(土) | K B<br>25 | 景気動向と株価・<br>為替のゆくえ<br>講師：パークレイズ・キャピタル証券<br>チーフ・エコノミスト 森田 京平氏                                                                                                             | 11:00<br>12:30 | 80<br>名 |
|           | K C<br>29 | 知っておきたい！<br>住まいの税金<br>講師：野田税務会計事務所<br>税理士 山嶋 寿人氏                                                                                                                         | 14:00<br>16:00 | 50<br>名 |
| 20<br>(水) | K C<br>30 | 「あかりを楽しむ」<br>もっと自分らしい照明にしたい<br>講師：福岡銀行 建築士                                                                                                                               | 11:00<br>12:30 | 50<br>名 |
|           | K B<br>26 | 動き出す<br>ブラジル版列島改造論<br>～オリンピック開催に向けて～<br>講師：HSBC 投信                                                                                                                       | 14:00<br>15:30 | 80<br>名 |
| 23<br>(土) | D<br>22   | 年金の仕組み・<br>在職老齢年金等について<br>講師：社会保険労務士                                                                                                                                     | 10:30<br>12:30 | 50<br>名 |
|           | K B<br>27 | 分かりやすい<br>投資信託の基礎<br>～大人のための休日講座・基礎編⑤～<br>講師：三菱UFJ 投信                                                                                                                    | 14:00<br>15:30 | 80<br>名 |
| 26<br>(火) | K E<br>3  | お子さまの夢をかなえよう<br>～お子さまの教育資金～<br>講師：アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)                                                                                                                | 11:00<br>12:30 | 50<br>名 |

| 日付        | 予約コード     | 内 容                                                                                | 時 間            | 定員      |
|-----------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------|
| 26<br>(火) | K F<br>10 | 永遠の楽園～ハワイを楽しむ<br>～ワイキキはもちろん、マウイ、ハワイ島の楽しみ方をプロがご案内～<br>講師：株式会社エイチ・アイ・エス<br>九州・中国営業本部 | 14:00<br>15:30 | 80<br>名 |
| 29<br>(金) | K A<br>20 | 投資信託運用報告会<br>『ハッピークローバー』<br>講師：DIAMアセットマネジメント                                      | 14:00<br>15:30 | 80<br>名 |

既に対象商品を保有されている方を対象と致します。

## セミナーの内容・スケジュール

資産運用・住宅・保険・年金などに関するものから、健康・美容など趣味に関するものまで様々なセミナーを開催します。詳しくは、福岡銀行のホームページにアクセスし、「セミナーイベント」よりご覧いただけます。

ふくぎん

検索

クリック

<http://www.fukuokabank.co.jp>

## セミナーのお申し込み方法

### ■福岡銀行ホームページ

上記ホームページより、そのままお申込みいただけます。

### ■ふくぎんダイレクトコンサルティングプラザ

**0120-559-655**

受付時間/A.M.9:00～P.M.8:00(但し、銀行休業日は除きます。)

◎携帯・PHSからご利用いただけます。

**予約コードとテーマは上記ホームページよりご確認ください。**

- セミナーの予定は、予告なしに変更する場合がございます。最新の情報は福岡銀行のホームページをご覧ください。また、自然災害などによりセミナーの内容変更、中断または中止させていただくことがあります。
- 駐車場については数に限りがございます。セミナーにお越しの際は、公共の交通機関をご利用ください。

## マネーセミナー・生命保険セミナー・ 投信報告会ご案内にあたっての留意点

- 本案内に記載のセミナーでは、金融商品の勧誘を行うことがあります。
- これらの金融商品へのご投資には、各商品等に所定の手数料等(投資信託の場合は、銘柄ごとに設定された販売手数料及び信託報酬等の諸経費、個人年金保険の場合は、契約初期費用のほか、保険関係費用・運用関係費用・年金管理費用等の諸経費、等)をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の「契約締結前交付書面」や「投資信託説明書(交付目論見書)」、「年金保険ご契約のしおり・約款」またはお客様向け資料等をよくお読みください。

[商 品 等] 株式会社 福岡銀行(登録金融機関)  
[登録番号] 福岡財務支局長(登金)第7号  
[加入協会] 日本証券業協会

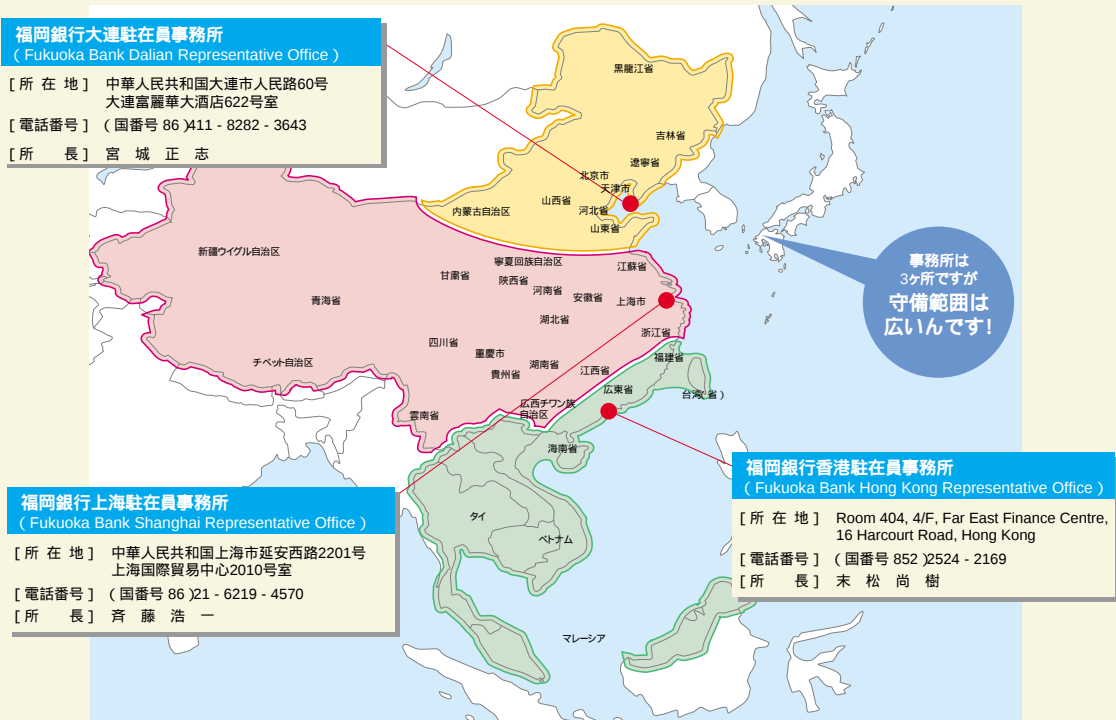
平成22年9月1日現在

# 海外拠点紹介

## 海外駐在員事務所の位置と担当範囲

海外拠点にて海外直接投資や、貿易に関する情報収集等を行っています。海外進出等ご検討のお客様、海外のことならお任せください！

海外拠点へのご用命・ご訪問は、取引店へお申し出ください。



**FFG** ふくおかフィナンシャルグループ

## あなたのいちばんに。



### いちばん身近な銀行

お客さまの声に親身に心から耳を傾け、対話し、共に歩みます。

### いちばん頼れる銀行

豊富な知識と情報を活かし、お客さま一人ひとりに最も適したサービスを提供します。

### いちばん先を行く銀行

金融サービスのプロ集団として、すべての人の期待を超える提案を続けます。

**福岡銀行**

**熊本ファミリー銀行**

**親和銀行**

**FFG** ふくおかフィナンシャルグループでは、  
世界の主要通貨を取りそろえ、  
お客さまのご要望に  
お応えします。

海外に  
行かれる  
皆さまへ

## 外貨両替は 「ふくおかフィナンシャルグループ」で!

### 主なお取り扱い通貨一覧



米ドル



ユーロ



オーストラリアドル



イギリスポンド



香港ドル



シンガポールドル



カナダドル



ニュージーランドドル



スイスフラン



タイバーツ



中国人民幣



韓国ウォン



ニュー台湾ドル

- 外貨両替の際に適用される為替相場には各行所定の手数料が含まれます。(例:米ドル買金)1ドルあたり3円)
- 硬貨(コイン)は外貨両替の対象外となりますので、お取扱いはおこなっておりません。
- 200万円相当額を超える両替の場合、ご本人確認資料(パスポート、運転免許証等)のご提示が必要となります。
- お取扱い通貨の種類は店舗により異なります。
- くわしくは各行の窓口へお問合せください。

# 人と人とのつながりがビジネスを広げる FFG経営者クラブ

ビジネスに直結する情報提供を通じて会員企業さまの発展をサポートいたします。

## FFG経営者クラブのサービスがさらに充実!

メリット  
**1**

### ビジネスに即した様々な情報を入手!

■FFG経営者クラブインターネット情報サービスによる情報提供  
経営上の疑問・課題の解決に役立つ豊富な情報をタイムリーに提供します。



メリット  
**2**

### FFGのネットワークを利用した商談会・交流会!

■商談会・地区別交流会の開催  
販路拡大に繋がる商談会や会員相互の交流、情報交換を目的に地区別交流会を開催いたします。



メリット  
**3**

### 実務情報や経営ノウハウが直接聞ける!

■セミナー・研修会の開催  
経営に関するテーマを中心に、経験豊富な講師陣による各種セミナー・研修会を開催いたします。



メリット  
**4**

### 社員教育・研修で大活躍! 多様なテーマでバックアップ!

■社員教育用DVD・ビデオの無料貸出  
新入社員、若手社員向けのビジネスマナーはもちろん、コンプライアンス経営、ISO取得など、経営全般に参考となるDVD・ビデオ(総数300タイトル以上)を無料でご利用いただけます。



メリット  
**5**

### 交通至便な福岡天神の商談スペース!

■ビジネスマッチングフロアのご利用  
福岡銀行本店ビル5F(福岡天神)のビジネスマッチングフロアを無料でご利用いただけます。



メリット  
**6**

### ビジネスに役立つ! 日常業務でも使える!

■FFG調査月報、小冊子、参考図書のご提供  
ぶくおかフィナンシャルグループの経済情報誌や経営者クラブオリジナルハンドブックをお届けします。



ビジネスに役立つ様々なサービスをご利用いただけます。

お申込み  
お問合せは

### FFG経営者クラブ事務局

株式会社FFGビジネスコンサルティング ビジネスコンサルティング部内  
〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店ビル5階  
TEL.092-723-2241 FAX.092-721-9258

年会費

**26,000円**